

1580迄 (2027件)

- 1571年-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アブドゥル・ジヤリル・シャー1世」
- 1571年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Alvaro de Ataíde」(~1574. 12)
- 1571年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<設立>ソロール島のポルトガル入植地
- 1571年-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アリ・ジヤラ・アブドゥル・ジヤリル・シャー2世」(~1597年没)
- 1571年-07:00|ラオス/タイ| |||<死去>ランサン王朝国王「セーターテラート」
- 1571年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>ランサン王朝国王「セン・スリナルサイ」(1期目~1575年退位)
- 1571年-04:00|ロシア/ウクライナ| |||クリミアのタタール人がモスクワを焼き討ち
- 1571年-03:00|エチオピア| |||<即位>ハラール・スルタン国スルタン「Sultan Nassir ' Isman」(~1572年)
- 1571年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイルベイ「カシム・パシャ・ベン・ヒジル」(~1572年)
- 1571年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「マルコ・グリマニ」(~1573年)
- 1571年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「コ・シナン・パシャ」(2回目~1573年)
- 1571年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「グスタフ・ハネール・ティル・シユルホルム・オッフ・エナス」(~1576年)
- 1571年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ターベッシュ・パシャ」(~1574年)
- 1571年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンズ・メジャール「フェルナント・デ・モンロイ」⇒暫定キャプテンズ・メジャール「ウァスコ・フェルナンデス・マン」(~1572年)
- 1571年-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク＝ゾーランド＝スハウゼン侯「ヨハン・ギュンター1世」(~15861028死去)
- 1571年-01:00|ポーランド| |||<就任>レグニツァ公「フレデリック4世」(~15960327死去)
- 1571年-01:00|アルバニア| |||アルバニアのイブラヒム・ベヨリの反乱
- 1571年-01:00|スペイン/チリ| |||スペイン軍、プレンの戦いで大敗
- 1571年 00:00|サントメ・プリンシペ| |||<就任>サントメ植民地司令官「Diogo Salema」(~1575年)
- 1571年 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カナリア島知事「Juan Alonso de Benavides」(~1575年)
- 1571年 00:00|イギリス| |||<剥奪>ウェストモラント伯「チャールズ・ネヴィル」
- 1571年 00:00|イギリス| |||<剥奪>ノーサンバランド伯「トマス・パーシー」
- 1571年 00:00|ポルトガル/インド| |||ポルトガルがアデイル・シャーヒー朝と攻守同盟を締結
- 1571年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレクター/治安判事「アントニオ・オルト・ティノ」(~1577年)
- 1571年1月2日-09:00|日本| ||元龜1年12月7日|篠原長房、松永久秀に人質を送る/三好三人衆方との和睦が成立
- 1571年1月2日-09:00|日本|京都府京都市|元龜1年12月7日|一条町周辺より出火し大火事「禁中」小御所・台所・車寄をはじめ、勸修寺・大祥寺殿・伏見殿・三条西・四辻・万里小路・知恩院など方々所々が焼失
- 1571年1月3日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<死去>ブランデンブルク選帝侯「ヨアヒム2世ヘクトル」
- 1571年1月3日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<就任>ブランデンブルク選帝侯「ヨハン・ゲオルク」ヨアヒム2世の息子(~15980108死去)
- 1571年1月8日-09:00|日本| ||元龜1年12月13日|足利義昭の仲介により、織田信長と朝倉義景・浅井軍と和睦が成立
- 1571年1月8日-09:00|日本|新潟県|元龜1年12月13日|<改名>越後国主「上杉輝虎」出家⇒「上杉謙信」
- 1571年1月9日-09:00|日本|滋賀県|元龜1年12月14日|近江で対陣中の朝倉義景と織田信長が二条晴良の仲介で和平し、双方とも人質を出して撤収
- 1571年1月10日-09:00|日本|静岡県御殿場市|元龜1年12月15日|武田信玄が深沢城を攻めるが落とせず
- 1571年1月15日-09:00|日本|山梨県甲斐市|元龜1年12月20日|武田信玄、娘のために巨摩郡龍地に黄梅院を建てる
- 1571年1月22日-09:00|日本| ||元龜1年12月27日|武田信玄と北条氏政が誓紙を交換して講和、同盟を結び上杉謙信と断交
- 1571年1月23日-09:00|日本|岐阜県恵那市|元龜1年12月28日|<上村合戦(美濃国)>武田軍の秋山虎繁が信濃伊那から三河方面へ進軍、東美濃の恵那郡上村で明知城主の遠山景行、三河衆の山家三方衆(作手奥平氏・田峯菅沼氏・長篠菅沼氏)と交戦となり武田軍が勝利。明知遠山氏が敗北すると、武田とも通じていた奥平定能ら山家三方衆は戦わずに撤退。この戦いで遠山景行は自害となり、明知遠山氏は遠山一行・遠山友治が後を継ぐ
- 1571年1月26日-09:00|日本|岡山県津山市|元龜2年|美作・宇喜多の武将・花房職之、毛利属城・篠山城を攻略
- 1571年1月26日-09:00|日本|鹿児島県奄美市|元龜2年|尚元王が入貢を拒否した奄美大島を攻めて別の首長をたて支配を強化(琉球、奄美)
- 1571年1月26日-09:00|日本|高知県高岡郡津野町|元龜2年|土佐国の長宗我部元親は一条氏の家臣であった津野氏を滅ぼし、高岡郡を平定。三男親忠を津野家養子にする
- 1571年1月26日-09:00|日本|高知県長岡郡本山町|元龜2年|<降伏>土佐本山領主「本山親茂」長宗我部氏へ臣従
- 1571年1月26日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|元龜2年|龍造寺隆信が三瀬城の神代長良へ鍋島直茂を使者として派遣、和睦/神代長良は龍造寺配下となる
- 1571年1月26日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|元龜2年|武田信玄は馬場信春に江尻城を普請させ城代に山県昌景が入る
- 1571年1月26日-09:00|日本|長崎県壱岐市|元龜2年|宗義調が壱岐を攻めるが日高軍と松浦軍の連合軍の前に敗れる[浦海の合戦]
- 1571年1月26日-09:00|日本|長崎県壱岐市|元龜2年|筒城山根に西福寺を開く
- 1571年1月26日-09:00|日本|福島県いわき市|元龜2年|<交替>陸奥岩城大館「岩城親隆」隠居⇒子の「岩城常隆」(⇒天正18(1590)年所領安堵)
- 1571年1月26日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|元龜2年|<交替>陸奥三春領主「田村隆顕」隠居⇒嫡男の「田村清

1580迄 (2027件)

- 顕」(~天正14年10月9日(15861119)死去)
- 1571年1月26日-09:00|日本|三重県伊賀市|元龜2年|<任命>伊賀国守護「仁木義視」(天正6(1578)年伊賀を追放され甲賀に逃れた)
- 1571年1月26日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|元龜2年1月|伊東・肝付・禰寝・伊地知の四家の水軍が桜島を攻撃、内城近くの奄ヶ水で島津軍が撃退
- 1571年1月26日-09:00|日本|三重県伊勢市|元龜2年1月|<交替>伊勢神戸領主「神戸具盛」解任、近江日野城に蟄居⇒「神戸信孝」(~天正10(1582)年6月27日美濃岐阜城に移転)
- 1571年1月28日-09:00|日本|静岡県御殿場市|元龜2年1月3日|(元龜1年12月15日~)武田信玄、駿河深沢城の北条綱成を攻めるも失敗したため、帰陣
- 1571年2月2日-01:00|フランス| |||フランス、ランツェで2週間にわたりユゴノ虐殺
- 1571年2月6日-09:00|日本|静岡県沼津市|元龜2年1月12日|<興国寺城の戦い>武田信玄3万7千、三島集結、駿河興国寺を奇襲するが失敗
- 1571年2月10日-09:00|日本|静岡県御殿場市|元龜2年1月16日|武田信玄、駿河・深沢城攻略/北条綱成、深沢城を開城し相模玉縄城へ退却
- 1571年2月13日-01:00|イタリア| |||イタリアの彫刻家・金工家フェリニ/死去
- 1571年2月24日-09:00|日本|岡山県浅口市|元龜2年2月|宇喜多直家6千、浅口郡鴨方の毛利方杉山城(備中守護10代、細川通董)を攻撃/細川は幸山城を頼り落ちる
- 1571年2月24日-09:00|日本|岡山県倉敷市|元龜2年2月|宇喜多直家が酒津城攻撃、降伏
- 1571年2月24日-09:00|日本|岡山県高梁市|元龜2年2月|毛利元清(元就の四男)と三村元親が庄高資に討ち奪われた備中松山城を攻撃、奪還
- 1571年3月-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<死去>アンボン島ポルトガル首領「Goncalo Pereira Marramaque」
- 1571年3月-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>アンボン島ポルトガル首領「Duarte de Meneses」(~同年)
- 1571年3月1日-09:00|日本|鳥取県西伯郡大山町|元龜2年2月6日|杉原盛重、浄満原の合戦で尼子残党と戦いこれを破る
- 1571年3月6日-09:00|日本|茨城県鹿嶋市|元龜2年2月11日|<死去>塚原卜伝(83歳)剣豪、兵法家(新当流の創始者)
- 1571年3月11日-09:00|日本|静岡県|元龜2年2月16日|<第6次駿河侵攻>武田信玄、駿河に侵攻
- 1571年3月14日-02:00|ルーマニア| |||<死去>トランシルヴァニア侯ヤン・ジグモント
- 1571年3月19日-09:00|日本|滋賀県彦根市|元龜2年2月24日|<拝領>近江佐和山5万石「丹羽長秀」織田信長配下(⇒天正11(1583)年若狭小浜へ)
- 1571年3月19日-09:00|日本|滋賀県彦根市|元龜2年2月24日|浅井家の佐和山城の磯野員昌、織田信長に投降
- 1571年3月19日-09:00|日本|滋賀県米原市|元龜2年2月24日|浅井家の朝妻城(新庄直頼)、降伏
- 1571年3月19日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|元龜2年2月24日|<第1次三遠侵攻>武田信玄、遠江に侵攻/大井川を渡り小内能満寺に城塞構築
- 1571年3月23日-09:00|日本|富山県富山市|元龜2年2月28日|上杉謙信、椎名康胤と一向一揆勢のこもる富山城を攻略
- 1571年3月25日-08:00|中国/モンゴル| |||明・隆慶5年3月|明がアルタを順義王に封じ帰化城(ホト)に居住させ、大同など馬市を開く
- 1571年3月26日-09:00|日本|佐賀県神埼市|元龜2年3月|肥前・龍造寺隆信、勢福寺城(江上氏)を攻略。神代氏と講和
- 1571年3月26日-09:00|日本|富山県魚津市|元龜2年3月|上杉謙信が越中国椎名康胤の松倉城を攻撃、占領
- 1571年3月26日-09:00|日本|富山県高岡市|元龜2年3月|上杉謙信が越中国椎名康胤の守山城を攻撃、占領
- 1571年3月26日-09:00|日本|富山県富山市|元龜2年3月|上杉謙信が越中国椎名康胤の新庄城を攻撃、占領
- 1571年3月26日-09:00|日本|宮城県|元龜2年3月|大崎義隆、最上義光の援軍を得て、陸奥葛西領の栗原郡有壁・磐井郡流に攻め入るが、撃退される
- 1571年3月28日-01:00|ロシア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベグ「カフエ・パシヤ」(~1572年)
- 1571年3月30日-09:00|日本|静岡県掛川市|元龜2年3月5日|<高天神城合戦>甲斐の武田信玄が2万5000の軍勢を率いて遠江高天神城(小笠原長忠)に来攻、家臣の内藤昌豊に攻めさせ城門を襲ったが落とせず引上げる
- 1571年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・アントニオ・レアルデッリ」「ベネチア・ドミニオン」
- 1571年4月1日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行「ウィリアム・フィッツウィリアム」(1回目⇒15720113、副卿~15750918)
- 1571年4月12日-09:00|日本|富山県富山市|元龜2年3月18日|上杉謙信が梶尾城を攻略して斎藤常丹を助ける/塩屋秋貞が何の利もなく撤退すると、追撃する一方で謙信は自ら富山城へ向かいその日のうちに陥落させた
- 1571年4月13日-09:00|日本|島根県出雲市|元龜2年3月19日|毛利軍、出雲国高瀬城を攻略し、口羽春良に在番を命じる
- 1571年4月20日-09:00|日本|愛知県|元龜2年3月26日|武田信玄が信濃高遠から伊奈口を経て三河に侵入
- 1571年4月24日-09:00|日本|岡山県総社市|元龜2年4月|宇喜多方尼子式部、経山城(総社市黒尾、城主中島大炊介元行)攻撃、敗退
- 1571年4月24日-09:00|日本|岡山県総社市|元龜2年4月|尼子勝久は幸山城攻略
- 1571年4月24日-09:00|日本|岡山県倉敷市|元龜2年4月上旬|毛利軍、本太城を包囲戦の末に攻略
- 1571年4月25日-09:00|日本|広島県東広島市|元龜2年4月2日|児玉元家・同宗有、大檀那として、豊田郡下竹仁の八幡宮社殿を再興
- 1571年5月-02:00|ギリシャ| |||<就任>カステリア王国総督「マリノ・カヴァリ」(~1573年)



1580迄 (2027件)

、占領

- 1571年6月23日-09:00|日本|鳥取県東伯郡琴浦町|元龜2年6月|吉川元春は尼子再興軍が籠る伯耆の八橋城を攻撃
- 、占領
- 1571年6月24日-08:00|フィリピンマニラ|<市制>フィリピン諸島を征服したスペイン人司令官ペドロ・カスティーリョに市政を敷き、市役所を設置
- 1571年6月26日-09:00|日本|島根県隠岐郡|元龜2年6月4日|毛利軍、隠岐国を平定
- 1571年7月 07:00|メキシコ| ||メキシコ市に異端審問所設置。植民地社会の精神生活を規制
- 1571年7月2日-09:00|日本|大阪府吹田市|元龜2年6月10日|<吹田城合戦>和田惟政、松永久秀・三好義継らの摂津吹田城を攻略
- 1571年7月3日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|元龜2年6月11日|<高屋城合戦>(5月30日~)高屋城主の畠山昭高、三好義継と松永久秀と三好三人衆を撃退/松永軍は、河内藤井寺に入る
- 1571年7月3日-09:00|日本|奈良県大和高田市|元龜2年6月11日|足利義昭、九条家娘を養女として、筒井順慶に嫁がせる
- 1571年7月4日-09:00|日本|岡山県|元龜2年6月12日|阿波篠原長房、備前児島侵入。毛利勢に撃退される
- 1571年7月4日-09:00|日本|奈良県磯城郡|元龜2年6月12日|箸尾為綱が松永久秀に背き、松永派十市氏と南柿森で戦う
- 1571年7月5日-09:00|日本|大阪府大阪府中央区|元龜2年6月13日|本願寺顕如の長子教如と朝倉義景の娘との婚儀成立
- 1571年7月6日-09:00|日本|長崎県|元龜2年6月14日|<死去>肥前高来郡一円領主「有馬義純」22歳⇒養子の「有馬晴信」が継ぐ(⇒天正15(1587)年肥前日野江40000石本領安堵)
- 1571年7月6日-09:00|日本|広島県|元龜2年6月14日|<死去>「毛利元就」吉田郡山城で病死/75歳(誕生:明応6(1497)0314)
- 1571年7月13日-09:00|日本|鳥取県西伯郡大山町|元龜2年6月21日|<末石城の戦い>吉川元春が伯耆へ侵攻し末石城に居を構えていた尼子氏遺臣の山中幸盛と戦い吉川軍が勝利
- 1571年7月14日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督代行「サンチョ・パルド・ドン・ブルボン」(~15741029)
- 1571年7月15日-09:00|日本|愛知県安城市|元龜2年6月23日|清信女妙晃、三河国妙教寺の釈迦如来・多宝如来を寄進
- 1571年7月15日-09:00|日本|鹿児島県|元龜2年6月23日|<死去>元薩摩・大隅・日向3国守護「島津貴久」58歳
- 1571年7月15日-09:00|日本|奈良県奈良市|元龜2年6月23日|筒井順慶軍、大和国北之庄の近辺まで襲撃するも特に情勢変化が無かったため撤退
- 1571年7月19日 05:00|イタリヤ/スペイン| ||<就任>スペイン領土暫定総督・総司令官・大審問院長「ペドロ・デ・イエスト・オーイ・アルメンダリス・カストレホン」(~15750811)
- 1571年7月22日-09:00|日本|愛知県一宮市|元龜2年7月|尾張国妙興寺白山社社人五郎大夫、同社を再建
- 1571年7月22日-09:00|日本|愛媛県今治市|元龜2年7月|塩飽衆、阿波の岡田権左衛門に属し、伊予能島に兵糧を送るが、沼田警固衆並びに来島・因島衆に襲われ船3艘・船方数10人討たれる
- 1571年7月22日-09:00|日本|奈良県奈良市|元龜2年7月|筒井順慶が松永久秀の居城多聞山城を攻略するため、辰市城を築城
- 1571年7月22日-09:00|日本|宮城県登米市|元龜2年7月|葛西晴信、大崎義隆と陸奥佐沼・石越方面で戦い、佐沼を奪還す
- 1571年7月25日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|元龜2年7月4日|吐山・簀川氏が守っていた郡山の付城で吐山氏が筒井方に寝返り簀川衆を討つ
- 1571年7月26日-09:00|日本|奈良県天理市|元龜2年7月5日|筒井勢が櫛本の付城を落とし、久秀勢は筒井城へ入る
- 1571年8月5日-02:00|キプロス/トルコ/イタリヤ| ||最後のヴェネツィアの要塞、ファマグスタがオスマン帝国に降伏
- 1571年8月8日-09:00|日本|奈良県御所市|元龜2年7月18日|<川合城の戦い>筒井順慶与力土豪箸尾氏、松永久秀勢の川合の付城を攻めるが失敗
- 1571年8月13日-09:00|日本|大阪府池田市|元龜2年7月23日|幕府衆三淵藤英、摂津国へ出陣。和田惟政の援軍として細川藤孝も高槻方面へ入り、藤孝・池田勝正と合同で、三人衆方池田城を攻撃、池田の市場等を放火(結局落とせず、8月2日後退)
- 1571年8月15日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|元龜2年7月25日|筒井順慶、白土に要害を構築
- 1571年8月20日-09:00|日本|鹿児島県|元龜2年7月30日|<死去>大隅高山領主「肝付良兼」⇒弟の「肝付兼護」が継ぐ(⇒天正8(1580)年薩摩阿多10000石)
- 1571年8月20日-09:00|日本|鹿児島県|元龜2年7月30日|大隅の肝付良兼:伊地知などを攻めて島津軍を撃退
- 1571年8月21日-02:00|キプロス/トルコ| ||ファマグスタが占領され、キプロス島がトルコ人に奪われる
- 1571年8月21日-09:00|日本|群馬県渋川市|元龜2年8月|真田昌幸、長尾憲景の白井城(子持村)を攻略
- 1571年8月21日-09:00|日本|兵庫県美方郡新温泉町|元龜2年8月|<芦屋城合戦>武田高信、山名家部将の塩冶高清を攻めるも敗退
- 1571年8月21日-09:00|日本|新潟県|元龜2年8月1日|上杉謙信、徳川家康の提携申し入れを承諾し、誓書を交換
- 1571年8月22日-09:00|日本|奈良県奈良市|元龜2年8月2日|筒井順慶が辰市に城を築く
- 1571年8月24日-09:00|日本|奈良県奈良市|元龜2年8月4日|辰市城へ松永久秀・三好義継勢が攻め掛かるが大敗、多数の討死衆を出し多聞山城へ逃れる/辰市の戦い
- 1571年8月26日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|元龜2年8月6日|筒井順慶、松永軍との戦闘で勝利し筒井平城・高田城・野垣内城・番条城・森屋蔵堂城などを回復

1580迄 (2027件)

- 1571年8月27日-09:00|日本|奈良県大和高田市|元龜2年8月7日|筒井順慶、高田出城を布施某(大和国人)より奪取/40余人を討ち取る
- 1571年9月3日-09:00|日本|奈良県天理市|元龜2年8月14日|越智・箸尾氏が十市氏の久秀派を攻め、十市郷を略取
- 1571年9月6日-05:30|インド/ポルトガル|||<就任>ポルトガル領インド 総督「アントニオ・デ・ノロニャ」(~15731209)
- 1571年9月7日-09:00|日本|滋賀県|元龜2年8月18日|<第3次近江侵攻>織田信長、近江に侵攻。佐久間、柴田、丹羽、蜂屋、木下、明智、中川、西美濃衆らが従軍
- 1571年9月7日-09:00|日本|鳥取県米子市|元龜2年8月18日|吉川元春、伯耆国寺内城を攻略
- 1571年9月10日-09:00|日本|島根県松江市|元龜2年8月21日|吉川元春、尼子勝久出雲の最後の拠点である真山城(新山城)も落城し、尼子再興軍は出雲より駆逐、京都へ敗走
- 1571年9月11日-09:00|日本|大阪府東大阪市|元龜2年8月22日|松永久秀が竹内秀勝を河内若江に自害させる
- 1571年9月14日-09:00|日本|島根県松江市|元龜2年8月25日|吉川元春は尼子再興軍の拠点である新山城を攻略し、出雲の尼子方拠点を掃討
- 1571年9月15日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜2年8月26日|織田信長が浅井長政の小谷城を攻め、木本余吾に放火
- 1571年9月17日-09:00|日本|大阪府茨木市|元龜2年8月28日|<死去>摂津三守護(芥川山城主)「和田惟政」、に荒木村重家臣池田城主池田知正(重成)と戦い戦死、中川清秀に首級を挙げられる(白井河原合戦)、和田惟政援軍美濃金山城主長井道利が摂津白川河原で戦死
- 1571年9月19日-09:00|日本|大阪府茨木市|元龜2年9月1日|<茨木城合戦>荒木・中川連合軍は茨木城を攻め落とした
- 1571年9月19日-09:00|日本|滋賀県東近江市|元龜2年9月1日|<志村城合戦>信長が、志村城に志村資則を攻めてこれを下す/小川城主小川孫一郎降伏
- 1571年9月21日-09:00|日本|滋賀県守山市|元龜2年9月3日|<金森城合戦>織田信長:近江常楽寺に移動/一向一揆の立て籠もる金ヶ森(川那辺秀政)を降伏させた
- 1571年9月22日-09:00|日本|岡山県真庭郡|元龜2年9月4日|備中・毛利輝元・三村元親、佐井田城を攻撃するが、宇喜多直家、救援し毛利軍を破る
- 1571年9月22日-09:00|日本|奈良県奈良市|元龜2年9月4日|松永久秀、信貴山城進発。三好義継勢と合わせ1万、筒井勢6千と大安寺堤で決戦/松永勢、敗北、有能な部下を多く失う
- 1571年9月23日-09:00|日本|大阪府|元龜2年9月5日|摂津国に於いて池田軍が戦闘で敗北を喫し、多数の戦死者を出す
- 1571年9月24日-09:00|日本|奈良県磯城郡田原本町|元龜2年9月6日|松永勢十市衆の森屋城、筒井順慶方箸尾高春により陥落
- 1571年9月25日-09:00|日本|奈良県天理市|元龜2年9月7日|筒井順慶軍(筒衆)、大和国山田を攻撃/竹内秀勝(竹下)は退散
- 1571年9月28日-08:00|インド/ネパール|||<死去>アチ王国スルタン「アラウッテ・イン・アルカハル」
- 1571年9月28日-08:00|インド/ネパール|||<即位>アチ王国スルタン「フサイン・アリー・アリーヤット・シャー」(~15790608死去)
- 1571年9月30日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜2年9月12日|織田信長が比叡山延暦寺が朝倉義景を支援していることを怒り、延暦寺を焼打ち/15日迄の4日間、根本中堂・大講堂・阿弥陀堂・戒壇院・護持院など焼き尽す/死者は女子供をも含み3000から4000
- 1571年10月1日-01:00|サンマリノ|||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・パオロ・コルベッリ」ユリウスヨハネ・パウル
- 1571年10月1日-09:00|日本|滋賀県|元龜2年9月13日|<拝領>近江・志賀郡5万石「明智光秀」坂本に城を置く/延暦寺・日吉神社の寺領・社領は江南の部将たち(佐久間信盛・柴田勝家・中川重政)に与えられ、彼らは近江支配体制を整える
- 1571年10月3日-09:00|日本|埼玉県深谷市|元龜2年9月15日|武田信玄、北条氏政と榛沢に戦う
- 1571年10月6日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜2年9月18日|織田信長、竹内季治(入道真滴)を近江永原に暗殺/理由は「信長は極みに達したため、後は熟した無花果のように地上に落ちるだけだ」と失言
- 1571年10月7日-02:00|ギリシャ/スペイン/トルコ|||バント沖の海戦でドン・ファン・デ・オストリア率いるヨーロッパ連合艦隊がトルコ海軍を破る
- 1571年10月7日-09:00|日本|滋賀県犬上郡|元龜2年9月19日|丹羽長秀・河尻秀隆、近江犬上郡土豪一向一揆頭領高宮右京亮と一党謀殺/野田・福島陣の際、一揆を扇動し、天満の森陣地から石山入りしたため
- 1571年10月10日-01:00|イタリア|||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ギアット・ロメリニ」(~15731010)
- 1571年10月11日-09:00|日本|群馬県渋川市|元龜2年9月23日|武藤(真田)昌幸、上野白井城を攻める
- 1571年10月21日-09:00|日本|神奈川県|元龜2年10月3日|<死去>相模・伊豆国大名「(後北条氏第3代目当主)北条氏康」/57歳(誕生:永正12(1515))⇒「北条氏政」が嗣ぐ/氏政、父の遺言により輝虎との同盟を断ち、信玄と結ぶ
- 1571年10月27日 00:00|イギリス|||<死去>ノーサンプトン侯・エセックス伯「ウィリアム・パー」
- 1571年10月28日-04:00|ロシア|||ロシア・ツァーリ「イヴァン4世雷帝」、3度目の結婚(11月13日花嫁、没)
- 1571年10月28日-01:00|アルジェリア/トルコ|||<就任>アルジェのベイルベグ代行「アラブ・アマト」(~1573年)
- 1571年10月28日-09:00|日本|京都府宇治市|元龜2年10月10日|松永久秀、山城国久世郡槇島城を攻撃
- 1571年10月28日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|元龜2年10月10日|武田信玄、青崩峠を越えて遠江侵攻/龍門山石雲院、武田軍の兵火により焼失
- 1571年11月1日-09:00|日本|静岡県磐田市|元龜2年10月14日|(13~)武田信玄、遠江見付で徳川軍と戦い勝利
- 1571年11月17日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|元龜2年11月|里見義弘・正木時茂、下総小弓城を攻略/千葉胤富の軍と合戦

1580迄 (2027件)

- 1571年11月24日-09:00|日本|東京都青梅市|元龜2年11月8日|武田信玄、御岳城を北条氏に返還
- 1571年11月30日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|元龜2年11月14日|三好三人衆及び松永久秀、等、畠山昭高を河内「高屋城」に攻め、久秀、摂津に兵を出す
- 1571年11月30日-09:00|日本|岐阜県恵那市|元龜2年11月14日|秋山信友、美濃岩村城を落とす
- 1571年12月3日-09:00|日本|兵庫県丹波市|元龜2年11月17日|<山垣城合戦>織田方の山名祐豊、丹波に侵攻するも赤井直正が阻止⇒<竹田城合戦>赤井直正が山名氏が治める此隅山城・竹田城を占拠
- 1571年12月4日-01:00|スペイン| |||<就任>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「フェルナド」カルスの弟(~15781018死去)
- 1571年12月4日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Antonio de Tejada」(~1595年)
- 1571年12月6日-09:00|日本|鹿児島県|元龜2年11月20日|肝付・禰寝・伊地知連合軍、海上より100余艘の軍船で鹿児島を攻めるが失敗
- 1571年12月13日-09:00|日本|愛知県豊川市|元龜2年11月27日|彦右衛門ら、三河国砥鹿大菩薩の宝殿を建立
- 1571年12月17日-09:00|日本|愛知県豊橋市|元龜2年12月|三河国下条郷天神社の社殿が建立される
- 1571年12月17日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|元龜2年12月|毛利軍により門司城は落城し、大友宗麟は本州の赤間関へ進軍を開始
- 1571年12月19日-09:00|日本|埼玉県|元龜2年12月3日|武田信玄、武蔵に入り北条氏邦と戦う
- 1571年12月19日-09:00|日本|福井県|元龜2年12月3日|朝倉軍、越前に兵を引き上げる
- 1572年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>アンボニン島ポルトガル首領「Sancho de Vasconcelos」(~1591年)
- 1572年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「ラジャ・パティク・シム」(~1573年)
- 1572年-08:00|フィリピン/メキシコ| |||フィリピンとアカプルコの太平洋貿易が開始
- 1572年-05:30|インド| |||<死去>マイソール王国(オデヤ朝)国王「ティンマ・ラージ」2世
- 1572年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Bayazid Khan Karrani」(~同年)⇒「Daud Khan Karrani」(~15760712退位)
- 1572年-05:30|インド| |||<即位>マイソール王国(オデヤ朝)国王「チャマ・ラージ」4世(~15761109死去)
- 1572年-03:00|ペラルーシ| |||<即位>スツク公「アレクサンドラス・オルカイトイス」(~1592年)、「ヨナス・シモナス・オルカイトイス」(~1591年)、「ユリウス・オルカイトイス」(~1586年)兄弟で分割相続
- 1572年-03:00|エチオピア| |||<即位>ハラール・スルタン国スルタン「Sultan Mahamed Nassir」(~1573年)
- 1572年-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<死去>スウェーデン・エストニア総督「ハンス・ビョルンソン・レゾン」
- 1572年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレッポ・ベイルベイ「ハサン・バシャ・ベン・ヒズル」(~1573年)
- 1572年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンズ・メジャー代行「シモン・デ・シルヴェイラ」(~1577年)
- 1572年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Joana2世」(~1608年)
- 1572年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリニア・ベイルベイ「ムスタファ・バシャ」(~1574年)
- 1572年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝ウァイマル公「ヨハン・ウァイルヘルム」(~15730302死去)
- 1572年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝コーブルク公「ザクセン選帝侯アウグスト」ヨハン・フリードリヒ2世の子息ヨハン・ガジミールとヨハン・エルンストが未成年のため後見(~15860211死去)
- 1572年 00:00|イギリス| |||<再任>ノサンバランド伯「トマス・パーシー」回復(~8. 22処刑される)
- 1572年 00:00|イギリス| |||<就任>ウイグ・タウン伯「John Fleming」(~1619年死去)
- 1572年 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島首席大臣「Joen Heinesen」(~1583年)
- 1572年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ブラジル総督(リオ・デ・ジャネイロ)「Cristovao de Barros」(~1574年)
- 1572年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||ブラジル総督府が北のバハイアと南のリオ・デ・ジャネイロの2つの総督府に分割された(~1578年)
- 1572年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官「フランシスコ・デ・ウエラ」(~1576年)
- 1572年 05:00|コロンビア| |||ボゴタ大学創立
- 1572年 05:00|ペルー| |||リマにサンマルコス大学創立
- 1572年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「ゴメス・デ・イラス・デ・ラ・レグエラ/フラス・コルトバ」(~1573年)
- 1572年1月-05:30|インド| |||<即位>ガジヤナガル王国(アラーイット朝)国王シュリーランガ1世(~1586年)
- 1572年1月4日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<死去>スルツ伯・クレッタウ方伯「アルヴイグ」
- 1572年1月4日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>スルツ伯・クレッタウ方伯「ルト」3世(~1583年)、「カール・ルトヴィヒ」(~16130415)、摂政「バーバラ・G・レフイン・フォン・ヘルフェンシュタイン」(~15721114)
- 1572年1月4日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|元龜2年12月19日|二侯城主中根正照、降参して城を明け渡す撃を仕掛ける
- 1572年1月4日-09:00|日本|奈良県|元龜2年12月19日|筒井順慶(筒井)、大和国十市郷へ総攻撃を仕掛ける
- 1572年1月10日-05:30|インド| |||ムガル帝国アクバルがグジャラート地方を征服
- 1572年1月10日-01:00|デンマーク| |||チョコブラエがカオニア座に超新星を発見
- 1572年1月12日-09:00|日本| ||元龜2年12月27日|北条氏政、武田信玄と同盟を締結(甲相同盟)北条氏政は上杉謙信と断交
- 1572年1月12日-09:00|日本|広島県廿日市市|元龜2年12月27日|毛利元就により厳島神社本社本殿が造替され、遷宮の儀が行われる/広島県
- 1572年1月15日-09:00|日本|沖縄県|元龜3年|<死去>琉球国王「尚元」
- 1572年1月15日-09:00|日本|沖縄県|元龜3年|<即位>琉球国王「尚永」(~1588年死去)
- 1572年1月15日-09:00|日本|長崎県壱岐市|元龜3年1月|亮賢が実相院を神岳里[新城西触]に開く

1580迄 (2027件)

- 1572年1月15日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・洪福1年|大越後黎朝3代・英宗が洪福と改元(-1573)
- 1572年1月20日-01:00|オランダ/スペイン| ||オランダ独立戦争でスペイン軍が反撃を開始し、レイデンで攻防戦
- 1572年1月23日-09:00|日本|栃木県那須郡|元龜3年1月9日|佐竹義重、下野國那須の各地を討取
- 1572年1月26日-01:00|マルタ| ||<死去>マルタ騎士団総長「ヒェルト・モンテ」
- 1572年1月27日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「アントニオ・クレッシノ」(~30日)
- 1572年1月28日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|元龜3年1月14日|宇都宮氏の重臣・皆川俊宗、親上杉派の筆頭である岡本宗慶を謀殺
- 1572年1月29日-01:00|スペイン| ||<死去>ペラガア公「ルイス・コロン・イ・アルバレス・デ・トレド」
- 1572年1月29日-01:00|スペイン| ||<就任>ペラガア女公「フェリパ・コロン・デ・トレド・イ・モスケラ」先代の娘(~15771125死去)
- 1572年1月29日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|元龜3年1月15日|宇都宮広綱の病に乘じ、皆川心鉄斎(俊宗)、宇都宮城入り家政の実権を握る
- 1572年1月30日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「ジャント・ラ・ガシエル」(15810712~15810911廃位/~15811221、マルタを出発し、ローマで亡くなった)
- 1572年2月7日-06:30|ミャンマー| ||<即位>ムラウウー国王「ハ・ラウン」(~15930704)
- 1572年2月11日-09:00|日本|福岡県福岡市西区|元龜3年1月28日|筑前柑子岳城主の臼杵鎮氏が、今津毘沙門天を参拝する高祖山城主原田隆種(了栄)を待ち伏せして襲撃するが失敗、その後原田隆種と交戦し臼杵鎮氏は自害/大友宗麟は柑子岳城主に木付鑑実を置く
- 1572年2月14日-09:00|日本|栃木県小山市|元龜3年閏1月|北条氏政の命を受けて小山秀綱(弾正少弼)を討つべく、小山祇園城に北条氏邦(新六郎)・太田氏房(十郎)の軍勢を派遣したが落とせず
- 1572年2月14日-08:00|中国| ||明・隆慶6年2月|明が広東惠州・潮州の倭寇に通じる盗賊藍一清・頼元爵の反乱に對して軍隊を派遣征伐
- 1572年2月15日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「ジョン3世勇者」(~15740611没)
- 1572年2月16日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|元龜3年閏1月3日|伊予国大森城主「土居清良」、土佐の一条氏と和を結ぶし城郭を破却
- 1572年2月16日-09:00|日本|群馬県前橋市|元龜3年閏1月3日|上杉謙信が、武田方の属城上野国石倉城を攻略し城郭を破却
- 1572年3月2日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<死去>ポルトガル領ブラジル総督「ム・デ・サ」
- 1572年3月2日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ブラジル総督代行「フェルナン・ダ・シルヴァ」(~1573年5月)
- 1572年3月4日-09:00|日本|奈良県|元龜3年閏1月20日|大和国奈良に大地震/死者多数
- 1572年3月10日 00:00|イギリス| ||<死去>ウインチェスター侯・ウィルトシャー伯「ウィリアム・ホーレット」
- 1572年3月10日 00:00|イギリス| ||<就任>ウインチェスター侯「ジョン・ホーレット」ノフォーク公(~15761104死去)
- 1572年3月14日-09:00|日本|新潟県|元龜3年2月|上杉謙信が常陸国の佐竹義重と和睦
- 1572年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「イチェンツォ・フランケティ」「フランチェスコ・ジャンニニ」
- 1572年4月1日-01:00|オランダ| ||オランダ独立戦争/反スペインの軍事集団セーゴ・イェンがフリーレを攻略
- 1572年4月13日-09:00|日本|青森県平川市|元龜3年3月|<高畑城の戦い>南部晴政、陸奥瀨多田石隠岐に大浦為信の征伐を命ずるが、乳井で敗れる
- 1572年4月13日-09:00|日本|群馬県渋川市|元龜3年3月|真田幸隆、計略で上野白井城を攻略
- 1572年4月15日-09:00|日本|青森県三戸郡三戸町|元龜3年3月3日|南部晴政、信直を陸奥川守田毘沙門堂に急襲するも、逆に晴政が信直に敗北
- 1572年4月17日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年3月5日|信長、5万の大兵を動員、小谷城(浅井長政)を攻撃
- 1572年4月19日-01:00|フランス/イギリス| ||フランス国王シャルル9世、イングランド王家とフランス中央部のブロワで「ブロワ条約」を締結し、強大化するスペインに對抗する「同盟」を結ぶ
- 1572年4月19日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年3月7日|織田信長:小谷城と山本山の間に陣を布き、余呉・木之本まで出兵して放火
- 1572年4月23日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜3年3月11日|織田信長が近江和邇に布陣し六角氏残党を掃討、木戸・田中城に追い込む/砦を作り、明智光秀・中川重政・丹羽長秀を置いた
- 1572年4月24日-09:00|日本|京都府京都市|元龜3年3月12日|信長が上洛、三好・本願寺との和睦が成立
- 1572年4月28日-09:00|日本|奈良県|元龜3年3月16日|順慶が箸尾為綱・岡某とともに各地で久秀方と戦う
- 1572年5月-01:00|スペイン/ペルー| ||インカ帝国最後の拠点のピルカハンバがスペイン軍に占領される
- 1572年5月 00:00|イギリス| ||<就任>エセックス伯「ウォルター・デ・ウァール」(~15760922死去)
- 1572年5月1日-01:00|バチカン| ||<死去>第225代ローマ教皇「ピウス5世」/68歳(誕生15040117)エリザベス女王を排斥した
- 1572年5月4日 00:00|イギリス| ||<就任>リンカン伯「エドワード・クリントン」(~15850116死去)
- 1572年5月6日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|元龜3年3月24日|石山本願寺、織田信長と和睦
- 1572年5月9日-02:00|エストニア/デンマーク| ||現在はオーゼル島とムン島のみを加へる旧王子司教区は、デンマーク領としてデンマークの直接管理に移された
- 1572年5月12日-09:00|日本|愛媛県西予市|元龜3年4月|伊予・西園寺公広、一条兼定を攻撃/大友宗麟、佐伯惟教を遣わし、西園寺属城・黒瀬城・飯森城を攻撃し公広を降す
- 1572年5月12日-09:00|日本|沖縄県|元龜3年4月1日|<死去>琉球王尚元が病歿(45歳)
- 1572年5月13日-01:00|バチカン| ||<就任>第226代ローマ教皇「グレゴリウス13世」(~15850410死去)
- 1572年5月13日-09:00|日本|佐賀県鳥栖市|元龜3年4月2日|龍造寺隆信が養父郡朝日山・勝尾両城を攻略、筑紫広門は降伏
- 1572年5月25日-09:00|日本| ||元龜3年4月14日|三好義継、細川信良(昭元)と和議

1580迄 (2027件)

- 1572年5月26日-09:00|日本|滋賀県高島市|元龜3年4月15日|比叡山衆徒・近江高嶋郡伊黒城主新庄俊長(放泉坊)が降伏するが浅井長政に攻め滅ぼされる
- 1572年5月27日-09:00|日本|大阪府交野市|元龜3年4月16日|<私市城合戦>佐久間信盛・柴田勝家・明智光秀・細川藤孝・三淵藤英・上野秀政・池田勝正・伊丹親興・和田惟長ら2万余の軍勢、河州表へ出陣/松永久秀の軍勢を河内国河内郡騎西城で攻撃
- 1572年5月27日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|元龜3年4月16日|三好義継が松永久秀・松永久通と示し合わせ、高屋城の畠山昭高の家臣を河内交野城に攻めたが撤兵
- 1572年5月31日-01:00|ベルギー/フランス| |||「低地諸州」の反乱軍、パリの北東約200kmにあるモンズ(現ベルギー)をスペイン王軍から奪還する
- 1572年6月2日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーフォーク公・サリ伯「トマス・ハワード」死刑剥奪
- 1572年6月9日-01:00|スペイン/アンダル| |||<死去>ナバラ王国国王兼アンダル公国元首「フアン3世」44歳
- 1572年6月9日-01:00|アンダル| |||<就任>アンダル公国共同大公「フアン伯爵エンリケ3世」(~15890802フランス王位に統合)
- 1572年6月9日-01:00|アンダル| |||<就任>アンダル公国元首「ウルヘルム教ヨアン・テ・イマス・ロリス」(~15760704)
- 1572年6月9日-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王「エンリケ3世」アントオとフアン3世の男子(~16100314死去57歳)
- 1572年6月9日-09:00|日本|奈良県奈良市|元龜3年4月29日|<大安寺合戦>大安寺の門付近で多聞山衆(松永久通麾下)と筒井衆が戦う
- 1572年6月14日-09:00|日本|宮崎県えびの市|元龜3年5月4日|<木崎原合戦>早朝、伊東軍勢、伊東加賀守、伊東新次郎、伊東又次郎、伊東修理亮の4人を大将に任じ飯野・加久藤地方の島津陣営を攻撃/初戦に勝利したが大敗
- 1572年6月18日-09:00|日本|京都府|元龜3年5月8日|<補任>上山城半国守護「光浄院暹慶(後に還俗し山岡景友)」足利義昭により(~翌年2月26日織田方に降伏)
- 1572年6月19日-09:00|日本|静岡県|元龜3年5月9日|徳川家康、大井川を渡り駿河侵攻。久能の根小屋等を放火
- 1572年6月19日-09:00|日本|奈良県奈良市|元龜3年5月9日|織田軍(尾張衆)、大和国「大黒力尾」から多聞山城の北側まで包囲/午刻に松永久秀の多聞山城に攻撃を仕掛ける
- 1572年6月24日-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<就任>ルウェー総督「ハウル・ヴァイトフェルト・ティル・スニト・ストラップ」(~1577年)
- 1572年6月24日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督「アンタル・ヴァランツ」(~15730615没)
- 1572年6月24日 05:00|ペルー/スペイン| |||トウパ・カ・アマル、ビルバパンバ 峡谷のコヤ・チャカで副王軍と対決敗れる/トウパ・カは逃亡中をワコイ付近で捕らえられる
- 1572年7月 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 連邦大蔵卿兼主席アドヴァイザー「バーナード・グレイのセル男爵ウィリアム・セル」(~15980804)
- 1572年7月3日-09:00|日本|富山県射水市|元龜3年5月23日|加賀一向一揆、越中に侵攻/上杉謙信配下吉江忠景の前線基地・日宮城(火宮城とも)は一揆勢から激しい攻撃を受け、城兵の鉄砲の弾薬が不足するなど危機的状況に陥った
- 1572年7月4日-09:00|日本|愛知県津島市|元龜3年5月24日|尾張国津島社、大宮殿造営につき、仮殿への遷宮が行われる
- 1572年7月5日-08:00|中国| ||明・隆慶6年5月26日|<死去>明第13代皇帝「穆宗隆慶帝(朱載堉)」
- 1572年7月7日-02:00|リトアニア/ポーランド| |||<即位>ポーランド・リトアニア共和国リトアニア大公「ジヨナス・ジエロマス・ホドケヴィチス大元帥」(1回目~15740221)
- 1572年7月7日-01:00|ポーランド/リトアニア| |||<死去>ポーランド・リトアニア共和国ポーランド王・リトアニア大公「ジグムント2世アウグスト」/51歳(誕生15200801)ヤギェウォ朝が終る
- 1572年7月7日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー対立総督「ナッソー伯・オランジュ公ウイレム」(~15761108)
- 1572年7月14日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領スエバ・アンタルシア暫定総督「マルティン・スアレス・デ・トレド」(~15741129)
- 1572年7月19日-08:00|中国| ||明・隆慶6年6月10日|<即位>明第14代皇帝「神宗万曆帝(朱翊鈞)」隆慶帝の子(~万曆48年7月20日(1620年8月18日)死去)
- 1572年7月21日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|元龜3年6月12日|尼子残党の山中幸盛、因幡国甕山城に侵攻し武田高信に勝利
- 1572年7月23日-09:00|日本|山口県山口市|元龜3年6月14日|毛利輝元、祖父元就の小祥にあたり、吉田郡山城の近隣に洞春寺を建立
- 1572年7月24日-09:00|日本|富山県射水市|元龜3年6月15日|<五福山の戦い>上杉方諸將の鱒坂長実・河田長親・山本寺定長は談合して日宮城の救援に向かい西進、神通川を越え五福山にて一揆勢の大軍と衝突。上杉軍は奮戦するも衆寡敵せず後退、新庄城へ退却する途中の神通川渡し場において一揆勢の猛追を受け、大敗を喫した/孤立した日宮城は、その日の内に降伏開城し、守將の神保覚広や小島職鎮は能登の石動山天平等寺へ逃れた
- 1572年7月24日-09:00|日本|富山県富山市|元龜3年6月15日|越中・一向宗門徒、富山城を攻略
- 1572年7月29日 05:00|パナマ/イギリス| |||ドレイク、パナマへの第一回攻撃。ノブレ・デ・イオスを奇襲。一時町を占拠
- 1572年7月30日-09:00|日本|茨城県|元龜3年6月21日|那須資胤の娘を佐竹義重の嫡子義宣の妻とする事を条件に両家の講和が成立
- 1572年8月1日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ルイ・デ・ヌーザ・デ・カヴァーリョ」(~1573年死去)
- 1572年8月9日-09:00|日本| ||元龜3年7月|狩野直信、瀟湘八景図屏風を描く
- 1572年8月9日-09:00|日本|滋賀県|元龜3年7月|肥前の大村純忠は深堀純賢と闘った西郷純堯からの攻撃を受けた/このとき、深堀純賢は長崎氏を攻撃
- 1572年8月9日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜3年7月|明智光秀が近江坂本城を築く
- 1572年8月9日-09:00|日本|滋賀県守山市|元龜3年7月|<第2次湖南一向一揆>金森一向宗門徒と織田軍佐久間信盛

1580迄 (2027件)

と柴田勝家らが戦い門徒勢の金森御坊・三宅城落城

- 1572年8月9日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|元龜3年7月|佐竹義重、白河に侵攻し陸奥寺山城に在陣、葦名盛氏/結城義親/田村清顕と戦う
- 1572年8月9日-09:00|日本|宮城県登米市|元龜3年7月|大崎・葛西合戦の夏の陣、大崎義隆率いる大崎の最上連合軍3万の大軍が佐沼まで攻め上り、大崎旧家臣でありながら、葛西傘下になった薄衣一族が再び大崎義隆に服属させ旧領奪還を実現させた
- 1572年8月18日-01:00|フランス| ||ユグノーのリーダーのナヴァル王アンリ(のちのアンリ4世)とフランス国王シャルル9世の妹マルグリットが、カトリックの「ノートルダム大聖堂」(パリ4区)で結婚/アンリはナヴァル国王エンリク3世となる
- 1572年8月20日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン諸島総督「ミゲル・ロペス・デ・レカスピ」
- 1572年8月20日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「ギト・デ・ラ・サルス」(~15750825)
- 1572年8月22日 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンパランド伯「トマス・パーシー」処刑される
- 1572年8月22日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンパランド伯「ヘンリー・パーシー」先代の弟(~15850621死去)
- 1572年8月24日-01:00|フランス| |||<サン・バルテルミの虐殺>未明、ギーズ公アンリ(故フランス王・ギーズの子)の部下、プロテスタント派の指導者「スパルトル・コニエ」提督の屋敷を襲撃し、提督を殺害する/フランス国王シャルル9世の指示を受けたカトリック教徒がパリの「ル・ヴァル宮」(1区)に宿泊していたユグノー貴族数十人を処刑/王族のナヴァル王アンリと「コンテ」公アンリは殺害を免れ軟禁される/「第4次フランス宗教戦争」の始まり(~1573年)
- 1572年8月24日-09:00|日本|徳島県吉野川市|元龜3年7月16日|<上桜城合戦>篠原長房、三好長治に攻められて討死
- 1572年8月25日-01:00|フランス| |||<サン・バルテルミの虐殺>ナヴァル王アンリとマルグリットの婚礼祝福のためパリに集まったプロテスタント約3,000人が殺害される(パリ市内での虐殺は3日間続いた)/ユグノーの殺戮が、パリの東北東約45kmのモに飛び火
- 1572年8月26日-01:00|フランス| |||ユグノーの殺戮が、フランス中部のオルアン、ブルージュに飛び火
- 1572年8月27日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年7月19日|織田信長・織田信忠、近江国小谷城攻め/佐久間信盛・柴田勝家・木下秀吉・丹羽長秀・蜂屋頼隆に城下を蹂躙させる
- 1572年8月28日-01:00|フランス| |||ユグノーの殺戮が、フランス西部のアングレ、フランス中西部のソーミュールに飛び火
- 1572年8月29日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年7月21日|<小谷城の戦い>信長は虎御前山に陣取り、佐久間信盛らに小谷の城下町を放火させ、木下藤吉郎は山本山城下で交戦、勝利
- 1572年8月30日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年7月22日|木下秀吉、近江国山本山城の阿閉貞征攻撃/城より足軽100騎余が出撃、木下秀吉がこれを撃破し敵首50余を討取
- 1572年8月30日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|元龜3年7月22日|佐竹義重は陸奥国の寺山に於て白河義親や葦名盛氏らを破る
- 1572年8月31日-01:00|フランス| |||ユグノーの殺戮が、フランス中部のオルアンに飛び火
- 1572年8月31日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年7月23日|織田信長、近江国・越前国境の与語・木本地蔵坊中など「堂塔伽藍名所旧跡一字」を残らず焼き払う
- 1572年9月1日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年7月24日|木下秀吉・丹羽長秀、織田信長の命令を受けて共に近江国草野谷に放火、大吉寺に於いて敵勢「一揆僧侶」を殲滅;林与次左衛門・明智光秀・猪飼野甚介・山岡玉林・馬場孫次郎・居初又二郎、織田信長の命令を受けて「困舟」を建造し、近江国海津浦・塩津浦・与語入海・江北の敵地を焼き払い、竹生島に停泊し「火屋」・「大筒」・「鉄炮」を以て一揆勢を殲滅
- 1572年9月2日-09:00|日本|京都府京都市|元龜3年7月25日|<死去>伏見宮貞敦親王(85歳)皇族
- 1572年9月2日-09:00|日本|京都府京都市|元龜3年7月25日|狩野直信は八景の屏風「瀟湘八景図」を描き正親町天皇に進める
- 1572年9月4日-01:00|フランス| |||ユグノーの殺戮が、フランス北部のトロワに飛び火
- 1572年9月6日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年7月29日|朝倉軍が小谷に到着し大獄に設陣/大獄を攻める
- 1572年9月6日-09:00|日本|富山県|元龜3年7月29日|一揆勢は上杉方の山浦国清(信濃濃尾城主・村上義清の嫡男)の陣を攻撃、上杉方は河田長親が救援に駆けつけ数十人を討ち捕らえるも、上杉軍は多くの負傷者を出している
- 1572年9月8日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|元龜3年8月|武田信玄、飛騨諏訪城を攻撃し、城主江馬輝盛は逃亡
- 1572年9月8日-09:00|日本|埼玉県羽生市|元龜3年8月|北条氏政は羽生城を攻める
- 1572年9月8日-09:00|日本|兵庫県美方郡新温泉町|元龜3年8月|因幡鳥取城主武田高信が但馬阿勢井城を攻めるも、嫡子武田又太郎、一族および部将格の兵を多く失う
- 1572年9月8日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|元龜3年8月|佐竹義重、葦名盛氏/結城義親/田村清顕と和睦
- 1572年9月8日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|元龜3年8月1日|山中鹿之助が但馬亡命中の山名豊国を助け、鳥取城主に返り咲かせる
- 1572年9月15日-09:00|日本|福井県|元龜3年8月8日|朝倉勢の中から前波吉継父子が信長に降った
- 1572年9月16日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年8月9日|織田信長が北近江小谷城の南西、虎御前山に築城、城番として羽柴藤吉郎を置く
- 1572年9月16日-09:00|日本|福井県越前市|元龜3年8月9日|朝倉勢の中から越前府中城主富田長秀(長繁)・戸田與次・毛屋猪介が信長に降った
- 1572年9月17日-01:00|フランス| |||ユグノーの殺戮が、フランス西部のルアンに飛び火
- 1572年9月24日 05:00|ペルー| |||インカ帝国最後の皇帝トパク・アマリ1世がクスコで斬首刑/インカ帝国の最終的崩壊
- 1572年9月25日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<即位>ハンガリー・クロアチア王「ルトルジ1世」共同統治(⇒15761012、兼オーストリア大公ルトルジ1世~16081119)

1580迄 (2027件)

- 1572年9月25日-09:00|日本|大阪府大阪市淀川区|元龜3年8月18日|<摂津中嶋城合戦>石山本願寺の下間頼資や下間頼廉らが、三好義継とともに、20000の兵で織田方の細川信良の守る摂津中嶋城を攻めて、城下に放火。織田方は多くの死傷者を出す撃退
- 1572年9月25日-09:00|日本|富山県富山市|元龜3年8月18日|上杉謙信が、一向一揆平定のため越中へ進軍して新庄城へ入り、ついで富山城を攻めるが勝つかず
- 1572年9月26日-09:00|日本|奈良県天理市|元龜3年8月19日|柳本城において森本左京が自害、伊源二郎らが捕らえられる
- 1572年9月26日-09:00|日本|広島県福山市|元龜3年8月19日|木梨元恒・古志豊綱、小早川隆景らの助言で和議を結ぶ
- 1572年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ピエール・マッテオ・ベルツィ」「アントニオ・デ・イ・アンジエロ・ベッリニ」
- 1572年10月3日-01:00|フランス| |||ユグノーの殺戮が、フランス南西部のポルト・トウルーズに飛び火
- 1572年10月3日-09:00|日本|愛媛県松山市|元龜3年8月26日|<死去>伊予国湯築城主「河野通直」病歿(73歳)⇒子の「河野通直」が継ぐ(天正13(1585)年失領)
- 1572年10月5日-01:00|フランス| |||ユグノーの殺戮が、フランス南部のガヤック、アルビ、ラバスタンに飛び火
- 1572年10月5日-09:00|日本|愛知県知多郡南知多町|元龜3年8月28日|尾張国小佐の神明社の社殿が再興される
- 1572年10月5日-09:00|日本|京都府木津川市|元龜3年8月28日|大和「信貴山城」城主松永久秀、久通父子、山城木津を攻める利あらず
- 1572年10月7日-09:00|日本| ||元龜3年9月|浅井長政・朝倉義景が、武田信玄と同盟を結ぶ
- 1572年10月7日-09:00|日本|富山県富山市|元龜3年9月初旬|<尻垂坂の戦い>越中国尻垂坂において、上杉謙信軍が加賀一向一揆・越中一向一揆連合を破った/上杉軍は、富山城へ敗走する一揆勢を追い立て、その勢いのまま富山城を包囲
- 1572年10月22日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年9月16日|織田信長が北近江虎御前山を木下秀吉に守らせ、八相山・宮部に砦を築き横山城と連絡を取る
- 1572年10月24日 00:00|マン島/イギリス| |||<死去>マン島主・ダニエル・バーク「エドワード・スタンレイ」
- 1572年10月24日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島主・ダニエル・バーク「ヘンリー・スタンレイ」(~15930925死去)
- 1572年10月24日-09:00|日本|富山県富山市|元龜3年9月18日|<滝山城合戦>上杉謙信は一揆方の滝山城(別称・富崎城)にも攻撃を開始/上杉軍は廻輪を破り実城だけにしたため、籠城していた水越氏は河田長親の役所へ投降/謙信はこれを助命した上で城内を焼き払う
- 1572年10月25日-09:00|日本|滋賀県彦根市|元龜3年9月19日|高宮右京亮は丹羽長秀・河尻秀隆に佐和山で誘殺される/一揆扇動の咎による
- 1572年10月28日 00:00|イギリス| |||<死去>初代マー伯「ジョン・アースキン」
- 1572年10月28日 00:00|イギリス| |||<就任>2代マー伯「ジョン・アースキン」(~16341214死去)
- 1572年10月29日-09:00|日本|富山県富山市|元龜3年9月23日|上杉謙信、水越氏・一揆勢の立て籠もっていた滝山城を破却
- 1572年11月-05:30|インド| |||アハル、アムターバトに入城しグジャラト地方征服
- 1572年11月2日-09:00|日本|鹿児島県垂水市|元龜3年9月27日|<小浜城の戦い>島津歳久を大将に、禰寝氏領の小浜古壘を攻め落とす
- 1572年11月4日-09:00|日本|愛知県|元龜3年9月29日|武田信玄の別働隊山県昌景が五千の兵を率いて先発、三河へ侵攻
- 1572年11月6日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「クレス・オーケン・トット」(~1574年)
- 1572年11月6日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年10月|宮部城の宮部継潤、織田信長に投降
- 1572年11月6日-09:00|日本| ||元龜3年10月初旬|毛利輝元、浦上宗景、宇喜多直家と和睦
- 1572年11月6日-09:00|日本|富山県富山市|元龜3年10月1日|加賀・越中の一向宗徒が蜂起して越中を攪乱、上杉謙信が富山城の一向一揆と交戦し敗走させる
- 1572年11月9日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッハ朝イマム「アルムター」
- 1572年11月11日-01:00|デンマーク| |||デンマークの天文学者ティコ・ブラーエが、カシオペア座の中に新星を発見(超新星の大爆発と考えられている)
- 1572年11月14日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ズルツ伯・クレットガウ方伯摂政「ゲオルク・グラーフ・フォン・ヘルフェンシュタイン」(~15731117)/「ハインリヒ・グラーフ・フォン・フルステンベルク」(~1580年)
- 1572年11月15日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|元龜3年10月10日|<第二次三遠侵攻>武田信玄本隊、2万の大軍を率いて伊那谷から遠江との国境にある青崩峠に侵攻/北遠江の有力国人だった天野景貫は信玄に寝返り、居城・犬居城を明け渡して侵攻の先導役を務める
- 1572年11月15日-09:00|日本|静岡県牧之原市|元龜3年10月10日|龍門山石雲院(榛原町坂口)、武田軍の兵火により焼失
- 1572年11月18日-09:00|日本|静岡県|元龜3年10月13日|武田信玄自らも2万2000の軍勢を率いて徳川方の只来城・天方城・一宮城・飯田城・各和城・向笠城(磐田市)などをわずか1日で全て落とした
- 1572年11月19日-09:00|日本|静岡県磐田市|元龜3年10月14日|<一言坂の戦い>遠江国二俣城をめぐる、武田信玄と徳川家康の間で行われた戦い/太田川の支流・三箇野川や一言坂で戦いが始まり、家康は撤退を決め本多忠勝と大久保忠佐が徳川本隊と内藤隊を逃すために殿を務め、一言坂の下という不利な地形に陣取った/急戦で陣形もままならぬ本多隊を、武田軍先鋒の馬場信春隊は容赦なく突撃し、3段構えの陣形のうちの第2段まで打ち破る/信玄の近習である小杉左近は、本多隊の退路を阻むために、本多隊の後方(一言坂のさらに下)に先回りし、鉄砲を撃ちかけた/忠勝は、大滝流れの陣をとり、坂の下で待ち受ける小杉隊に敵中突破し逃走を図るが、左近

1580迄 (2027件)

- はこれを迎え撃たず、道を空けるように指示して本多隊を見逃す/本多忠勝の働きによって家康率いる本隊は無事に天竜川を渡り切ることに成功し、撤退戦を無事に完了
- 1572年11月20日-09:00|日本|静岡県磐田市|元亀3年10月15日|武田信玄は匂坂城を攻略/掛川城や高天神城は孤立し、家康方は浜松城にある城兵だけで武田軍と戦うことを余儀なくされた
- 1572年11月23日-09:00|日本|富山県|元亀3年10月18日|一揆方の椎名康胤が降伏を申し出るが、謙信はこれを許さず、越後に帰国
- 1572年11月25日-09:00|日本|京都府京都市|元亀3年10月20日|<死去>吉田宗桂(61歳)京の医者で2度明に渡り皇帝世宗に薬を献上
- 1572年11月27日-09:00|日本|愛知県新城市|元亀3年10月22日|東三河へ侵攻した山県昌景が柿本城(城主鈴木重好)へ進軍。鈴木重好は城を空けて撤退
- 1572年11月27日-09:00|日本|静岡県磐田市|元亀3年10月22日|<一言坂の戦い(遠江国)>浜松城から本多忠勝・内藤信成が武田軍の偵察に出陣し、天竜川を渡河。偵察隊が接近して来た武田軍と遭遇、徳川勢は兵が少ないため急ぎ退却を開始。内藤信成と本多忠勝が殿軍となるが、武田の騎馬隊馬場信春に一言坂で追いつかれ攻撃を受ける。本多忠勝の活躍により部隊は浜松城へ帰還。武田軍はそのまま進軍を行い、二俣城(城主中根正照・青木又四郎)を包囲
- 1572年11月27日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|元亀3年10月22日|<仏坂合戦>武田家部将の山県昌景、井伊谷三人衆に勝利/井平城主の井伊直成と鈴木重俊は討死/井伊谷城は井伊直虎が放棄し逃走したため武田軍が接收
- 1572年12月 05:00|パナマ| ||<トレクの一団に伝染病流行。28人が死亡>
- 1572年12月2日-01:00|カマチャク| ||<死去>カマチャク・パン「フランソワ・フランコパン・スルニスキ」
- 1572年12月7日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元亀3年11月3日|羽柴秀吉、近江国虎御前山城に攻撃を仕掛けてきた浅井七郎を先鋒とする浅井・朝倉連合軍を撃退
- 1572年12月16日-09:00|日本|岐阜県下呂市|元亀3年11月12日|<死去>飛騨桜洞領主「姉小路良頼」53歳⇒子の「姉小路頼綱」が継ぐ(⇒天正7(1579)年、飛騨松倉に移転~天正13(1585)年8月、羽柴秀吉に降伏滅亡)
- 1572年12月17日-09:00|日本|兵庫県淡路市|元亀3年11月13日|三好三人衆に味方していた淡路の安宅信康が足利義昭に降り、信長からも許された
- 1572年12月18日-09:00|日本|岐阜県恵那市|元亀3年11月14日|<第2次岩村城合戦>武田方の秋山信友が美濃岩村城を攻め、遠山景任夫人との再婚を条件に城を奪取/岩村城は武田方になり、下条信氏が入城
- 1572年12月23日-09:00|日本|奈良県北葛城郡上牧町|元亀3年11月19日|(~20日)松永久秀が片岡近辺に出て二日にわたって放火
- 1572年12月24日-09:00|日本| ||元亀3年11月20日|織田信長、上杉謙信と同盟を締結(越濃同盟)/信長、信玄と国交を断つ
- 1572年12月24日-09:00|日本|愛知県豊川市|元亀3年11月20日|菅沼定仙、三河国三所権現社の社殿を建立
- 1572年12月26日-09:00|日本|奈良県奈良市|元亀3年11月22日|松永軍、大和国多聞山城より出撃し今市を放火す/筒井順慶軍(筒井衆)が撃退したが、少々の損害を受けた
- 1572年12月30日-09:00|日本|岐阜県恵那市|元亀3年11月26日|岩村の大圓寺は武田軍の兵火により焼かれ、希菴は共の者と寺から逃亡/武田軍は刺客3人を送り希菴一行に追付き飯羽間川にかかる橋の上で全員を殺害
- 1573年-08:00|マレーシア| ||<即位>マタニ王国国王「スルタン・ハートゥル・シャー」(~1584年)
- 1573年-05:30|インド| ||<廃位>ムフアット朝スルタン「ムサファール・シャー3世」ムガル帝国に支配される
- 1573年-05:00|モルデイグ| ||<即位>ヒルリ朝国王「Dom Manoel Dhirikusa Loka」(~1583年)
- 1573年-03:00|エチオピア| ||<即位>ハラルスルタン国スルタン「Amir Mansur Ma?amed」(~1577年)
- 1573年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンテ・イア公「タニエレ・ウエニエ」(~1574年)
- 1573年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「フェイン・ハシヤ・ホリヤニッチ」(~1574年)
- 1573年-02:00|ギリシャ| ||<就任>カンテ・イア王国総督「ルカ・ミシエル」(~1574年)
- 1573年-01:00|スペイン| ||<再任>リバコルサ伯「Martin」(~1581年)
- 1573年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのベイルベ「カイト・ラマタン・パシヤ」(~1577年5月)
- 1573年-01:00|フランス| ||<就任>サンボル伯「アンリ1世」ロンクヴァイル公(~15950408死去)
- 1573年-01:00|オランダ/スペイン| ||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「Luis de Requesens y Zuniga」(~15760305死去)
- 1573年-01:00|チュニジア/アルジェリア| ||<即位>ハフス朝アミール「ムハンマド7世」(~1574年)
- 1573年-01:00|イタリア/トルコ| ||オスマン朝がヴェネツィアと和平協定を締結
- 1573年 00:00|モロッコ| ||<死去>タンジール首長「ルイ・デ・ヌーサ・デ・カルクア・アリオ」
- 1573年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Juan Alvarez de Fonseca」(1期目~1577年)
- 1573年 00:00|モロッコ| ||<就任>タンジール暫定首長「デ・イコ・ロ・ス・テ・フランサ」(4回目~1574年7月)
- 1573年 00:00|フェロ諸島| ||<就任>フェロ諸島領土執達吏(ト・スハウ)「Joachim Thim」(~1578年)
- 1573年 00:00|カナ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル・ゴールト・コースト長官「マルティム・アフォンソ」
- 1573年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ファイアル島・ピコ島トナリア長官「Francisco de Mascarenhas」(~1582年)
- 1573年 04:00|ポルビア/スペイン| ||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ロペ・デ・イス・ド・オー・イ・アルメンダリス・カストレホン」(~1577年)
- 1573年 06:00|ホンジュラス/スペイン| ||<就任>コマケア県総督「デ・イコ・デ・エレラ」(~1577年)
- 1573年 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>サンサルバドル一般市長「ルイス・ガンボア」(~1577年)
- 1573年 06:00|ホンジュラス| ||コマケアがホンジュラスの首都となる

1580迄 (2027件)

- 1573年 06:00|コスタリカ/グアテマラ/ニカラグア| |||ニカラグア、コスタリカ、グアテマラ総督領に編入
- 1573年1月4日-09:00|日本|茨城県猿島郡五霞町|元龜3年12月|北条軍が上杉方の下野栗橋城を攻撃、占領
- 1573年1月4日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜3年12月|近江坂本城が完成
- 1573年1月6日-01:00|ポ-ランド| |||ワルシャワ、ポ-ランド 王選挙方法決める議会 (召集議会)開催/国王自由選挙の原則確立 (186年間続いたヤギェウオ王朝断絶のため)
- 1573年1月6日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元龜3年12月3日|小谷城の応援の朝倉義景、信長を追撃しようとせず、近江国より撤退、越前に帰国
- 1573年1月17日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「アーガイル伯アーチボルド・キャンベル」 (~9.12死去)
- 1573年1月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>オランダ 伯「アントン1世」
- 1573年1月22日-01:00|ドイツ| |||<就任>オランダ 伯「ヨハン7世」 (~16031112死去)
- 1573年1月22日-01:00|ドイツ| |||<就任>オランダ 伯「テメルホルスト伯「アントン2世」 (~1619年)
- 1573年1月22日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|元龜3年12月19日|武田勝頼が遠江二俣城を水の手を断って落とす/城将・中根正照らは浜松城へ退去
- 1573年1月22日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・洪福1年12月19日|<死去>後黎朝 (大越) 後期第3代皇帝「英宗黎維邦」
- 1573年1月23日-09:00|日本|大阪府大阪市淀川区|元龜3年12月20日|香西元成らの三好三人衆・松永勢と門徒衆が、織田方の細川信良が守る摂津中島城に攻め寄せるが撃退
- 1573年1月25日 07:00|日本|静岡県浜松市北区|元龜3年12月22日|<三方ヶ原の戦い>家康は三方ヶ原から祝田の坂を下る武田軍を背後から襲うため浜松城から追撃/夕刻には、三方ヶ原台地に到着するが、武田軍は魚鱗の陣を布いて待ち構えており、徳川軍は鶴翼の陣をとって戦闘が始まりわずか2時間の戦闘で甚大な被害を受けて敗走/武田軍の死傷者200人に対し、徳川軍は死傷者2,000人のほか、鳥居四郎左衛門、成瀬藤蔵、本多忠真といった有力な家臣を始め、中根正照、青木貞治や、家康の身代わりとなった夏目吉信、鈴木久三郎といった家臣、また織田軍の平手汎秀といった武将を失った
- 1573年1月25日 10:00|日本|静岡県浜松市中区|元龜3年12月22日|<犀ヶ崖の戦い>夜、一矢報いようと考えた家康は大久保忠世、天野康景らに命令し、浜松城の北方約1kmにある犀ヶ崖付近に野営中の武田軍を夜襲させ、混乱した武田軍の一部の兵が犀ヶ崖の絶壁から転落したり、崖に誘き寄せるために徳川軍が崖に布を張って橋に見せかけ、これを誤認した武田勢が殺到して崖下に転落したなどの策を講じ、その結果、多数の死傷者を出した
- 1573年1月26日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ペドロ・デ・ヒジャロ」 (~15780204)
- 1573年1月28日-01:00|ポ-ランド| |||ポ-ランド、ワルシャワ連盟協約/宗教上の寛容
- 1573年1月29日-09:00|日本|栃木県|元龜3年12月26日|下野・北条氏政、下野侵入するが、宇都宮氏これを撃退
- 1573年1月29日-09:00|日本|栃木県栃木市|元龜3年12月26日|佐竹義重、那須資胤、小山高朝、結城晴朝、田村清顯等が小田原方の下野国皆川城主皆川山城守廣照を攻める (~翌年2月13日)
- 1573年1月30日 00:00|イギリス| |||<死去>7代エール伯「ジョージ・ヘイ」
- 1573年1月30日 00:00|イギリス| |||<就任>8代エール伯「アントン・ヘイ」 (~15851008死去)
- 1573年1月31日-09:00|日本|岐阜県恵那市|元龜3年12月28日|<上村合戦>武田家部将の秋山信友、遠山残党に勝利/美濃国恵那郡明知城主「遠山景行」討死
- 1573年2月 05:00|ハンガリー| |||トレイクら18名、シロンの協力を得て「王道」の要衝クルスに達し財宝の奪取を試みるが失敗/そのあとノブレ・デ・イオス近くで二度目の襲撃に成功
- 1573年2月1日-09:00|日本|栃木県河内郡上三川町|元龜3年12月29日|<多功原合戦>小田原城主北條氏政が下総国葛飾郡関宿城主築田中務大輔晴助を攻め、更に下野国の多功原に於て佐竹義重、宇都宮廣綱らと戦ったが敗北し、佐竹義重は皆川領の深沢、南摩の十一ヶ城を攻略し皆川城を裸城にして残した
- 1573年2月2日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・嘉泰1年|<即位>後黎朝 (大越) 後期第4代皇帝「世宗黎維潭」 (~15991012死去) 嘉泰と改元 (-1577)
- 1573年2月2日-08:00|中国| ||明・万曆1年1月1日|明・万曆と改元
- 1573年2月3日-09:00|日本|静岡県島田市|元龜4年|武田勝頼が馬場信春に命じ、遠江諏訪原城を築城させる
- 1573年2月3日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|元龜4年1月|<烏山城合戦>佐竹義重配下の松野篤通・武茂守綱らが烏山城を攻撃
- 1573年2月3日-09:00|日本|富山県|元龜4年1月|一向一揆は和平を提案したため、越中在陣の謙信は和議を結んだ/和議をきっかけに、椎名康胤は長尾顕景 (後の上杉景勝)・栗林政頼らを介して謙信に再び許しを請い、これを認められている
- 1573年2月3日-09:00|日本|茨城県つくば市|元龜4年1月1日|佐竹方の千田刑部少輔、車丹波守、佐竹弾正らが筑波郡に侵入し勢を三手に分ける/小田の一族北條城主・北條治高が佐竹方に加わり内通、佐竹勢は小田城を攻め、小田方の部将江戸山城守ら城を出て千田刑部少輔を迎へ撃って戦い千田撰津介を討取り之れを破って大島へ撃退し更に追撃し小田方の河合源五郎が佐竹方の部将千田刑部少輔を討取り座王山に撃退/小田氏治入道天菴、同守治父子は小田城より脱出して新治郡一ノ矢の八坂神社の前に逃れた/佐竹方の車丹波守忠治は小田城を攻略し、千田備前守、佐竹弾正、北條治高等と小田城を乗取って入城し、車丹波守の部将、那珂郡瓜連館主坂口出羽守は小田の清涼院極楽寺を襲って火を放ちて焼打ちにし院主を焼き殺し寺を焼く
- 1573年2月3日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|元龜4年1月1日|<死去>元北信濃の大名「村上義清」 (73) 旧領信濃に戻ることなく越後根知城で病歿
- 1573年2月8日-09:00|日本|鹿児島県曾於市|元龜4年1月6日|肝付兼亮、島津方の北郷時久を大隅末吉城に攻撃し敗れる
- 1573年2月10日-09:00|日本|奈良県|元龜4年1月8日|松永久秀、織田信長に「不動国行」を献上し恭順

1580迄 (2027件)

- 1573年2月12日-09:00|日本|茨城県つくば市|元亀4年1月10日|小田方の長峰左近將監は小田城の南口門を攻めたが討死し、小田勢は小田城の総攻撃を開始したが間も無く、中條出羽守の軍令に依て包囲を解きて太田口に移動
- 1573年2月12日-09:00|日本|京都府京都市|元亀4年1月10日|<死去>京都の神道家吉田兼右(58)
- 1573年2月13日-09:00|日本|茨城県つくば市|元亀4年1月11日|佐竹勢は秘かに小田城より退城し山口や平沢を通過して撤退し久慈郡の太田に引き揚げる
- 1573年2月14日-09:00|日本|茨城県つくば市|元亀4年1月12日|小田勢は小田城を取り戻して木田余城の小田氏治入道天菴、同彦太郎守治父子は小田城に帰陣
- 1573年3月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン公「ヨハン・ウーイルヘルム」
- 1573年3月2日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「フリートリヒ・ウーイルヘルム」ヨハン・ウーイルヘルムの息子(~16020707死去)
- 1573年3月3日-01:00|フランス| |||<死去>オマル公「Claude2世」
- 1573年3月3日-01:00|フランス| |||<就任>オマル公「Charles」(~1631年死去)
- 1573年3月3日-09:00|日本|京都府京都市|元亀4年1月29日|將軍足利義昭が、浅井長政・朝倉義景・武田信玄・本願寺らに、信長討伐の激を發し挙兵
- 1573年3月4日-09:00|日本|鹿児島県肝属郡肝付町|元亀4年2月|肝付省均、島津氏に対して謀反し独立
- 1573年3月4日-09:00|日本|埼玉県羽生市|元亀4年2月|岩槻城代・北條氏繁、武蔵国羽生城攻めを開始
- 1573年3月4日-09:00|日本|鳥取県岩美郡岩美町|元亀4年2月|山中幸盛、勝久を奉じ因幡に進み桐山城を陥落させてこれを拠点とする
- 1573年3月7日-02:00|トルコ/イリア/キプロス| |||コンスタンノープルの和約が結ばれ、ヴェネツィアがキプロスをトルコに割譲
- 1573年3月9日-09:00|日本|京都府京都市|元亀4年2月6日|山城愛宕郡の岩倉山本對馬守・渡辺宮内少輔・磯谷久次、明智光秀に敵対蜂起
- 1573年3月10日-09:00|日本|茨城県つくば市|元亀4年2月7日|太田城主佐竹義重は下妻城主多賀谷修理大夫政経に命じ、政経は筑波郡上大島城主平塚周防守を夜襲して討取り攻略
- 1573年3月16日-09:00|日本|静岡県御殿場市|元亀4年2月13日|佐竹義重、下野深沢城(皆川広照)を攻略
- 1573年3月17日 00:00|イギリス| |||<死去>第5代ケント伯「レギナルド・グレイ」
- 1573年3月17日 00:00|イギリス| |||<就任>第6代ケント伯「ヘンリー・グレイ」(~16150131)
- 1573年3月19日-09:00|日本|愛知県新城市|元亀4年2月16日|<野田城合戦>武田信玄が徳川方菅沼定盈・松平忠正の拠る三河野田城を落とす/菅沼定盈は捕虜として武田軍に連行された
- 1573年3月23日-09:00|日本|滋賀県大津市|元亀4年2月20日|<第3次湖南一向一揆>近江園城寺の光浄院遷慶(山岡景友)・磯貝新右衛門らが將軍義昭に応じ、一向宗徒を糾合し石山・堅田で籠城蜂起
- 1573年3月27日-09:00|日本|滋賀県大津市|元亀4年2月24日|<第6次近江侵攻>織田信長は柴田勝家・明智光秀・丹羽長秀・蜂屋頼隆ら四将を派遣、勢田から琵琶湖を渡り、石山砦に攻撃をかけた
- 1573年3月29日-09:00|日本|滋賀県大津市|元亀4年2月26日|<近江石山城合戦>織田信長軍の柴田勝家・明智光秀・丹羽長秀・蜂屋頼隆、足利義昭と党の籠もる近江国石山城の光浄院遷慶(山岡景友)を降伏させ攻略、破却す
- 1573年3月30日-09:00|日本|茨城県つくば市|元亀4年2月27日|小田天菴に筑波郡上大島城奪回を命じられた新治郡強清水上ノ館城主・沼尻家忠は上大島城の多賀谷勢を攻め破って攻略し、多賀谷勢は下館方面に逃れ、沼尻が上大島郡を取り戻した
- 1573年3月30日-09:00|日本|大阪府大阪市淀川区|元亀4年2月27日|<摂津中嶋城合戦>三好義継・松永久秀、攝津中嶋で細川昭元を破り、昭元塚に敗走
- 1573年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「アントニオ・ブランケティ」ジオーロ・ダ・イコ・デ・イ・マッテオ・ベルツィ
- 1573年4月1日 04:00|ポルトガル/ベルギー| |||ベルギー副王のトリエがミタ労働令を發し、ポトツで強制労働が導入
- 1573年4月1日-09:00|日本|滋賀県大津市|元亀4年2月29日|<今堅田城合戦>織田信長の命令を受けた柴田勝家・明智光秀・丹羽長秀・蜂屋頼隆、辰刻に近江国今堅田城への攻撃を開始、明智光秀、近江国今堅田城を攻略
- 1573年4月2日-09:00|日本|群馬県渋川市|元亀4年3月|白井城が上杉軍に奪われる/真田幸隆、上野で上杉方と戦う
- 1573年4月2日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|元亀4年3月|徳川家康、平岩親吉に天万城を攻めさせる/守将久野弾正宗政(武田方)敗れ、再び甲州へ逃げ去る/向笠・ノ宮その外の小城は戦わずして降参
- 1573年4月2日-09:00|日本|富山県富山市|元亀4年3月|越中・一向一揆勢、椎名康胤が再び背き富山城を占領
- 1573年4月3日-09:00|日本|佐賀県唐津市|元亀4年3月2日|草野城は、龍造寺隆信率いる5400騎に取り囲まれ/龍造寺は敗走
- 1573年4月5日-09:00|日本|宮城県栗原市|元亀4年3月4日|葛西晴信、大崎義隆を破って陸奥岩ヶ崎城を落とし、栗原郡を制
- 1573年4月6日-09:00|日本|富山県富山市|元亀4年3月5日|上杉謙信は再び越中に入り富山城を攻略
- 1573年4月7日-09:00|日本|京都府京都市|元亀4年3月6日|將軍義昭が三好三人衆・松永久秀らと通じ、信長の人質を返して講和申請を拒否、宣戦布告
- 1573年4月10日-09:00|日本|愛知県新城市|元亀4年3月9日|武田信玄、三河鳳来寺から信濃に退却
- 1573年4月12日-09:00|日本|大阪府高槻市|元亀4年3月11日|荒木村重に父を殺害された高槻城主和田惟長、しばらく村重に従属するが叛旗を企図し、後見人で親村重派の叔父和田主膳佑惟増を殺害/親村重派和田家家老高山右近は村重に通報相談、村重は高槻へ出兵/右近と惟長は城中で斬り合い、双方が手傷/高槻城は高山右近の兵と荒木一党によって占拠、惟長は重傷を負いつつも城を脱して三淵藤英の伏見城に逃げ込む
- 1573年4月13日-09:00|日本|群馬県桐生市|元亀4年3月12日|上野国金山城・由良国繁、桐生氏の内紛に乗じ、桐生城を攻略
- 1573年4月14日-09:00|日本|京都府京都市南区|元亀4年3月13日|摂津池田城主・池田知正が京都八条に出陣、東寺

1580迄 (2027件)

衆徒と争う

- 1573年4月17日-09:00|日本|静岡県掛川市|元龜4年3月16日|徳川家康配下の石川日向守・久野宗能、可久輪城(各和城)を攻め城主・原頼延出奔/六笠城主・六笠伯耆守、一宮城主・武藤氏定逃走
- 1573年4月19日-09:00|日本|愛媛県西条市|元龜4年3月18日|伊予、地蔵ヶ岳城主大野直之、河野通直(伊予守)に背き、長曾我部元親と結ぶ/河野通直(伊予守)5千、地蔵ヶ岳城を包囲。大野直之は鶴ノ森城に逃げ込む/通直は鶴ノ森城を包囲。直之の援軍に波川執行・津野藤蔵等率いる長曾我部軍が加わり、河野氏援軍に宍戸隆家・小早川隆景・吉川元春等の毛利軍1万が駆けつける。鶴ノ森城は落城、直之は降伏/援軍の波川執行等は赦して土佐に帰還させる。地蔵ヶ岳城には土居通建を入れて宇都宮豊綱(弥三郎)を補佐させる。直之は赦されて大除城主大野直昌(直之の兄)に預けられるが、長曾我部元親のもと出奔
- 1573年4月19日-09:00|日本|鹿児島県鹿屋市|元龜4年3月18日|衾寝氏領に侵攻した肝付・伊地知連合軍を、援軍に向かった島津勢が西俣で撃退
- 1573年4月20日 01:00|アゾリス諸島/ポルトガル |||<就任>ゲラシオ・ザ・島トナリア長官「Fernando Coutinho3世」(~1593年死去)
- 1573年4月22日-09:00|日本|茨城県石岡市|元龜4年3月下旬|筑波郡小田城主小田入道天菴、同守治父子は自ら三千騎を率いて先ず真壁郡真壁城主・真壁久幹入道暗夜軒道夢を討たんと新治郡に入り青柳山を越して小幡村に陣を取り居民を掠め廬舎を焚く/真壁久幹入道道夢、義幹、広幹父子は兵を率いて小田勢と戦うが、先鋒坂本信濃守が敗北、真壁氏幹と広幹兄弟は小田守治に切り崩され敗北
- 1573年4月23日-09:00|韓国/朝鮮 |||<就任>朝鮮国領議政「權轍」(~10.10)
- 1573年4月26日-09:00|日本|茨城県石岡市|元龜4年3月25日|小田の所領、中館御所、北條城等が手葉井山合戦の時に佐竹勢に攻略された
- 1573年4月27日-09:00|日本|京都府京都市西京区|元龜4年3月26日|將軍足利義昭が大野原神社社務長澤市介を殺す
- 1573年4月30日-09:00|日本| ||元龜4年3月29日|細川藤孝と荒木村重、織田信長に臣従
- 1573年5月 00:00|イギリス |||スコットランド、摂政モートン伯、エディンバラ城に籠るカールデーらを攻撃、排除/首謀者処刑
- 1573年5月 03:00|ブラジル/ポルトガル |||<就任>ポルトガル領ブラジル(ハイア)総督「リス・デ・ブリトとアルメイダ」(~15780412)
- 1573年5月 06:00|コスタリカ/スペイン |||<就任>コスタリカ総督代行「ファン・ソラーノ・イ・デ・イラス・デ・ヒア」(~1574年5月)
- 1573年5月1日-09:00|日本|京都府京都市上京区|元龜4年3月30日|將軍足利義昭・三好三人衆ら、信長方京都所司代村井貞勝の屋敷を包囲して焼き払った
- 1573年5月2日-09:00|日本|埼玉県深谷市|元龜4年4月|岩槻城代・北條氏繁、武蔵国深谷城(上杉憲盛)を攻略
- 1573年5月5日-09:00|日本|京都府京都市上京区|元龜4年4月4日|<上京焼き討ち>(2日~)織田信長は柴田勝家・佐久間信盛・蜂屋頼隆・中川重政・明智光秀・荒木村重・細川藤孝ら7人に7000~8000の軍勢を預け二条城を包囲し、上京に放火
- 1573年5月8日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元龜4年4月7日|二条第に正親町天皇の勅命で、將軍足利義昭と織田信長が和睦
- 1573年5月9日-01:00|ポーランド/リトアニア |||<即位>ポーランド・リトアニア共和国ポーランド王「ハンク・ヴァリス・イ」フランス王シャルル9世の弟(~15750512ポーランド王位を放棄しフランス王アンリ3世)最初に国王自由選挙で選ばれたポーランド君主
- 1573年5月9日-09:00|日本|滋賀県東近江市|元龜4年4月8日|織田信長は百濟寺に滞在/佐久間信盛・蒲生賢秀・丹羽長秀・柴田勝家ら、六角承禎の最後の牙城鯉江城攻撃
- 1573年5月11日-09:00|日本|広島県三次市|元龜4年4月10日|三吉隆亮・同広高、毛利輝元と盟約を結ぶ
- 1573年5月12日-09:00|日本|茨城県|元龜4年4月11日|太田三樂斎、梶原美濃守、北條出雲守、息犬太郎、真壁道夢等は石田主水、大島藏人らに小田城を守らせ藤沢を攻める/藤沢城主小田天菴は小田守治、菅谷左エ門、由良憲綱、戸崎大膳亮、行方貞久、海上武経等は田戸部川で迎へ撃ち北條犬太郎を討ち取って破り小田城へ撃退/常陸国真壁郡下妻城主多賀谷政経は下総国豊田郡豊田城主豊田治親を攻めるため出陣、常陸国筑波郡上郷の北方長峰台に砦を構えて豊田勢と戦い、豊田治親が加勢、小田天菴は野中瀬入道鈍斎、沼尻又五郎、岩崎勘解由左エ門、片岡七郎左エ門、星宮又右エ門、小造惣兵衛、天野弥大夫、沼崎播摩守の八人を物頭として加勢に遣わし、小田加勢軍は常陸国筑波郡上郷の南方金村台に陣を取る/長峰台の多賀谷政経は嫡子多賀谷重経、染谷三河守、岡野半平実房らを金村台に遣わして小田勢と戦い、豊田城の豊田治親は飯見大膳、比企彦三郎らを金村台に遣わし多賀谷勢を横合より攻め崩す/多賀谷政経は豊田城を攻めんとし、豊田治親も小貝川に出張して之を迎へ撃って破り長峰台に追撃して吉沼へ追拂い、豊田城に引き揚げ、小田の加勢軍も藤沢に帰陣
- 1573年5月12日-09:00|日本|滋賀県東近江市|元龜4年4月11日|織田信長は鯉江城を支援する近江国百濟寺に放火して全焼させ、その日のうちに帰還して岐阜城に到着
- 1573年5月13日-09:00|日本|長野県下伊那郡阿智村|元龜4年4月12日|<死去>甲斐・信濃国守護「武田晴信(信玄)」長篠城に1ヵ月ほど滞在していたが、帰国の途中、長野県の駒場で病死/53歳(誕生:大永1(1521)1103)⇒子の「武田勝頼」が嗣ぐ(~天正10(1582)年3月11日自害滅亡)
- 1573年5月14日-09:00|日本|滋賀県守山市|元龜4年4月13日|美濃国の吉村源介・吉村安実、足利義昭に呼応した江南表の一揆を撃破
- 1573年5月16日-09:00|日本|埼玉県深谷市|元龜4年4月15日|北条軍が深谷城を攻撃、城主上杉憲盛を降伏させ、深谷上杉氏を鉢形城主北条氏邦の傘下に入れる
- 1573年5月28日-01:00|フランス |||ハレム城外の湖での水上戦。アルバ公、ウィレム1世に勝利
- 1573年6月7日-09:00|日本|滋賀県東近江市|元龜4年5月8日|信長が京から東近江へ進軍。鯉江城の六角義治を攻撃、百濟寺を焼き払う

1580迄 (2027件)

- 1573年6月8日-09:00|日本|静岡県静岡市|元亀4年5月9日|徳川家康の軍勢、大井川を越えて駿河に侵入、岡部に放火、さらに駿府郊外にも放火
- 1573年6月8日-09:00|日本|静岡県焼津市|元亀4年5月9日|高草山林叟院(焼津市坂本)住持哉翁宋咄、兵火により焼失
- 1573年6月15日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<死去>ハンガリー王室総督「アンタル・グェラツ」
- 1573年6月15日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督代行「イムレ・ハロ・チョホル・チョホル・セントミハリ」(~9.1)
- 1573年6月23日-01:00|フランス| |||仏、カトリスト・メティニス、ラ・ロシエルのユグノーと条約締結。ラ・ロシエルのユグノーに「信教の自由」を認める。ラ・ロシエル、ニーム、モントパンの「礼拝の自由」を与える(カトリストが認めなくてもユグノーは獲得していた。惨めな撤退を隠蔽する目的の条約)
- 1573年6月26日-01:00|フランス| |||アングー公アンリ、ラ・ロシエルより撤退。ラ・ロシエル攻囲中、国王軍戦死2万2千。タヴァヌ元帥、オマル公クロード(47、ギーズ公フランスワ弟)戦死。ユグノー代表者、大貴族・諸侯より諸都市・共同体に変更
- 1573年6月28日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元亀4年5月29日|柴田勝家、木下秀吉が小谷城を攻めて撃退された/長嶋一向宗徒が濃尾国境を放火
- 1573年7月6日-01:00|フランス| |||新教徒が立て籠もるフランス西部のラ・ロシエル(「四安全保障都市」の1つ)を包囲していたフランス王軍が、囲みを解いて撤退する
- 1573年7月7日-01:00|イタリヤ| |||ベネチアでユダヤ人追放令撤回
- 1573年7月7日-09:00|日本|京都府京都市|元亀4年6月9日|<死去>万里小路惟房(61歳)内大臣、歌人
- 1573年7月11日-01:00|フランス| |||プロテスタントの和議で、第4次ユグノー戦争が終結/信仰の自由はすべてのプロテスタントに認められる。3都市(ラ・ロシエル、ニーム、モントパン)及び上級裁判権を持つ若干の領主(前述3都市の住民とともに武器をとったもの)の私邸内での礼拝の自由を承認
- 1573年7月12日-01:00|オランダ/スペイン| |||アルバ公スペイン軍の包囲するハルム市、降伏・開城/スペイン軍、市民を虐殺/アルバ公、ハルム戦後、引退、スペインに帰国/アルバ公、アムステルダムで多額の借金をし支払期日の前に秘かにアムステルダムを脱出
- 1573年7月13日-01:00|スペイン| |||スペインのフィリペ2世が発見と征服統制法を公布
- 1573年7月23日-09:00|日本|和歌山県|元亀4年6月25日|<死去>河内国南半国・紀伊国守護「畠山秋高」高屋城で遊佐信教が謀反、弑逆される/三好康長が入城
- 1573年7月29日-09:00|日本|茨城県かすみがうら市|元亀4年7月|佐竹義重は再び小田氏治と戦って、その支城の穴倉城(菅谷隠岐守勝則)を攻略
- 1573年7月29日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|元亀4年秋|<移転>備前沼城「宇喜多直家」⇒岡山城
- 1573年7月29日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|元亀4年秋|宇喜多直家が備前平野を流れる旭川沿いの石山に岡山城(烏城)築城/岡山県
- 1573年7月31日-09:00|日本|京都府宇治市|元亀4年7月3日|將軍足利義昭が宇治の槇島城にたてこもり、再挙/河内の三好康長・遊佐信教、紀伊の根来衆も呼応、二条城には御供衆日野輝資・高倉永相・伊勢貞興殿・三淵藤英ら2千
- 1573年8月1日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督「シュトゥヴァーン・ラッツ・ゼムチイ」(~15860204没)
- 1573年8月2日-09:00|日本|滋賀県|元亀4年7月5日|織田信長が琵琶湖を移動するための大船(長さ約53m、幅約13m)が完成
- 1573年8月4日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元亀4年7月7日|<二条御所合戦>織田信長が入京、二条妙覚寺を本陣に二条城(三淵藤英)を包囲
- 1573年8月7日-01:00|フランス| |||<死去>ロンゲヴァイル公「レオナル」
- 1573年8月7日-01:00|フランス| |||<就任>ロンゲヴァイル公・サンポール伯「アンリ1世」(~15950408死去)
- 1573年8月7日-09:00|日本|京都府|元亀4年7月10日|<改姓>「細川藤孝」⇒「長岡藤孝」信長より山城国長岡の地を与えられ姓を長岡に(関ヶ原の戦い後に細川へ戻す)
- 1573年8月7日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元亀4年7月10日|<二条御所合戦>三淵藤英は柴田勝家の説得を受け入れ、二条城を開城
- 1573年8月7日-09:00|日本|京都府長岡京市|元亀4年7月10日|細川藤孝が山城国桂川以西長岡(西岡)一帯の支配権を与えられた
- 1573年8月9日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元亀4年7月12日|織田信長、京都二条城を破却
- 1573年8月13日-09:00|日本|徳島県吉野川市|元亀4年7月16日|<上桜城の戦い>三好長治、十河存保、細川真之に攻められ籠城継続が困難となった篠原長房勢は、早朝十河存保の本陣である大日寺に突入/篠原長房の長男・篠原長重(18)は長刀を振りかざし十河存保がいる本陣に西門から迫ったが、背後から香西氏の家臣植松資久に討ち取られた。篠原長房も奮闘したが敵陣の中で最期を遂げ、上桜城は落城
- 1573年8月15日-09:00|日本|大阪府池田市|元亀4年7月18日|<没落>攝津池田城主「池田知正(重成)」
- 1573年8月15日-09:00|日本|京都府宇治市|元亀4年7月18日|<槇島城合戦>將軍足利義昭、織田信長に降伏
- 1573年8月17日-09:00|日本|愛知県新城市|元亀4年7月20日|<長篠城の戦い>家康が長篠城(城主菅沼正貞)を包囲して攻撃。武田勝頼は援軍を派遣、武田信豊・馬場信春が鳳来寺街道を進み長篠城近くに布陣、甘利信康は奥平氏の作手へ進軍するが、ここで徳川と通じていた作手の奥平定能・貞昌が武田から離反、奥平定能らは滝山城へ移り籠城
- 1573年8月17日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元亀4年7月20日|<改名>「木下藤吉郎秀吉」⇒「羽柴秀吉」(「羽」は丹羽長秀、「柴」は柴田勝家から賜る)
- 1573年8月20日-09:00|日本|京都府京都市左京区|元亀4年7月23日|渡辺宮内少輔、稲葉一鉄の勧降により山城国愛宕郡一乗寺城を退城/一乗寺城は破却
- 1573年8月21日-09:00|日本|鹿児島県肝属郡南大隅町|元亀4年7月24日|島津軍、肝付氏と早崎で合戦

1580迄 (2027件)

- 1573年8月23日-09:00|日本|京都府京都市|元龜4年7月26日|將軍足利義昭、京より追放/室町幕府滅亡
- 1573年8月23日-09:00|日本|滋賀県|元龜4年7月26日|織田信長、京都を発し近江国高島郡へ「大船」を以て参陣/殘敵の籠もる近江国木戸城・田中城を占領
- 1573年8月24日-09:00|日本|滋賀県|元龜4年7月27日|<拝領>近江木戸・田中城「明智光秀」西近江と合わせ都合10万石
- 1573年8月24日-09:00|日本|千葉県野田市|元龜4年7月27日|北条氏照が関宿城(城主築田晴助)に夜襲を行うが撤退
- 1573年8月25日-09:00|日本| ||天正1年7月28日|元龜から天正へ改元される
- 1573年8月25日-09:00|日本|京都府京都市|元龜4年7月28日|<任命>京都所司代「村井貞勝」織田信長により
- 1573年8月26日-09:00|日本|京都府南丹市|天正1年7月29日|<所領没収>將軍方の丹波船井郡八木城「内藤如安忠俊(ドンゾウア)」織田信長により
- 1573年8月28日-09:00|日本|愛知県|天正1年8月|武田勝頼は武田信豊・土屋昌統らを三河に侵攻させる
- 1573年8月28日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正1年8月1日|<鳥取のたのも崩れ>武田高信は、鳥取城から兵500騎あまりを率いて尼子再興軍の居城・甕山城へ進軍/高信軍の進攻に対し、山中幸盛ら尼子再興軍は甕山城へ籠城・高信軍は、この城に籠もる尼子再興軍に対し、比較的防御の薄い城の西方より攻め上り、力攻めによる城攻めを開始、堀近くまで上ったところで高信軍を待ち構えていた尼子再興軍に、弓矢・鉄砲・大石による一斉攻撃を受ける/高信軍は総崩れとなり、このまま戦いを続けるのは難しいと判断した高信は、城攻めを中止し兵の撤退を開始/城下には秋里左馬充の軍が在陣し、高信軍は撤退することができない状態となった/高信軍は幸盛と秋里の兵により挟撃され、甚大な被害を出して鳥取城へと敗走
- 1573年8月29日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|天正1年8月2日|<第二次淀古城の戦い>淀古城に立て籠もる三好三人衆の岩成友通軍に対し、木下秀吉(羽柴秀吉)が計略を巡らし淀古城の番頭大炊頭義元、諏訪飛驒守三將らを味方につけた/岩成友通は奮戦したが、最後には細川藤孝の家来下津権内に首を取られた
- 1573年9月-05:30|インド| ||ムガル帝国アハメドガジャラト地方の反乱を平定
- 1573年9月4日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正1年8月8日|浅井家臣、近江山本山城主の阿閉貞征が木下秀吉を通じて織田信長に降伏
- 1573年9月4日 10:00|日本|滋賀県長浜市|天正1年8月8日|夜、織田信長、岐阜を出陣、近江に侵攻(第7次近江侵攻)/進軍途中で、部将たち(佐久間信盛、柴田勝家、滝川一益、羽柴秀吉、丹羽長秀、その他美濃・近江の部将たち)の到着を待ち、人数を整え小谷城(浅井郡湖北町)近くまで進む
- 1573年9月5日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正1年8月9日|浅井方月ヶ瀬城月ヶ瀬忠清、城退去、開城
- 1573年9月6日-09:00|日本|富山県氷見市|天正1年8月10日|上杉謙信が増山城・守山城を落城させ、越中西部の朝日山城まで占領/越中一向一揆を平定
- 1573年9月8日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正1年8月12日|大嶽麓の焼尾城守将浅見対馬、浅井から寝返り織田軍を引き入れる/その夜中、信忠(17)を浅井長政への押さえとして秀吉が守備する虎御前山に送り、自ら大嶽(前線基地)の朝倉勢(斎藤・小林・西方院ら越前衆500)を攻撃、陥落/大嶽に塚本小大膳・不破光治・同直光・丸毛長照・同兼利らを置き、続いて丁野山(ヨヤマ、越前平泉寺の玉泉坊が籠る、木之本町)攻撃。朝倉兵、戦わず降伏退却/信長は、大嶽・丁野山の降兵を助命、朝倉本陣に放ち、朝倉義景に小谷城周辺が殆ど占領されていることを知らせる
- 1573年9月9日 10:00|日本|滋賀県米原市|天正1年8月13日|<刀根坂の戦い>織田信長、この夜中に朝倉義景(朝倉左京大夫)の陣所を攻撃/朝倉義景、若狭国敦賀に向けて敗走/朝倉軍は織田軍に押され、織田方の記録に拠れば3,000人以上と言われる死者を出した/北庄城主朝倉景行や当時17歳の朝倉道景といった一門衆を含め、山崎吉家、斎藤龍興、河合吉統など大名・朝倉氏本家の軍事中核を成していたであろう名のある武将が多数散っていった
- 1573年9月10日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正1年8月14日|足田城まで退いた朝倉軍の朝倉景健・景胤、詫美越後、信長軍に切り込み、壊滅
- 1573年9月11日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正1年8月15日|小田天菴は菅谷左エ門尉範政(正光)に命じ土浦城主信田和泉守重成を手賀郷の中根主膳の邸に誘ひ出して毒殺、土浦城を攻略し、菅谷正光が土浦城に入城
- 1573年9月11日-09:00|日本|岐阜県|天正1年8月15日|武田支配下の飛驒国で、上杉を支持する江馬輝盛が父時盛を殺害
- 1573年9月12日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド 大法官「第5代アーガイル伯アーチボルド・キャンベル」
- 1573年9月12日 00:00|イギリス| ||<就任>第6代アーガイル伯「コリン・キャンベル」(~15840910死去)
- 1573年9月13日-09:00|日本|福井県|天正1年8月17日|織田信長が大軍を整え、朝倉義景の元家臣前波吉継を案内役にして越前に攻め入った
- 1573年9月14日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正1年8月18日|粟屋勝久・逸見昌経・山県秀政・白井勝胤をはじめ、内藤・熊谷・香川・寺井・松宮・畑田氏らの旧武田家臣らは信長を敦賀郡の道口まで出迎え、粟屋勝久らは一乗谷へ出陣し朝倉氏攻撃に加わる
- 1573年9月14日-09:00|日本|福井県福井市|天正1年8月18日|<一乗谷城の戦い>信長は一乗谷の市街地を襲撃制圧/一乗谷城下、平泉寺衆徒(信長へ忠節を誓い、織田勢に人数を出す)に放火され、朝倉一族の館・仏閣全焼
- 1573年9月16日-09:00|日本|愛知県新城市|天正1年8月20日|作手城奥平貞能・信昌父子、家康に奔り滝山城に入った
- 1573年9月16日-09:00|日本|福井県大野市|天正1年8月20日|<死去>越前国守護「朝倉義景」仮の宿所として一族の景鏡に指定されていた六坊賢松寺を、裏切った景鏡の手勢200に囲まれ、近習らが奮戦、討ち死にする中で義景は自刃(41歳)滅亡(一乗谷城の戦い)、景鏡は義景の首を持参し信長に降参/義景の嫡男・愛王丸や義景の愛妾小

1580迄 (2027件)

- 少将など、義景の極近親者は降伏を条件に助命され捕らえられた/織田軍により義景の係累たちは護送中に処刑され朝倉家滅亡
- 1573年9月17日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正1年8月21日|武田軍が滝山城(奥平貞能・信昌)に押し寄せてきたが徳川方からも本多広孝や松平伊忠らが援軍に駆けつけ武田軍を撃退/このあと奥平徳川勢が古宮城に攻めかかると武田方はあっさりと城を焼いて退いた
- 1573年9月21日-09:00|日本|茨城県かすみがうら市|天正1年8月25日|佐竹義重は小田氏治の支城の戸崎城(戸崎大膳亮長俊)を攻略
- 1573年9月22日-09:00|日本|福井県|天正1年8月26日|織田信長、朝倉氏旧臣の前波吉継(前年服属、のち桂田長俊と改名)を守護代にして越前統治を任せ、江北虎御前山城帰陣/旧臣富田長繁を府中城主、直前に降伏した朝倉景鏡・景健・魚住景固・溝江長逸も本領安堵
- 1573年9月23日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正1年8月27日|<死去>井関宗信、能面師。小谷城攻めで討死
- 1573年9月23日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正1年8月27日|<死去>浅井久政/48歳、戦国大名。織田信長に攻められ、自害
- 1573年9月23日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正1年8月27日|<小谷決戦>木下秀吉率いる3000の兵が夜半に長政の拠る本丸と長政の父・浅井久政が籠る小丸にとの間にある京極丸(兵600)を占拠し、父子を繋ぐ曲輪を分断/小丸への攻撃が激しくなり、800の兵を指揮していた久政は追い詰められて小丸にて自害
- 1573年9月26日-09:00|日本|静岡県|天正1年9月|武田勝頼、大軍を率いて遠江に侵入し、浜松城を窺う
- 1573年9月26日-09:00|日本|滋賀県湖南市|天正1年9月1日|<石部城の戦い>佐久間信盛に攻められるが、伊賀の河合山内また稲塚某なども入城して籠城、容易に落ちなかった
- 1573年9月26日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正1年9月1日|<死去>近江小谷領主「浅井長政」29歳、織田信長に攻められ、近江国小谷城落城自害滅亡/お市御前と三姉妹の茶々(5歳)・初(4歳)・江(1歳)は預けられ、嫡男万福丸(10)は敦賀へ落延び(後、関が原で処刑)、嬰兒の2男は城下の寺院に預けられる
- 1573年9月26日-09:00|日本|福井県|天正1年9月1日|<拝領>若狭10万石「丹羽長秀」
- 1573年9月29日-09:00|日本|滋賀県東近江市|天正1年9月4日|織田信長:佐和山入城/柴田勝家に命じて鯉江城を攻めさせ城主六角義治(義弼)降伏
- 1573年10月1日-01:00|サマリ| |||<就任>サマリ共和国執政「ロヴゴ・イコ・ベルツィ」「ウ・インチェンツォ・ジャンニ」
- 1573年10月1日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正1年9月6日|<拝領>北近江3郡12万石「木下秀吉」
- 1573年10月3日-09:00|日本|愛知県新城市|天正1年9月8日|徳川家康、武田勝頼に属す三河長篠城を陥れ城将室賀信俊は鳳来寺に弄る
- 1573年10月5日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正1年9月10日|3年前に織田信長を狙撃した杉谷善住坊、磯野員昌に捕縛され岐阜へ連行、鋸引きの刑に処せられる
- 1573年10月6日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|天正1年9月11日|北条氏政、小山領淡志川城を攻めるが退けられる
- 1573年10月6日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正1年9月11日|<死去>下野皆川領主「皆川俊宗」⇒子の「皆川広勝」が継ぐ(天正4年12月8日(15761227)死去)
- 1573年10月8日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「ケラムス卿」ジョン・リヨン(15780317死去)
- 1573年10月10日-01:00|チュニジア/スペイン| |||チュニスとロレタをスペインが再占領(15740903)
- 1573年10月11日-09:00|日本|高知県四万十市|天正1年9月16日|<交替>土佐幡多郡領主(中村城)「一条兼定」隠居⇒子の「一条内政」(⇒土佐佐岡郡(大津城)に移転~天正9(1581)年2月追放)
- 1573年10月16日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李鐸」(15740501)
- 1573年10月16日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョアコモ・カラッツォ・ガリマルデ」(15751017)
- 1573年10月16日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正1年9月21日|<滝山城の戦い>滝山から退却する武田軍を奥平定能が追撃、同族である武田方の奥平定包や甲斐の勇将を多数討ち取る
- 1573年10月16日-09:00|日本|愛知県新城市|天正1年9月21日|武田の人質となっていた奥平貞昌(信昌)の妻おふう(16歳)と貞昌の弟仙千代(13歳)が武田勝頼の命でコリ坂で処刑される
- 1573年10月16日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|天正1年9月21日|北条氏政、下野鹿沼に出兵
- 1573年10月16日-09:00|日本|鳥取県|天正1年9月下旬|<就任>因幡国主「山名豊国」(1580)年9月失領)
- 1573年10月16日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正1年9月下旬|<尼子再興軍による鳥取城の戦い>(8月~)尼子勝久、山中幸盛ら尼子再興軍は、因幡国に乱入し、鳥取城を攻撃/武田軍は、鳥取城籠城/この日武田高信は、城を開放し投降/高信は、自身の息女を尼子再興軍に人質として差し出し、自らは弟の又三郎が籠もる鷓尾城へと退却/鳥取城には山名豊国が入り、幸盛ら尼子再興軍は私部城に入ってここを居城とした/尼子再興軍は因幡の各地で転戦し、10日の間に15城を攻略するなどして勢力を拡大
- 1573年10月19日-09:00|日本|三重県|天正1年9月24日|<第二次長島侵攻>織田信長、北伊勢に侵攻/佐久間、柴田、丹羽、滝川、蜂屋、西美濃衆、木下、林らが従軍
- 1573年10月21日-09:00|日本|鹿児島県|天正1年9月26日|大隅国の豪族・禰寝家が島津家に内応
- 1573年10月21日-09:00|日本|三重県桑名市|天正1年9月26日|<第二次長島侵攻>長島一揆勢の籠る西別所城を織田信長軍の佐久間信盛・羽柴秀吉・丹羽長秀・蜂屋頼隆らが攻め立て、陥落させた/また、坂井城(桑名市)の一揆敗退
- 1573年10月25日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正1年9月30日|佐竹方の太田三楽斎、梶原美濃守らは藤沢城主小田天菴、同守治父子を攻め、北條出雲守、真壁道夢らは土浦城主菅谷正光を攻め、小田彦太郎守治、由良判官憲綱、戸崎大膳亮長俊、行方刑部少輔貞久、海上主馬五郎武経、小貝川越中守輝賢らが藤沢の城外に於て太田三楽斎や梶原景国を迎え撃って勇戦したが小美川越中守輝賢が討死し、小田方の河合弥五郎は佐竹方の鈴木半藏を射殺して兄源五郎の仇を討つ

1580迄 (2027件)

- 1573年10月31日-09:00|日本|三重県桑名市|天正1年10月6日|<第二次長島侵攻>信長軍(柴田勝家・滝川一益)、坂井の片岡城を攻略/続けて深谷部の近藤城を金掘り衆を使って攻め、立ち退かせた
- 1573年11月2日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天正1年10月8日|京都静原山城の義昭方・山本対馬守が明智光秀により討ち取られた
- 1573年11月2日-09:00|日本|徳島県|天正1年10月8日|<死去>初代平島公方「足利義冬(義維)」66歳⇒「足利義助」が継ぐ(天正20(1592)年7月25日死去)
- 1573年11月2日-09:00|日本|三重県桑名市|天正1年10月8日|<第二次長島侵攻>信長、東別所へ移動/萱生城・伊坂城の春日部氏、赤堀城の赤堀氏、桑部南城の大儀須氏、千種城の千種氏、長深城の富永氏などが相次いで降服し北伊勢の一揆をほぼ鎮圧/白山(一志郡白山)の中嶋将監は顔を見せなかったため、佐久間信盛・蜂屋頼隆・丹羽長秀・羽柴秀吉の4人に命じて金掘り攻めをさせ、退散させた
- 1573年11月9日-09:00|日本|大分県|天正1年10月15日|<死去>薩摩国の大名・島津氏第14代当主「島津勝久」豊後国沖の浜という地で(71、貴久の養父)
- 1573年11月14日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正1年10月20日|小田彦太郎守治は藤沢城外の太田三楽斎、梶原美濃守らの陣営を夜討して破り小田城へ撃退し、土浦城では菅谷左門尉らが城外に於て北條出雲守、真壁道夢らと戦って破る/太田三楽斎、梶原美濃守、真壁道夢、北條出雲守らは藤沢、土浦の戦いに敗北し小田、北條の両城に楯籠り/小田守治は梶原景国、真壁道夢らと小田川に於て戦い、菅谷正光は君島川に於て北條治高と戦って之れを破る
- 1573年11月15日 03:00|アルゼンチン| ||アスンシオン入植者フアン・ド・ガライ、大西洋岸に向け探検/サンタフェの町を建設
- 1573年11月15日-09:00|日本|奈良県|天正1年10月21日|<死去>「山田道安」筒井氏の一族で画家・彫刻家として知られる/享年不詳
- 1573年11月18日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正1年10月24日|毛利方の吉川元春、伯耆を経て因幡に入り、尼子勝久の党・山名豊国を降す
- 1573年11月19日-09:00|日本|三重県|天正1年10月25日|<第二次長島侵攻>織田信長が北伊勢から岐阜へ引き上げる途中、長嶋一向一揆の攻撃を受け、かなりの損害を出して大垣城へ入った
- 1573年11月22日-09:00|日本|茨城県|天正1年10月28日|佐竹義重は小田方の新治郡小高館主小月輝正、永井館主前野七郎大夫、本郷館主井坂右近将監などを攻め破って攻略し一週して大志戸の甲山城主小神野越前守経憲を攻め小神野経憲は甲山城を放棄して土浦城に脱出し甲山城は攻略された
- 1573年11月24日-08:00|中国| ||明・万暦1年11月|明の張居正が孝成法を制定し、綱紀肅正を図る
- 1573年11月25日-09:00|日本|静岡県島田市|天正1年11月|武田勝頼、駿河に諏訪原城を普請する
- 1573年11月29日-01:00|ベルギー/スペイン| ||<交替>ベルギー総督「アルバ公フェルナント・アルバ・レス・デ・トレド」独立運動の鎮圧に失敗して解任⇒「リス・デ・レケンス・イス・ネガ」(~15760305没)
- 1573年12月6日 00:00|フランス諸島/イギリス| ||<死去>イギリス王領ジャージー知事「Hugh Paulet卿」
- 1573年12月6日 00:00|フランス諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージー知事「Amias Paulet卿」(~15880926死去)
- 1573年12月8日-09:00|日本|愛知県名古屋市中東区|天正1年11月14日|三井高安、尾張国万福寺の本堂を再建
- 1573年12月9日-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド総督「アントニオ・モンスバルット」(~1576年9月)
- 1573年12月10日-09:00|日本|大阪府大東市|天正1年11月16日|<死去>河内北半国守護「三好義継」足利義昭を匿った罪で織田信長の命令を受けた佐久間信盛等に攻撃され河内国若江城に於いて自刃
- 1573年12月10日-09:00|日本|岡山県|天正1年11月16日|<所領安堵>備前・美作・播磨3国「(備前天神山城主)浦上宗景」織田信長により
- 1573年12月12日-09:00|日本| ||天正1年11月18日|織田信長と石山本願寺、和睦
- 1573年12月13日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正1年11月19日|佐竹方の額田四郎義房、塩井内膳信行、太田資正入道三楽斎道誉、梶原美濃守景国、北條出雲守治高、真壁久幹入道暗夜軒道夢等が新治郡の藤沢城を攻め攻略
- 1573年12月19日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正1年11月25日|小田天菴が新治郡の片野峠に押し寄せ、片野城主太田三楽斎を攻めたが敗北して、小田城は太田三楽斎の爲めに攻略され、天菴は土浦城に退く
- 1573年12月24日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天正1年12月|草野攻め/隆信が自ら兵を率いて上松浦に侵出した/龍造寺隆信の大軍の前には獅子ヶ城の鶴田前は屈服し、波多鎮は自ら軍を草野攻めに向けざるを得なかった/鶴田前は早々(4日後)に獅子ヶ城を奪還
- 1573年12月24日-09:00|日本|福島県須賀川市|天正1年12月|須賀川城主二階堂盛義が伊達から離反
- 1574年-08:00|フィリピン| ||<即位>マギンタナ王国スルタン「Datu Bangkaya」(~1578年死去)
- 1574年-08:00|フィリピン| ||倭寇の巨頭林鳳がフィリピンのマニラを襲撃
- 1574年-07:00|ラオス/ミャンマー| ||ランサン王朝国王都ガエンチャンをビルマ軍に占領され、以後タング王国に服属(~1603年)
- 1574年-05:45|ネパール| ||<即位>マラ(Kantipur)国王「Sadashiva Malla」(~1583年)
- 1574年-05:30|インド| ||<国名変更>ランプル国⇒チャヤ国
- 1574年-05:30|インド| ||ニザーム・シャーヒー朝がイマート・シャーヒー朝を併合
- 1574年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンティア公「マルコ・チコニャ」(~1578年)
- 1574年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハデーム・メシハ・パシャ」(~1580年)
- 1574年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ララ・ジャファー・ハシヤ」(~1575年)
- 1574年-02:00|ルーマニア| ||<即位>トランシルヴァニア対立大公「カスパー・ルベクス・コルニャタイ」(~1575年)
- 1574年-01:00|リビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベ・イレリ「ハイダル・ハシヤ」(1回目~15770705)
- 1574年-01:00|ポズナń・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポズナń総督「フェルハト・ハシヤ」(~15800923)
- 1574年-01:00|スペイン/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Diogo Lopes da Franca」(~1577年)

1580迄 (2027件)

- 1574年-01:00|イタリア| |||<昇格>モンフェラート侯「ケリエルモ・ゴンザーガ」マントヴァ公⇒モンフェラート公 (~15870814死去)
- 1574年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴート・コースト長官「メンデ・イ・ダ・モタ」
- 1574年 00:00|イギリス| |||秋<死去>10代クフォート 伯「デ・ウ・イット・クフォート」
- 1574年 00:00|イギリス| |||秋<就任>11代クフォート 伯「デ・ウ・イット・リッジー」 (~1607年秋死去)
- 1574年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル(リオデジャネイロ) 総督「アントニオ・デ・サラマ」 (~1577年)
- 1574年1月5日-09:00|日本|鹿児島県肝属郡南大隅町|天正1年12月13日|島津義久、大隅平小場に出陣。肝付氏、伊東氏と連合して根占に出兵して合戦になる
- 1574年1月6日-09:00|日本|鹿児島県肝属郡肝付町|天正1年12月14日|島津軍、平常岡を攻め、肝付加賀、島津氏に降伏
- 1574年1月16日 03:00|ブラジル| |||ふたたび先住民奴隷化禁止令。バ・イのポルトガル人は、北部海岸沿いに残存する独立したトゥピ族を掃討
- 1574年1月18日-09:00|日本|奈良県奈良市|天正1年12月26日|松永久秀、再び信長に降り、「多聞山城」を明け渡し、信貴山城に入る
- 1574年1月21日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天正1年12月29日|龍造寺は、再度草野城に至り連戦の末、草野城を陥城した(平原の合戦)
- 1574年1月22日 00:00|モロッコ| |||<死去>サト朝スルタン「アブドゥッラー・アル＝カリブ」
- 1574年1月22日 00:00|モロッコ| |||<即位>サト朝スルタン「アブドゥッラー・ムハンマド 2世」 (~1576年~15780804死去)
- 1574年1月23日-09:00|日本|群馬県吾妻郡高山村|天正2年|真田昌幸が上杉謙信傘下の尻高城を攻撃/尻高城主「尻高景家」は海野三河守輝幸に攻められ敗死。子の尻高義隆は落ち延びた
- 1574年1月23日-09:00|日本|千葉県市原市|天正2年|北条領国の上総大坪に、里見方についた正木時忠が侵攻
- 1574年1月23日-09:00|日本|東京都千代田区|天正2年1月|長得首座、喚英長応(仏照円鑑禪師)を開山に、久宝山万昌院を開基
- 1574年1月24日-09:00|日本|佐賀県武雄市|天正2年1月2日|龍造寺軍が平原峠で草野氏に勝利、降伏させる。波多氏も降伏する
- 1574年2月1日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正2年1月10日|車丹波守忠次が土浦に着陣し寄手に加わり、佐竹勢は土浦城を攻め小田守治、海上玄蕃五郎武経ら塩井内膳信利と戦い、菅谷、行方、由良、岡見、野中瀬らも一方を切り抜けて土浦城に引き取り、南/手の江戸崎監物は心替りをして額田四郎義房の陣に来て降伏し寄手に加わり、土浦城の兵士ら次々に城より立ち退く者が多し/大手の海上主馬五郎武経、行方幸菊丸ら額田義房、梶原景国、北條治高らの陣に切り込んで討死
- 1574年2月7日 05:00|ベルギー| |||トドがベルギーの鉱山開発に関する包括的政令を発する
- 1574年2月7日-09:00|日本|千葉県野田市|天正2年1月16日|<第三次関宿合戦>北条氏政が出陣、関宿城を攻撃
- 1574年2月9日-09:00|日本|福井県|天正2年1月18日|越前に一向一揆勃発
- 1574年2月10日-09:00|日本|鹿児島県垂水市|天正2年1月19日|<入船城の戦い>(天正1年12月~)肝付方の安楽兼寛が守る大隈入船城は1年3ヶ月に渡る籠城を続けたが島津以久らに攻められ力尽き開城
- 1574年2月10日-09:00|日本|福井県越前市|天正2年1月19日|<第一次越前一向一揆(越前国)>富田長繁は自ら一揆衆の大將として出陣し、一乗谷城の攻略に取り掛かった/城主・桂田長俊はこの時失明して指揮が執れず、さらに一揆の兵力が3万以上と大軍だったことや、長繁の腹心である毛屋猪介の活躍もあり、さしたる抵抗もできないまま討死/息子の新七郎ら一族は城外に逃亡
- 1574年2月11日-09:00|日本|鹿児島県垂水市|天正2年1月20日|島津軍、肝付兼亮の牛根城を攻める/伊東氏、伊東権頭を派遣し、肝付・伊地知氏と連合して牛根城援軍に向かうが、敗北
- 1574年2月11日-09:00|日本|福井県越前市|天正2年1月20日|<第一次越前一向一揆(越前国)>一乗谷城主・桂田長俊息子の新七郎ら一族は捕捉されて皆殺しにされた
- 1574年2月12日-09:00|日本|鳥取県八頭郡八頭町|天正2年1月21日|尼子家臣山中幸盛が因幡私部城を攻略
- 1574年2月12日-09:00|日本|福井県越前市|天正2年1月21日|<第一次越前一向一揆(越前国)>一揆衆は信長が府中の旧朝倉土佐守館に置いていた3人の奉行、木下祐久・津田元嘉・三沢秀次(溝尾茂朝)を攻めたが、安居景健(朝倉景健)が間に入って調停をしたため和睦/3人は越前を出て岐阜に向かった
- 1574年2月14日-09:00|日本|佐賀県鳥栖市|天正2年1月23日|肥前・龍造寺隆信、鏡城(草野鎮永)を攻略
- 1574年2月15日-09:00|日本|福井県越前市|天正2年1月24日|<第一次越前一向一揆(越前国)>富田長繁はさらに策謀を巡らし、桂田成敗の宴を開くと称して有力者である魚住景固を自らの居城である龍門寺城に招き、次男の魚住彦四郎もろとも謀殺
- 1574年2月16日-09:00|日本|福井県鯖江市|天正2年1月25日|<第一次越前一向一揆(越前国)>富田長繁は鳥羽野城を攻めて景固の嫡男彦三郎も討ち取って魚住一族を滅亡させた
- 1574年2月16日-09:00|日本|山形県上山市|天正2年1月25日|<天正最上の乱>伊達家臣・小梁川盛宗が上山城を攻めると上山満兼は伊達方に降伏
- 1574年2月18日-01:00|オランダ| |||ネーデルラント軍が、ゼーラントを占領
- 1574年2月18日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天正2年1月27日|武田勝頼、東美濃岩村口に出陣し岩村城付城十八城を陥れる/その後、美濃国明智城を攻撃
- 1574年2月20日-09:00|日本|山形県寒河江市|天正2年1月29日|<天正最上の乱>伊達に味方する村山地方の国人たちは伊達輝宗への忠義を示すため、最上義光に近い寒河江城主・寒河江兼広を攻める/最上氏庶流の天童頼貞・蔵増頼真ばかりか、姻戚の谷地城主白鳥長久や寒河江氏一族の白岩氏・溝延氏・左沢氏までもが伊達勢に同調したため、攻められた寒河江城は三重の堀の二重目まで崩された
- 1574年2月21日-02:00|リトアニア/ポーランド| |||<即位>ポーランド・リトアニア共和国リトアニア大公「ハンリク・ヴァルズィ」ポーランド王(⇒

1580迄 (2027件)

5. 30、兼フランス王「アンリ3世」⇒6. 18、ホーランド＝リトアニアを去る～6. 19)
- 1574年2月22日-09:00|日本|石川県|天正2年2月|<死去>能登国主「畠山義慶」遊佐續光・温井景隆に毒殺される⇒弟の「畠山義隆」が継ぐ(～天正4年2月4日(15760304)死去)
- 1574年2月22日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正2年2月|多賀谷政経が筑波郡の手子丸城を攻略
- 1574年2月22日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天正2年2月|<飯羽間城の戦い(美濃国)>飯羽間城を取り巻いていた武田軍先鋒勢が、飯羽間城の城戸を打ち破って突入し攻め落とした
- 1574年2月22日-09:00|日本|高知県|天正2年2月|土佐・長宗我部元親、一条兼定を豊後追放して土佐をほぼ制圧/こののち吉良親貞、中村に入る
- 1574年2月22日-09:00|日本|佐賀県杵島郡大町町|天正2年2月|肥前・龍造寺隆信、横辺田で後藤惟明・平井経治を破る
- 1574年2月22日-09:00|日本|鳥取県八頭郡八頭町|天正2年春|尼子勢、因幡国私都城を攻略落城。亀井茲矩が入城
- 1574年2月23日-01:00|フランス| ||仏、第5次ユグノー戦争始まる<肉食日(四旬節前の3日間)の陰謀>ユグノーのショモン・グイトリ、攻撃に不十分な1部隊だけでサン・ジェルマン宮殿前に現れ、国王衛兵に逮捕/ガブリエル・ド・モンゴメリ、ルマンディ諸都市を王権に対して蜂起させ農村地帯での掠奪開始/カトリック、陰謀関係者として(王権に忠実な)モンモランシー元帥(フアン・ド・モンモランシー、モンモランシー大元帥長男、44、1530～1579)とその一族コッセ元帥を逮捕/弟のダング・イル伯アンリ・ド・モンモランシー(モンモランシー大元帥次男、ダング・イル伯、40、1534～1614)は公然とユグノーの味方となる(モンモランシー家は、代々、分離独立を指向する地方ラングドック総督)
- 1574年2月23日-09:00|日本|山形県寒河江市|天正2年2月2日|<天正最上の乱>村山地方の国人たちが伊達輝宗への忠義を示すため攻めた最上義光に近い寒河江城主・寒河江兼広降伏
- 1574年2月26日-09:00|日本|岐阜県可児市|天正2年2月5日|<明知城の戦い(美濃国)>援軍として織田信長・信忠父子、明智光秀の兵30,000が進軍するが、明知城内で離反者が出て落城。遠山友治は討死、遠山一行は叔父の遠山利景と城を脱出
- 1574年2月27日-09:00|日本|福島県白河市|天正2年2月6日|佐竹義重、白河義顕の支城陸奥赤館・本掘小峰城を攻撃
- 1574年2月28日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天正2年2月7日|武田勝頼、明智城を攻略
- 1574年2月28日-09:00|日本|宮城県白石市|天正2年2月7日|田村清顕、白石城を攻略
- 1574年3月4日-09:00|日本|奈良県奈良市|天正2年2月11日|十市遠長、大和国九条城を攻撃
- 1574年3月6日-09:00|日本|福井県福井市|天正2年2月13日|<第一次越前一向一揆(越前国)>一揆勢は先制攻撃をかけ、富田長繁の家臣である増井甚内助が守る片山館、毛屋猪介が守る旧朝倉土佐守館などを攻略、2人を滅ぼした
- 1574年3月9日-09:00|日本|福井県越前市|天正2年2月16日|<府中帆山河原合戦>富田長繁も反撃に出、帆山河原の一揆勢3万をわずかに700の兵で敗走させる
- 1574年3月10日-09:00|日本|福井県福井市|天正2年2月17日|<第一次越前一向一揆(越前国)>富田長繁は府中の町衆や一向一揆の指導的立場にある浄土真宗本願寺派(一向宗)と対立する真宗高田派(専修寺派)・真宗三門徒派等と手を結び、北/庄城の奪取を狙い北上/対して、七里頼周と杉浦玄任も長繁を討つべく北/庄方面より集められた一揆勢5万人を差し向け、両者は浅水の辺りで激突/このとき、長繁勢は一揆衆より兵力では圧倒的に劣勢であったが奮戦して一揆勢の先鋒を崩壊させ、潰走する一揆勢を散々に打ち破った
- 1574年3月10日 08:00|日本|福井県福井市|天正2年2月17日|<第一次越前一向一揆(越前国)>夕刻、富田長繁は浅水の合戦に参戦せず傍観していた安居景健、朝倉景胤らを敵対者と見なし、彼らの拠る長泉寺山の砦に攻撃を仕掛けたが、一揆衆との合戦の影響で疲弊した長繁勢はさしたる戦果を挙げられなかった
- 1574年3月11日-09:00|日本|福井県越前市|天正2年2月18日|<第一次越前一向一揆(越前国)>早朝からの合戦の最中、富田長繁は配下の小林吉隆に裏切られ、背後から鉄砲で撃たれて討死、長繁勢は瓦解
- 1574年3月12日-09:00|日本|石川県|天正2年2月19日|<死去>加賀国守護「富樫泰俊」討ち死に滅亡
- 1574年3月12日-09:00|日本|福井県あわら市|天正2年2月19日|一向宗が越前金津溝江館を陥し、溝江宗天・溝江長逸・小泉長利・加賀守護富樫泰俊自害
- 1574年3月15日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|天正2年2月22日|佐竹義重が陸奥小峰城主白川義親の支城赤館を攻略
- 1574年3月16日-09:00|日本|奈良県橿原市|天正2年2月23日|十市遠長、内膳城を攻略し、城將の藤田左近以下7人の首を討ち取る
- 1574年3月17日-09:00|日本|山形県南陽市|天正2年2月24日|<天正最上の乱>最上義光側が伊達氏北条莊(置賜郡川樋)を攻め、目々沢丹後守等を打ち取る
- 1574年3月20日-09:00|日本|茨城県常総市|天正2年2月27日|下妻城主多賀谷修理大夫政経は小田氏の敗北に乗じて下総国の豊田城主豊田安芸守四郎治親を攻略せんとするが豊田治親は之れを迎へ撃って多賀谷勢を破って撃退し多賀谷政経は豊田治親に和談を申し込み互いに誓書を交換して和睦
- 1574年3月20日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正2年2月27日|佐竹勢が土浦城の総攻撃を開始/小田天菴、守治父子は城より脱出して秘かに遁れ片岡治部左エ門の中館城に落ち行き土浦城は攻略さる
- 1574年3月21日-09:00|日本|福井県勝山市|天正2年2月28日|一向一揆勢、大野郡平泉寺を攻撃するが敗れる
- 1574年3月21日-09:00|日本|山形県上市市|天正2年2月28日|<天正最上の乱>最上義光と義守の間で和議がなり、北条莊の戦いでの捕虜の解放及び檣下に出陣した義光側の手勢の退却
- 1574年3月23日-09:00|日本|岡山県津山市|天正2年3月|宇喜多直家は久米郡の領主である原田貞佐・原田行佐親子を味方に付ける事に成功/三浦領にほど近い岩屋城を花房職秀と原田貞佐に強襲させ、わずか一日で城を奪取し城を治める芦田一族を追放、岩屋城代に浜口家職を送り込み直轄支配に乗り出す

1580迄 (2027件)

- 1574年3月23日-09:00|日本|愛知県春日井市|天正2年3月1日|森川貞堅、尾張国春日井郡富士社の社殿を建立
- 1574年3月27日-09:00|日本|長野県伊那市|天正2年3月5日|<死去>「武田信虎」(信玄の父)81歳、信濃国高遠で/信玄の父(信玄に追放されて以降、甲斐国に戻ることはなかった)
- 1574年3月28日-09:00|日本| ||天正2年3月6日|佐竹義重が伊達輝宗の調停で陸奥小峰城主白川義親と和睦
- 1574年4月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「マルクアントニオ・ゴジ」 「ジ・アントニオ・ディ・アントニオ」
- 1574年4月4日-09:00|日本|岡山県|天正2年3月13日|宇喜多直家が毛利氏と和睦し、浦上宗景と絶つ
- 1574年4月4日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正2年3月13日|上杉謙信が膳山城(由良成繁)・女淵城(沼田景義)攻略
- 1574年4月4日-09:00|日本|滋賀県湖南市|天正2年3月13日|六角義賢・六角義治父子、近江石部城を脱出
- 1574年4月4日 03:00|日本|群馬県桐生市|天正2年3月13日|上杉謙信が深沢城(阿久沢兄弟)・山上城(由良成繁)攻略
- 1574年4月4日 03:00|日本|群馬県みどり市|天正2年3月13日|上杉謙信が御覧田城(北条氏政)攻略
- 1574年4月10日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正2年3月19日|<就任>近江長浜「羽柴秀吉」浅井氏の遺領を得る
- 1574年4月12日-09:00|日本|埼玉県加須市|天正2年3月下旬|北条氏繁羽生出陣、花崎城自落
- 1574年4月14日-01:00|フランス/スペイン| ||<フランス>独立戦争<カルク>アン派軍隊、モ・ケルヘイトでアルバ公後継でフロントル統治のイクアンサに敗北。ナツカ公ル戦死
- 1574年4月19日-09:00|日本|奈良県奈良市|天正2年3月28日|織田信長が東大寺の蘭奢待を5つ切り取る
- 1574年4月21日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア対抗総督・領主「ウ・インテラ」(~5.3没)
- 1574年4月21日-01:00|イタリヤ| ||<死去>トスカナ大公「コジモ1世・デ・メディチ」/54歳
- 1574年4月21日-01:00|イタリヤ| ||<即位>トスカナ大公「フランチェスコ1世・デ・メディチ」コジモ1世の息子(~1587/10/17死去)
- 1574年4月21日-09:00|日本|鹿児島県|天正2年4月|肝付・伊地知両家が、島津家へ降伏。島津家が大同統一
- 1574年4月21日-09:00|日本|宮城県登米市|天正2年4月|陸奥/葛西晴信、本吉重継の反乱を鎮圧す
- 1574年4月23日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正2年4月3日|本願寺顕如が信長打倒の兵をふたたび石山本願寺で挙げ、織田信長の属城、中嶋城を攻略
- 1574年4月23日-09:00|日本|福島県福島市|天正2年4月3日|<天正最上の乱>伊達輝宗の重臣伊達実元、畠山義継の陸奥八丁目城を攻撃奪取
- 1574年4月26日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|天正2年4月6日|徳川家康、三河犬居城を攻めるも攻略できずに撤退/この際、犬居城主の天野景貫の追撃を受けるも、大久保忠世らの奮戦でこれを退ける
- 1574年4月28日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正2年4月8日|<死去>下野国佐野唐沢山城主「佐野昌綱」⇒嫡子「佐野宗綱」が嗣ぐ(~天正13年1月1日(1585/01/31)死去)
- 1574年5月 06:00|オーストリア/スペイン| ||<就任>オーストリア暫定総督「アントニオ・デ・アウグスタ・デ・カントニア」(~1577年)
- 1574年5月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「洪暹」(~8.25)
- 1574年5月2日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正2年4月12日|<第1次高屋城の戦い>織田軍が下八尾、住吉、天王寺に着陣し石山本願寺と高屋城の両面を攻めた/石山本願寺方面では住吉や天王寺を焼き討ちにし、石山本願寺から出軍してきた部隊と玉造辺りで合戦となった/柴田勝家らが高屋城将遊佐信教を討つ
- 1574年5月3日-02:00|ルーマニア| ||<死去>ワキア対抗総督・領主「ウ・インテラ」
- 1574年5月3日-09:00|日本|群馬県邑楽郡明和町|天正2年4月13日|上杉謙信、利根川の対陣(大輪の陣)北条氏政と勝敗つかず
- 1574年5月3日-09:00|日本|群馬県太田市|天正2年4月13日|上杉謙信、金山城攻め/由良成繁と勝敗つかず
- 1574年5月3日-09:00|日本|滋賀県湖南市|天正2年4月13日|織田信長の武将佐久間信盛に攻められ、六角義賢・六角義治父子、近江国石部城を脱出:織田信長、近江国石部城には佐久間信盛を配置
- 1574年5月4日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「ミハイル2世・ケキシュ」共同統治(1回目~1583年7月)
- 1574年5月4日-09:00|日本|福井県勝山市|天正2年4月14日|<第一次越前一向一揆(越前国)>一揆勢は土橋信鏡(朝倉景鏡)の居城である亥山城を攻撃、信鏡は城を捨てて平泉寺に立て籠もったが、平泉寺は放火されて衆徒も壊滅/信鏡は逃亡を図ったものの、最期はわずかな家臣とともに敵中に突撃、討死
- 1574年5月8日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正2年4月18日|備前鯉山で初めて浦上宗景と宇喜多直家両軍は衝突し、緒戦は宇喜多軍が勝利
- 1574年5月21日-09:00|日本|京都府宇治市|天正2年5月1日|<更迭>榎嶋城主「細川信良」織田信長により
- 1574年5月21日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|天正2年5月1日|<更迭>伏見城主「三淵藤英」織田信長により/伏見城廃城
- 1574年5月23日-09:00|日本|京都府宇治市|天正2年5月3日|<拝領>山城国南守護(榎嶋城)「塙直政」織田家部将
- 1574年5月25日-01:00|フランス| ||仏、ガブリエル・ド・モンゴメリ、ドンワラの包囲戦でマティヨン元帥に捕らえられ、「反逆罪」でパリ・クレヴ広場で斬首
- 1574年5月25日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正2年5月5日|<置塩城の戦い>別所軍が赤松本家を襲撃/小寺・黒田は援軍を出す/黒田官兵衛の活躍で赤松・小寺側が勝利
- 1574年5月29日-01:00|フランス| ||仏、懺悔火曜日の陰謀の罪でダランソ公フランス(シャル9世弟)に仕える貴族ラ・モル伯(マルゴの愛人、フランス地方出身伯爵)、コナス(ヌヴェール公爵夫人の愛人、イタリヤ出身伯爵、フェリペ2世の諜報工作員)、逮捕、処刑
- 1574年5月30日-01:00|フランス| ||<死去>フランス国王シャル9世/23歳(誕生:1550/06/27)→<即位>(ウ・アロワ=アングレーム家)アンリ3世[アンリ2世の子フランス2世・シャル9世の弟](~1589/08/02)
- 1574年5月31日-09:00|日本|山形県|天正2年5月11日|最上義光、義守、義時の内紛に、伊達輝宗が介入して最上領に侵入
- 1574年6月 03:00|アルゼンチン/ペルー| ||トルドがチャコのリクアノ人討伐に出発

1580迄 (2027件)

- 1574年6月2日-09:00|日本|福島県郡山市|天正2年5月13日|蘆名盛氏、田村清顕と陸奥安積郡福原で戦い八百人が討ち死にする大敗
- 1574年6月4日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ホ・ントゥス・デ・ラ・ガルド」(~1575年12月)
- 1574年6月10日-09:00|日本|福井県丹生郡越前町|天正2年5月下旬|一向一揆が織田城の織田景綱(朝倉景綱)を攻撃/景綱も奮戦したが兵の多寡は知れており、こともあろうに夜陰に乗じて家臣を見捨て、妻子だけを連れて敦賀に逃走/朝倉旧臣団は一向一揆に通じた安居景健、朝倉景胤などを除いてほとんど滅ぼされた
- 1574年6月11日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「ジヨ3世勇者」
- 1574年6月12日-01:00|フランス| |||<死去>シャルル伯「Renee」
- 1574年6月14日-09:00|日本|群馬県|天正2年5月25日|上杉謙信が西上野の武田方属城を攻略、由良成繁・国繁と戦う
- 1574年6月19日-02:00|リトアニア/ポーランド| |||<即位>ポーランド・リトアニア共和国リトアニア大公「シヨナス・ジエロマス・ポドコヴァチユス大元帥」(2回目~15760501)
- 1574年6月19日-09:00|日本|愛媛県四国中央市|天正2年6月|河野牛福(通直)、川之江城主妻鳥光家が土佐国に通じて叛いたので、河上安勝に討たせる
- 1574年6月19日-09:00|日本|千葉県|天正2年6月1日|<死去>上総・安房国大名「里見義堯」本拠久留里城で病歿。63歳⇒子の「里見義弘」が継ぐ(~天正6年5月20日(15780705)死去)
- 1574年6月20日-09:00|日本|山形県|天正2年6月2日|<天正最上の乱>義光勢が新地に夜襲をかけ白石氏・桑折氏の陣を焼いた
- 1574年6月23日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正2年6月5日|<死去>陸奥黒川領主「蘆名盛興」病死⇒養子「蘆名盛隆」(~天正12年10月6日(15841108)死去)隠居の父止々斎(盛氏)がこれを補佐
- 1574年6月27日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ジョルジョ・ヴァザリ、イタリヤの画家・建築家(生年1511年)
- 1574年6月28日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正2年6月10日|武田勝頼が二万五千の大軍で小笠原長忠の守る遠江高天神城を総攻撃、塔尾曲輪を落とす
- 1574年7月 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「アントニオ・デ・ポルトガル」(~8.15)
- 1574年7月6日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正2年6月18日|<第一次高天神城の戦い>高天神城内で小笠原氏助なる者が武田勝頼に内通して反乱を起こし、小笠原長忠は持ちこたえられずに降伏し高天神城は武田軍の手に落ちた/城兵の一部は浜松に退去、一部は長忠と共に勝頼に仕える
- 1574年7月11日-09:00|日本|佐賀県武雄市|天正2年6月23日|後藤貞明と養子惟明の変起こり貞明住吉城に逃れる
- 1574年7月15日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「トウアル・デ・メリス」(1回目~1577年)
- 1574年7月23日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正2年7月6日|三淵藤英・秋豪親子、織田信長により坂本城で切腹/足利義昭の敗戦以来、明智光秀に預けられていた
- 1574年7月24日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ピョートル6世」(1回目~15791202)
- 1574年7月30日-09:00|日本|三重県桑名市|天正2年7月13日|<第3次長島合戦>織田信長が一向宗徒がたてこもる長島願証寺に対して攻撃を開始
- 1574年7月31日-09:00|日本|福井県福井市|天正2年7月14日|和田本覚寺は、不満分子の「十七講」主の志比荘の林兵衛が盆の念仏参りに北ノ庄に来たところを喧嘩に事寄せて殺害/更に、丹生郡天下村の川端、吉田郡河合の八杉、坂井郡本庄の宗玄など一揆指導者を襲撃、殺害
- 1574年7月31日-09:00|日本|三重県桑名市|天正2年7月14日|<第三次長島侵攻>織田軍の陸から攻める三部隊が兵を進め、賀鳥口の部隊が松之木の対岸の守備を固めていた一揆勢を一蹴/早尾口の織田本隊も小木江村を固めていた一揆勢を破り、篠橋砦を羽柴秀長・浅井政貞に攻めさせ、こだみ崎に船を集めて堤上で織田軍を迎え討とうとした一揆勢も丹羽長秀が撃破し、前ヶ須・海老江島・加路戸・鯛浦島の一揆拠点を焼き払って五明へと移動しここに野営
- 1574年8月1日-09:00|日本|三重県桑名市|天正2年7月15日|<第三次長島侵攻>九鬼嘉隆の安宅船を先頭とした大船団が蟹江・荒子・熱田・大高・木多・寺本・大野・常滑・野間・内海・桑名・白子・平尾・高松・阿濃津・楠・細頸など尾張から集められた兵を乗せて一揆を攻め立て、また、織田信雄も垂水・鳥屋尾・大東・小作・田丸・坂奈井など伊勢から集められた兵を大船に乗せて到着し、長島を囲む大河は織田軍の軍船で埋め尽くされた/海陸、東西南北四方からの織田軍の猛攻を受けた諸砦は次々と落とされ、一揆衆は長島・屋長島・中江・篠橋・大鳥居の5つの城に逃げ込んだ/大鳥居城・篠橋城は、織田信雄・信孝らに大鉄砲で砲撃され、降伏を申し出てきたが、信長は断固として許さず兵糧攻めにしようとした
- 1574年8月5日-09:00|日本|大阪府大阪市淀川区|天正2年7月19日|織田方の荒木村重らが、摂津中島城を攻略
- 1574年8月6日-09:00|日本|大阪府大阪市淀川区|天正2年7月20日|石山本願寺が、前日に奪われた摂津中島城を取り戻す/織田方の荒木村重らは兵の半数が死傷する惨敗
- 1574年8月8日-09:00|日本|奈良県|天正2年7月22日|筒井順慶、十市遠長と「入魂誓紙」を交換、同盟締結
- 1574年8月13日-09:00|日本|千葉県野田市|天正2年7月27日|<関宿合戦>北條氏政は下総国の関宿城主築田晴助を攻め、弟の北條氏照をして関宿の該城を攻めさせる
- 1574年8月14日-09:00|日本|富山県|天正2年7月28日|上杉勢が越中を制圧、加賀に兵を進める
- 1574年8月15日-09:00|日本|三重県桑名市|天正2年7月29日|織田信長の弟半左衛門秀成が長島一向一揆と交戦中に討死
- 1574年8月16日-09:00|日本|大阪府東大阪市|天正2年7月30日|細川藤孝、織田側の河内国若江城などに攻撃を仕掛けてきた遊佐信教・三好康長らを撃退
- 1574年8月17日-09:00|日本|滋賀県米原市|天正2年8月|<改易>近江鎌刃城主「堀秀村」羽柴秀吉と反目し織田信長により

1580迄 (2027件)

- 1574年8月18日-09:00|日本|三重県桑名市|天正2年8月2日|<第三次長島侵攻>織田信長軍、伊勢国大鳥居城を出た一揆勢1000人ばかり討ち取り、大鳥居城は陥落/織田信昌、平手久秀らが討死
- 1574年8月23日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|天正2年8月7日|<死去>下野宇都宮城主「(宇都宮氏21代当主)宇都宮広綱」病死⇒子の「宇都宮国綱」が家督継承(⇒天正18(1590)年、秀吉により下野国18万石所領安堵)
- 1574年8月28日-09:00|日本|三重県桑名市|天正2年8月12日|織田信長が伊勢長島の篠橋砦を攻略/降伏した城兵を全て長島城に追い込む
- 1574年8月29日-09:00|日本|青森県平川市|天正2年8月13日|大浦為信、滝本重行の籠もる陸奥大光寺城を攻めるが、失敗
- 1574年8月31日-09:00|日本|熊本県人吉市|天正2年8月15日|<改名>肥後人吉領主「相良義頼」⇒「相良義陽」
- 1574年9月-02:00|キリシヤ| |||<就任>カテ`イア王国総督「ジ`ャコモ`フォスカリーニ」(~1577年)
- 1574年9月1日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天正2年8月16日以降|<拝領>近江国肥田城「蜂屋頼隆」
- 1574年9月2日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正2年8月17日|越前一向一揆が木の芽峠の砦を襲撃し、これを奪取/守将の樋口直房は寄手と和議を結び、逐電/程なく直房は関盛信に討たれる
- 1574年9月3日-01:00|チュニシ`ア/トルコ| |||オスマン朝エジプト総督がチュニスを再占領し、ハフス朝が滅亡
- 1574年9月5日-09:00|日本|福島県東白川郡塙町|天正2年8月20日|葦名盛氏/大関高増等、佐竹義久を陸奥羽黒にて破る
- 1574年9月10日-09:00|日本|茨城県かすみがうら市|天正2年8月25日|佐竹義重は常陸国の小田氏治の属城である新治郡の宍倉城主菅谷隠岐守勝則や戸崎城主戸崎大膳亮長俊らを攻める
- 1574年9月15日-01:00|フランス| |||<死去>ペ`リー公「マルグ`リット」
- 1574年9月15日-09:00|日本|埼玉県深谷市|天正2年9月|上杉軍、北条属城・深谷城を攻撃
- 1574年9月17日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<死去>スペイン領フロリダ植民地総督「ペ`ドロ`メネ`デ`ス`テ`ア`ビ`レス」
- 1574年9月17日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督代理「ディ`エゴ`デ`ベ`ラスコ」(~15760224死去)
- 1574年9月19日-09:00|日本|群馬県みどり市|天正2年9月5日|上杉謙信、御覧田城攻略/北条氏政軍に対し勝利
- 1574年9月21日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|天正2年9月7日|佐竹義重、陸奥赤館を攻めるも、結城義親/葦名盛氏に破れる
- 1574年9月22日-09:00|日本|群馬県みどり市|天正2年9月8日|上杉・北条両軍、黒川谷で合戦し、沼田衆300人余が討ち捕らえられる
- 1574年9月24日-09:00|日本|山形県|天正2年9月10日|<天正最上の乱>伊達輝宗と最上義光和議が成立
- 1574年9月25日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「権轍」(~15750806)
- 1574年9月28日-01:00|イタリア| |||<死去>ウルビ`ノ公「ガ`イ`バルド`2世`テ`ツラ`ロ`ウ`エル」
- 1574年9月28日-01:00|イタリア| |||<即位>ウルビ`ノ公「フランチェスコ`マリ`ア`2世`テ`ツラ`ロ`ウ`エル」(~16211103)
- 1574年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジャンバ`ッテスタ`ベルツィ」「ヘ`ネ`イ`クト`ディ`ブ`ランコ」
- 1574年10月2日-09:00|日本|大阪府大東市|天正2年9月18日|佐久間信盛・細川藤孝・筒井順慶・明智光秀・塙直政・森長可らが飯盛山城や山城下で三好康長、顯如連合軍と激しい戦闘になり、飯盛山城を落城させ、さらに萱振城を攻略して高屋城に迫る
- 1574年10月3日-01:00|フランス/スペイン| |||オ`ニエ公ウイ`ム、スペイン軍包囲破りライ`ン(レイ`ン)市を救出(ホ`ア`リ提督指揮救援艦隊、ライ`ン到着、スペイン軍、ライ`ンの包囲を解き撤退)
- 1574年10月3日-09:00|日本|大阪府八尾市|天正2年9月19日|佐久間信盛・細川藤孝・筒井順慶・明智光秀・塙直政・森長可らが萱振城を攻略して高屋城に迫り、城下を焼き払う
- 1574年10月6日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正2年9月22日|因幡・尼子勝久・山中幸盛、山名豊国に支援され、鳥取城を奪う
- 1574年10月7日-09:00|日本|茨城県坂東市|天正2年9月23日|多賀谷政経が下総国岡田郡の花島に於て小田原の北條勢と戦い、大生郷城を夜討して火を放ち北條左エ門佐氏堯を破って撃退し、猿島郡の弓田城主染谷民部を攻略して降伏させる
- 1574年10月11日-09:00|日本|群馬県太田市|天正2年9月27日|長尾憲景ら、由良成繁の金山城を攻める
- 1574年10月13日-09:00|日本|三重県桑名市|天正2年9月29日|<第三次長島侵攻>長島城の一揆勢が降伏を申し出て長島から船で退去しようとしたが、信長は許さず鉄砲で攻撃し、この時に顯忍や下間頼且を含む門徒衆多数が射殺、あるいは斬り捨てられた/怒った一揆衆800余は、織田軍の手薄な箇所へ、裸になって抜刀するという捨て身で反撃を仕掛け信長の庶兄である織田信広や弟の織田秀成など、多くの織田一族が戦死/ここで包囲を突破した者は、無人の小屋で仕度を整え、北伊勢方面経由で大坂へ逃亡/信長は、残る屋長島・中江の2城は幾重にも柵で囲み、火攻めにし城中の2万の男女が焼け死んだという/門徒による長島輪中の自治領は完全に崩壊、長島城は滝川一益に与えられた
- 1574年10月15日-09:00|日本|香川県さぬき市|天正2年10月|三好越後守・大西覚養など寒川郡昼寝城を攻めるが落とせず退く
- 1574年10月15日-09:00|日本|香川県高松市|天正2年10月|三好長治、三好越後守・篠原入道らに、大窪寺を越え香西の拠る勝賀城を攻めさせるが、成功せず退く
- 1574年10月15日-09:00|日本|佐賀県杵島郡白石町|天正2年10月|平井経治は高城を囲んだ/高城にいた弟平井直秀は敗れて自害
- 1574年10月15日-08:00|中国| ||明`万曆2年10月|建州の女直が遼東に侵入し、遼東総兵官の李成梁に撃退される
- 1574年10月23日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正2年10月9日|<金ヶ崎合戦(下野国)>甲斐武田氏の家臣の内藤昌

- 月が宇都宮領に侵攻し下野国金ヶ崎に陣を張った/宇都宮軍は夜になり武田軍が休息しているところを寡兵で夜襲を仕掛け武田軍を撃退
- 1574年10月29日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督「カブリエル・デ・モンタル」(~15770602)
- 1574年10月29日-09:00|日本|群馬県桐生市|天正2年10月15日|上杉謙信が関東に着陣し、上野仁田山城を攻略
- 1574年11月4日-09:00|日本|岡山県美作市|天正2年10月下旬|美作豊田の戦いや備前鳥取の戦いでは石川源助や花房与左衛門の活躍で相次いで浦上方が勝利を収める
- 1574年11月14日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正2年11月|三河国高足郷の村人ら、同所大明神宮の社殿を再建
- 1574年11月14日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正2年11月|北条氏房が土浦城を攻撃、佐竹氏から奪還/小田氏治は失地を回復し、再び佐竹軍に抵抗を続ける
- 1574年11月14日-09:00|日本|群馬県館林市|天正2年11月|上杉謙信、館林城攻め 長尾顕長と勝敗つかず
- 1574年11月14日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|天正2年11月|佐竹義重が陸奥国白川城主白河上野介義親と和睦
- 1574年11月16日-09:00|日本|高知県土佐郡土佐町|天正2年11月3日|長宗我部元親、土佐白髪社を再建
- 1574年11月18日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天正2年11月5日|荒木村重ら、織田信長に反乱した伊丹親興の摂津伊丹城を攻め落とす/信長は、これを有岡と改名し、茨木から荒木村重を移らせ、摂津一国を知行させる
- 1574年11月20日-09:00|日本|群馬県太田市|天正2年11月7日|上杉謙信、金山城攻め/由良成繁と勝敗つかず
- 1574年11月20日-09:00|日本|埼玉県加須市|天正2年11月7日|上杉謙信、騎西城攻め/小田家時と勝敗つかず
- 1574年11月20日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正2年11月7日|上杉謙信、忍城攻め/成田長泰と勝敗つかず
- 1574年11月22日-01:00|スペイン/リ| |||ファン・フェルナンデス諸島がファン・フェルナンデスによって発見されスペイン領宣言
- 1574年11月28日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天正2年11月15日|<転封>摂津茨木城「荒木村重」⇒摂津一国38万石(摂津有岡(伊丹)城)
- 1574年11月29日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルーシア総督代行「ファン・ホルティス・デ・サテ」(2回目~15760126)
- 1574年11月29日-09:00|日本|奈良県|天正2年11月16日|織田勢が奈良(大和国)より引き上げる
- 1574年12月-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Nuno Pereira de Lacerda」(~15751228)
- 1574年12月 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>フェルベントウ島主「Gonzalo1世 Arias de Saavedra y Cabrera」
- 1574年12月 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>フェルベントウ島主「Gonzalo2世 Arias de Saavedra y Muxica」⇒「Fernando Arias de Saavedra」(~1601年死去)
- 1574年12月9日-09:00|日本|佐賀県杵島郡白石町|天正2年11月26日|<須古城の戦い>肥前の須古城で龍造寺隆信と平井経治が戦い龍造寺が勝利
- 1574年12月14日-09:00|日本|福井県|天正2年閏11月|一揆勢は下間頼照や七里頼周に従わず反乱を起こすが下間頼照に鎮圧される
- 1574年12月15日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第11代スルタン「セリム2世」50歳(誕生1524年)
- 1574年12月19日-01:00|クワチア| |||<就任>クワチア・パン「カシム・アル・アレブ・ウチ・ヴェリキ・カルニキ」(~15761122)
- 1574年12月22日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第12代スルタン「ムラト3世」先代の子(~15950116死去)
- 1574年12月29日-09:00|日本|千葉県野田市|天正2年閏11月16日|北条軍、関宿城を開城
- 1574年12月31日-09:00|日本|埼玉県羽生市|天正2年閏11月18日|上杉謙信が、武蔵国羽生城を破却し木戸忠朝を武蔵羽生城から上野膳城に移封/騎西城に放火した後、厩橋城に入城
- 1575年-09:00|日本/フィリピン| |||フィリピン産の金が多量に日本へ輸入
- 1575年-08:00|マレーシア| |||<死去>パハン・スルタン「アブドゥル・ジャマル・シャー」
- 1575年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Sancho de Vasconcellos」(~1578年)
- 1575年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「ムダ」(~同年)⇒「サリ・アラム」(~1576年)
- 1575年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>ランサン王朝国王「ウオラ・ワンソー」(~1579年死去)
- 1575年-07:00|ラオス/タイ| |||<退位>ランサン王朝国王「セン・スリンタルサイ」
- 1575年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「エルハンサデ・アリ・パシャ」(~1590年)
- 1575年-03:00|マダガスカル| |||<即位>メリナ王国君主「King Ralambo」(~1612年)
- 1575年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ベイルベイ「マフムト・パシャ」(2期目~1576年)
- 1575年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ムラト・パシャ」(1期目~1577年)
- 1575年-01:00|ドイツ| |||<就任>ハートン＝ハートン辺境伯「フィリップ 3世」(~16201106死去)
- 1575年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ケラム」(~1582年)
- 1575年 00:00|サントメ・プリンシペ| |||<就任>サントメ植民地司令官「Antonio Monteiro Maciel」(~1582年)
- 1575年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Diego de Melgarejo」(~1578年)
- 1575年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ジョアン・レイテ・ペレイラ」
- 1575年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Francisco de Obando y Mexia」(~1578年)
- 1575年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サティアゴ総督「エルナン・マンリケ・デ・ロハス」(~1577年)
- 1575年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督代行「フランシスコ・テルバシエ・マロキン」(~1576年)
- 1575年1月 04:00|リ/スペイン| |||<就任>リ総督「ロドリゴ・デ・キカ・ロハス・ウゾア」(3回目~15800225死去)
- 1575年1月1日-09:00|日本|愛知県一宮市|天正2年閏11月19日|六郷地下人ら、尾張国大野荘八所社の熱田・熊野両社を遷宮
- 1575年1月1日-09:00|日本|千葉県野田市|天正2年閏11月19日|北条氏政は弟・氏照と遠山政景を派遣し関宿城を攻め落とした/築田氏は水海城にうつされた/北条が下総北部平定

1580迄 (2027件)

- 1575年1月1日-09:00|日本|福井県坂井市|天正2年閏11月19日|越前「一揆内一揆」(反大坂領国の抵抗)激発/国人衆・門徒衆の本願寺の坊官支配への不満爆発/豊原寺の坊官下間頼照(守護代)、河合庄の国人衆ら3千に襲撃される/若林長門守が出撃して国人衆を破る
- 1575年1月2日-09:00|日本|岡山県高梁市|天正2年閏11月20日|備中松山城主三村元親が毛利氏に背いたため毛利輝元・小早川隆景が出兵、備中小田に着陣
- 1575年1月7日-09:00|日本|茨城県古河市|天正2年閏11月25日|上杉謙信、古河城攻め/古河公方足利義氏と勝敗つかず
- 1575年1月12日-09:00|日本|京都府京都市|天正2年12月|<死去>陰陽師・勘解由小路在高/一時、勘解由小路家当主が空白状態(~天正3年)
- 1575年1月12日-09:00|日本|福井県福井市|天正2年12月|足羽郡の東郷安原村の「鐘講衆」が蜂起し下間和泉に討たれる
- 1575年1月22日 00:00|イギリス| ||<死去>2代アラン伯「ジェイムズ・ハミルトン」
- 1575年1月22日 00:00|イギリス| ||<就任>3代アラン伯「ジェイムズ・ハミルトン」先代の息子(~1609.3死去)
- 1575年1月31日-09:00|日本|佐賀県杵島郡白石町|天正2年12月20日|肥前の龍造寺隆信家の鍋島直茂が西肥前の須古城を攻め落とす/城主平井経治は自刃
- 1575年2月1日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル植民地アンゴラ・ド・ナタリ総督「ハウロデ・イアステ・カンシー」(~15890509没)
- 1575年2月1日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<制定>ポルトガル植民地アンゴラ・ド・ナタリ
- 1575年2月4日-09:00|日本|奈良県|天正2年12月24日|松永久秀(65)、落髪して「道意」と号す
- 1575年2月8日-01:00|オランダ| ||<創設>オランダ初の大学「ライデン大学」(世界で最初に日本学科設置)
- 1575年2月10日-09:00|日本|岡山県高梁市|天正2年12月30日|<国吉城の戦い>大晦日の夜半、国吉城は毛利方の手により落城
- 1575年2月11日-09:00|日本|青森県平川市|天正3年1月1日|大浦為信、滝本重行が籠もる陸奥大光寺城を大雪の中奇襲し、これを落とす
- 1575年2月11日-09:00|日本|岡山県高梁市|天正3年1月1日|毛利輝元・小早川隆景、三村政親の備中国吉城を攻め落とす/城兵305人は残らず殺される
- 1575年2月13日-09:00|日本|京都府京都市|天正3年1月3日|<死去>京都の宮医師坂光国(62歳)
- 1575年2月14日-09:00|日本|福島県白河市|天正3年1月4日|陸奥白川大名白川氏に内訌がおき、小峰義親は白川晴綱の七歳になる嫡子七若丸(のちの義頭)を追放し白川家惣領の地位を得た
- 1575年2月15日-01:00|フランス| ||フランス王アンリ3世「ロレーヌ公家」のルイズ・ド・ロレーヌと結婚
- 1575年2月18日-09:00|日本|岡山県新見市|天正3年1月8日|<備中兵乱(備中国)>小早川隆景を総大将として、三村領備中北部の樸城を攻撃、城主三村元範を討ち取る
- 1575年2月21日-09:00|日本|兵庫県|天正3年1月11日|毛利輝元、但馬国の山名昭熙・山名氏政父子と和睦
- 1575年2月27日-09:00|日本|岡山県総社市|天正3年1月17日|荒平山城城主・川西之秀、城兵の助命と引き替えに四国讃岐へと流された
- 1575年3月1日-09:00|日本|岡山県総社市|天正3年1月19日|<備中兵乱(備中国)>小早川隆景を総大将として宇喜多軍とともに、離反した備中の三村氏の鬼身城を落とす
- 1575年3月4日-09:00|日本|岡山県真庭市|天正3年1月22日|宇喜多直家が浦上宗景に背き、宗景方三浦貞広と戦うが敗れる
- 1575年3月4日-09:00|日本|奈良県|天正3年1月22日|大和国人「古市」某、筒井順慶の属城長井城を攻略/狭川衆6人が討死
- 1575年3月10日-09:00|日本|宮崎県串間市|天正3年1月28日|伊東義祐が海路より大隅櫛間・志布志を攻める
- 1575年3月13日-09:00|日本|福島県白河市|天正3年2月|常陸大名「佐竹義重」は陸奥白河大名「白河義親」を捕らえ義親の弟善七郎(義名)を名代とし白河氏を佐竹氏の旗下に組み込んだ
- 1575年3月17日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|天正3年2月5日|山中鹿之助、因幡若桜鬼ヶ城(草刈景継)を攻撃/尼子勢が優位にたつも毛利勢の来援のため、退却
- 1575年3月23日 05:00|コロンビア/スペイン| ||<就任>ヌエバ・グラナダ大統領・総督・総司令官「フランシスコ・プリセニョ」(~12.13没)
- 1575年3月30日-09:00|日本|愛知県新城市|天正3年2月18日|<任命>長篠城主「奥平貞昌」徳川家康により
- 1575年3月30日-09:00|日本|福井県鯖江市|天正3年2月18日|七里頼周の加賀一向宗軍が越前府中城の富田長繁を敗死させる
- 1575年4月 00:00|ポルトガル| ||ポルトガル、アルカサル・エル・キールでの戦闘で惨敗、国王ドン・セバスティアンは戦死
- 1575年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・コルベッリ」「リベリャ・ガブリエリ」
- 1575年4月4日-09:00|日本|静岡県磐田市|天正3年2月23日|向笠城(磐田市向笠)向笠伯耆守、徳川軍に攻められ落城
- 1575年4月7日-09:00|日本|広島県山県郡北広島町|天正3年2月26日|吉川元春・同元長、大檀那として、山県郡大朝の枝宮八幡宮社殿を造立
- 1575年4月10日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正3年2月29日|明智光秀、過部城を攻略
- 1575年4月11日-09:00|日本|大阪府大阪市|天正3年3月|本願寺の一揆勢は大和田に大和田砦をつくり、渡辺や神崎あたりまで進軍/これに対して荒木村重が兵を送り破れてしまったが、村重は策を巡らし、一揆勢を十三の渡し周辺に誘い出し攻撃を加え、大和田砦と天満砦を奪うことに成功
- 1575年4月11日-09:00|日本|岡山県総社市|天正3年3月|<備中兵乱(備中国)>小早川隆景を総大将として宇喜多軍

1580迄 (2027件)

- とともに、離反した備中の三村氏の幸山城を落とす
- 1575年4月11日-09:00|日本|佐賀県三養基郡みやき町|天正3年3月|龍造寺隆信、肥前・西島城(横岳鎮貞)を降す
- 1575年4月14日-09:00|日本|福島県二本松市|天正3年3月4日|伊達実元が陸奥二本松城主畠山義継攻撃をはかるが、蘆名盛隆が調停に乗り出す
- 1575年4月18日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|天正3年3月8日|織田信長、三好康長を河内国高屋城に攻撃し、くだす
- 1575年4月23日-09:00|日本|岡山県岡山市|天正3年3月13日|宇喜多直家の将大森義臣が浦上宗景の兵と備前辛川に戦う
- 1575年4月24日-09:00|日本|京都府京都市|天正3年3月14日|織田信長が京都に徳政令を発布、寺社門跡と公家衆の所領回復を命じる
- 1575年4月26日-09:00|日本|岡山県真庭市|天正3年3月16日|三浦軍は伊賀久隆配下の加茂衆が治める美作真木山城に牧清冬が夜討ちを仕掛け、加茂衆を多数討ちとる勝利を収め真木山城を奪い取った
- 1575年4月30日-09:00|日本|福岡県大牟田市|天正3年3月20日|龍造寺隆信が三池鎮実の拠る三池城を攻め落とす
- 1575年5月1日-09:00|日本|静岡県磐田市|天正3年3月21日|向笠城・向笠伯耆守、徳川軍に攻められ落城
- 1575年5月2日-09:00|日本|京都府|天正3年3月22日|織田信長、丹波2郡(舟井郡・桑田郡)の国衆を細川藤孝に配属
- 1575年5月3日-09:00|日本|奈良県|天正3年3月23日|<交替>大和守護「松永久秀」解任⇒「塙(原田)直政」織田信長により(南山城守護兼任~翌年5月3日戦死)
- 1575年5月6日-01:00|フランス| ||フランス王アンリ3世、「ホーリィーク派」(宗派よりも政治・政策を優先)の首領となった王弟「アンソワ公」フランスとの間で「ムッシュの和平」を結ぶ
- 1575年5月8日-01:00|フランス| ||フランス王アンリ3世、フランス中南部のホーリィーク派で、休戦協定「ホーリィーク勅令(王命)」を出し、「ムッシュの和平」の内容を法制化①王弟「アンソワ公」フランスには、フランス北西部のアンジュー、フランス中部のトゥーレーヌ・ベリーが「親王領」として与えられ、以後は「アンジュー公」と名乗る②穏健派カトリックのアンリ・ド・モンモランシー・ダンギルが、フランス南部のラングドック州で持つ「総督職」が承認される③「新教派」には、パリと「宮廷がある都市」以外での信仰の自由が認められる(「安全都市」は8都市)
- 1575年5月11日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正3年4月2日|<石山合戦>石山本願寺の顕如が織田信長に反抗して再挙兵
- 1575年5月12日-01:00|ポーランド/リトアニア| ||<退位>ポーランド・リトアニア共和国ポーランド王「ハンリク・ヴァルズィ」王位を放棄⇒フランス王アンリ3世
- 1575年5月14日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天正3年4月5日|徳川家康が武田勝頼に内通した家臣の大賀弥四郎を三河岡崎で鋸引きの刑に処す
- 1575年5月17日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|天正3年4月8日|<第2次高屋城の戦い>織田信長は1万ほどを率いて駒ヶ谷山に布陣し、高屋城攻城に動き出した/三好康長も高屋城の不動坂口より出撃し、双方激しい合戦となった/織田軍は高屋城の周辺を焼き討ちにし、麦苗も薙ぎ捨てにした
- 1575年5月21日-09:00|日本|岡山県和気郡和気町|天正3年4月12日|<天神山城の戦い>天神山城の支城の1つである日笠頼房の守る日笠青山城の攻略を狙って、宇喜多直家軍が兵を動かして城下で野戦が行われたが、日笠勢はこれに勝利し原助十郎などを討って宇喜多軍を撃退
- 1575年5月24日-09:00|日本|愛知県豊田市|天正3年4月15日|武田勝頼、奥三河の足助城を落とす
- 1575年5月28日-09:00|日本|大阪府堺市|天正3年4月19日|<第2次高屋城の戦い>織田軍は新堀城堀に草などを入れ埋め立て、夜になって火矢を射かけ大手門、搦手門の両方に突撃し、170余の首級をあげた/十河一行は討ち死にし、香西長信は生け捕りにされ、斬首された/三好康長は信長の側近であった松井友閑を仲介にして降伏を申し出た、信長は康長を赦免し高屋城の戦いは終結/高屋城はこの戦いで廃城となった
- 1575年5月29日-09:00|日本|大阪府|天正3年4月20日|三好康長は降伏/信長は若江城を残して河内国の城を破却させ、河内を平定
- 1575年5月30日-09:00|日本|愛知県新城市|天正3年4月21日|武田勝頼が1万5千の兵を率いて三河に進撃し、長篠城(城主奥平貞昌、城兵5百)を囲む
- 1575年6月5日-09:00|日本|奈良県|天正3年4月27日|織田信長、大和十市郷を、塙(原田)直政、松永久秀及び十市後家に頒ひ与える
- 1575年6月5日-01:00|フランス| ||「ギーズ公」アンリを首領とする「旧教派」、フランス北部のペロンスで「旧教同盟」を組織する
- 1575年6月5日-09:00|日本|岡山県美作市|天正3年4月27日|美作高山城主・草刈景継、密かに織田氏と通じたことが露見して毛利一門の小早川隆景によって自害させられる
- 1575年6月9日-09:00|日本|岡山県赤磐市|天正3年5月1日|宇喜多軍が備前佐古谷城を攻略/この頃、浦上方の伊部城主である日笠源太が花房職之に討ち取られ、伊部城が攻略された
- 1575年6月14日-09:00|日本|愛知県豊川市|天正3年5月6日|武田勝頼西進/二連木・牛久保城攻略後、酒井忠次が守る吉田城に迫る
- 1575年6月14日-09:00|日本|長崎県平戸市|天正3年5月6日|肥前平戸の松浦隆信、鎮信親子が龍造寺隆信に起請文を送り、その配下となる
- 1575年6月15日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正3年5月7日|<吉田城合戦>(6日~)武田勝頼、酒井忠次軍と交戦するも兵を引く
- 1575年6月15日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正3年5月7日|山名豊国家臣・牛尾元貞、鳥取城外で山中鹿之助を破る
- 1575年6月19日-09:00|日本|愛知県新城市|天正3年5月11日|武田勝頼ら武田の軍1万8000が長篠に着陣し、城を包囲(野牛門を攻撃)

1580迄 (2027件)

- 1575年6月21日-09:00|日本|愛知県新城市|天正3年5月13日|武田勝頼、金山衆を使い長篠城を攻め、夜には瓢丸・服部曲輪占領
- 1575年6月22日-09:00|日本|愛知県新城市|天正3年5月14日|武田勝頼、再び長篠城攻略開始、三の丸・弾正郭占領
- 1575年6月24日-09:00|日本|愛知県新城市|天正3年5月16日|奥平信昌の臣鳥居強右衛門勝商、武田勝頼に包囲された長篠城への援軍を要請するべく城を脱出するが、帰路で捕まり、磔にされたのち、槍で刺殺される
- 1575年6月26日-09:00|日本|愛知県新城市|天正3年5月18日|織田信長、三河国長篠より3里余りの地点に於いて武田軍と遭遇。「鉄砲放」で撃退
- 1575年6月29日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天正3年5月下旬|<明知城の戦い(美濃国)>織田信忠軍が東美濃の武田方の城を攻撃。昨年占領された小里城、明知城を奪還。明知城には遠山利景と遠山一行が復帰する
- 1575年6月29日-03:00|日本|愛知県新城市|天正3年5月21日|<長篠の戦い/設楽原決戦>6時、三河長篠設楽原にて武田勝頼軍が攻撃開始/織田・徳川連合軍が3千挺の鉄砲を駆使して武田騎馬隊を粉碎、武田方の真田信綱・馬場信房・山県昌景ら多数の武将が討死
- 1575年6月29日-01:00|日本|愛知県新城市|天正3年5月21日|<長篠の戦い/鳶ヶ巣山攻防戦>8時、徳川家康家臣・酒井忠次、鳶巣山奇襲成功、長篠城の包囲が解かれる
- 1575年6月29日 04:00|日本|愛知県新城市|天正3年5月21日|<長篠の戦い>13時、織田信長総攻撃開始、織田・徳川軍から追撃された武田軍は10,000名以上の犠牲(鳶ヶ巣山攻防戦も含む)を出し織田・徳川軍の勝利終結/夕方、織田信長・織田信忠・徳川家康、長篠城入場
- 1575年6月30日-01:00|ト・イツ/チェコ/イリア/オーストリア |||<即位>神聖ローマ第23代皇帝「ルト・ルフ2世」兼イリア王「ド・ルフ2世」マクシミリアン2世の子(~16120120死去)
- 1575年6月30日-09:00|日本|岡山県高梁市|天正3年5月22日|小早川隆景が三村元親の備中松山城を攻撃
- 1575年7月6日-09:00|日本|鳥取県|天正3年5月28日|山名祐豊・氏政父子が吉川元春に起請文を提出和睦するとともに但馬への進出を要請。毛利氏の因幡攻略にあたって同父子も協力する旨
- 1575年7月6日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|天正3年5月28日|<交替>筑前立花山領主「立花鑑連」隠居⇒「立花闇千代」(~天正9(1581)年8月18日婿取り)
- 1575年7月8日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|天正3年6月|尼子勢、因幡国若桜鬼ヶ城を攻略落城。尼子勝久、山中鹿之助、立原久綱らは若桜鬼ヶ城に入城
- 1575年7月8日-09:00|日本|三重県多気郡多気町|天正3年6月|<交替>伊勢多気領主「北畠具房」隠居⇒養子の「織田信雄」(~翌年)
- 1575年7月9日-09:00|日本|岡山県高梁市|天正3年6月2日|<死去>備中松山城主「三村元親」小早川隆景に攻め落とされ自刃滅亡
- 1575年7月9日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天正3年6月2日|徳川家康が兵を駿河に進め、由比・倉沢を攻めて帰陣する
- 1575年7月13日-09:00|日本|岡山県玉野市|天正3年6月6日|<常山城の戦い>朝より小早川勢は常山城への攻撃開始/城方は寄せ手の軍勢を十分に引き付けておいて一斉に弓や鉄砲で狙い撃ちにしたので小早川勢は多数の死傷者を出して攻めあぐねその日は勝機を見出せないままに夕暮れを迎える
- 1575年7月14日-09:00|日本|岡山県玉野市|天正3年6月7日|<常山城の戦い>小早川勢は再び常山城に迫った/城方も弓や鉄砲で抗戦したが、頃合を見計らって城門を開いては小部隊が突撃を敢行し浦隊を翻弄して攻め立てた/鶴姫は城内に駆け戻り自害/前後して城内では隆徳の義母、嫡男の高秀、妹や幼い子供が自害あるいは命を絶たれ、一族の死を見届けた隆徳も弟・高重を伴って本城に赴きそこに据えられた大石に登って自刃。高重もその介錯を勤めたのち自刃/常山城は陥落
- 1575年7月16日-09:00|日本|福島県白河市|天正3年6月9日|佐竹義重、結城義親を破る
- 1575年7月22日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|天正3年6月15日|山名氏の支援がなくなった山中幸盛は因幡若桜鬼ヶ城を攻略、拠点とする
- 1575年7月24日-09:00|日本|京都府|天正3年6月17日|織田信長が明智光秀を丹後・丹波に派遣して国人衆川勝継氏・小畠左馬助に忠節を誓わせる
- 1575年7月28日-09:00|日本|長野県飯田市|天正3年6月下旬|信州下伊那の坂西氏、武田勝頼を背き織田信長に寝返るが、小笠原信嶺に攻め殺される
- 1575年7月28日-09:00|日本|宮城県|天正3年6月下旬|伊達輝宗と相馬盛胤が座流川で交戦、伊達軍の勝利となる
- 1575年7月29日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正3年6月22日|<榎本城合戦>(17日~)皆川広勝、小山高綱(秀綱三男)に勝利/小山高綱は討死
- 1575年7月31日-09:00|日本|愛知県一宮市|天正3年6月24日|徳川家康家臣本多忠勝、榊原康政らが光明城攻略
- 1575年8月1日-09:00|日本|愛知県豊田市|天正3年6月25日|<武節城合戦>徳川家康、武田軍を駆逐し三河を再統一
- 1575年8月6日-09:00|韓国/朝鮮 |||<就任>朝鮮国領議政「洪暹」(~15760824)
- 1575年8月6日-09:00|韓国/朝鮮 ||朝鮮・万暦3年7月|朝鮮で士林派が東人派と西人派に分裂し党争が始まる
- 1575年8月9日-09:00|日本|熊本県|天正3年7月4日|相良義陽、島津方に通じた廉で、愛宕別当の築瀬将軍斎を誅す
- 1575年8月11日 05:00|エクトル/スペイン |||<就任>スペイン領土総督・総司令官・大審問院長「ペドロ・ガリア・デ・バルベルテ」(~15780602)
- 1575年8月17日 03:00|ブラジル |||散発的抵抗を続けていた奴才連合、最終的に降伏/先住民のうち4千人以上が奴隷とされ、2千人以上が虐殺された
- 1575年8月17日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正3年7月12日|織田信長が、近江の瀬田橋を付け替え、岐阜から京を結ぶ経路を確保
- 1575年8月19日-09:00|日本|愛知県豊田市|天正3年7月14日|菅原定忠、密かに軍勢を率いて三河武節城を攻略し、

1580迄 (2027件)

落とす

- 1575年8月20日-09:00|日本|高知県安芸郡東洋町|天正3年7月15日|土佐・長宗我部元親、野根城を攻略
- 1575年8月21日-09:00|日本|高知県|天正3年7月16日|<四万十川の戦い(渡川の戦い)>長宗我部氏と土佐一条氏の戦い/一条兼定は伊予宇和島で挙兵し、旧臣を従えて本拠地の土佐中村に復帰/一条家への義を感じる土豪が次々に帰参し、その兵力は3500に達した/長宗我部元親はわずか3日後に7300の軍勢を率いて四万十川東岸に現れた/長宗我部方の第一陣が正面から渡河を試み、数に劣る一条方は後退しつつ弓矢や鉄砲を浴びせて応戦/一条方総崩れ200余名の死者を出して敗走
- 1575年8月21日-09:00|日本|高知県安芸郡東洋町|天正3年7月16日|土佐・長宗我部元親、甲浦城を攻略し、土佐平定
- 1575年8月25日-08:00|フィリピン|スパン| |||<就任>スパン領フィリピン諸島総督「フランシスコ・サンテ」(~1580.4)
- 1575年9月5日-09:00|日本|茨城県東茨城郡城里町|天正3年8月|東茨城郡阿波山大山城主大山義景は小場三河守、石塚土佐守らの連合軍と桂村北方の頓ヶ原に於て戦い之れを破る
- 1575年9月5日-09:00|日本|徳島県海部郡海陽町|天正3年8月|長宗我部元親、三好長治属城・阿波海部城を攻略、弟香宗我部親泰を置く
- 1575年9月7日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正3年8月3日|武藏国滝山城主北條陸奥守氏照、同国鉢形城主北條左エ門佐氏邦らが常陸国に侵入し筑波郡の谷田部城主多賀谷淡路守政伯を攻め破って攻略し政伯を討取るが、多賀谷重経が小田原勢の背後より攻めて谷田部城を取り戻し回復
- 1575年9月15日-01:00|フランス| |||王弟「アランソ公」フランソワ、パリの「ル・ガール宮」(1区)から脱出し、南フランスの新教徒と合流/「第5次フランス宗教戦争」が始まる
- 1575年9月18日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ハリー・シドニー卿」(3回目~15780914)
- 1575年9月19日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正3年8月15日|<木ノ芽峠城の戦い>織田勢が、越前木ノ芽峠や杉津口の門徒の砦の攻撃開始/杉津城は大塩田強寺と堀江景忠が守っていたが、織田の大軍が来襲してきたことを知ると、景忠は森田三左衛門や堺図書助らとともに内応して裏切り、板取城の下間頼俊、火裡城の下間頼照、そして今庄の七里頼周は逃亡、一向一揆指導部は完全に崩壊/羽柴秀吉・明智光秀隊は200~300人ほどを討ち取ると、彼らの居城である大良越・杉津城および海岸の新城に乗り込み、焼き払った
- 1575年9月19日-09:00|日本|福井県南条郡南越前町|天正3年8月15日|<鉢伏城の戦い>鉢伏城の阿波賀三郎・与三兄弟は信長に許しを求めたが、信長は許さず、塙直政に殺させた
- 1575年9月19日 11:00|日本|福井県福井市|天正3年8月15日|<龍門寺城の戦い>織田軍は府中の竜門寺砦を夜襲、府中を占領する。周辺の城から撤退する一揆勢を羽柴秀吉・明智光秀が攻撃、2,000名を討ち取る
- 1575年9月20日-09:00|日本|福井県|天正3年8月16日|織田信長が山中に遁れていた下間筑後・下間和泉・専修寺住持を捜し当てさせて首を斬った/下間らを捕らえ、それを手土産に赦免を願い出てきたのは一揆勢に降っていた朝倉景健であったが信長公は向駿河守に命じて景健を自害させた
- 1575年9月22日-01:00|チコ| |||<即位>ホムアマ王「ルドルフ2世」神聖ローマ皇帝(~16110811)
- 1575年9月22日 03:00|ブラジル| |||ヌメウ連合が最終的に降伏/ヨーロッパ 人士官は絞首刑に処され先住民のうち2千人以上が虐殺され、4千人以上が奴隷とされた
- 1575年9月22日-09:00|日本| |||天正3年8月18日|上杉謙信と佐竹義重、小山氏救援のため再度同盟
- 1575年9月22日-09:00|日本|三重県鳥羽市|天正3年8月18日|柴田勝家・丹羽長秀・津田信澄の3人が鳥羽城を攻撃し、敵勢500~600を討ち取って陥落させた/金森長近、原長頼は美濃口から根尾~徳山經由で大野郡へ入り、数箇所の小さな城を落として多数の斬り捨て、諸口へ放火/織田軍により一揆衆1万2250人以上が討ち取られ、さらに奴隷として尾張や美濃に送られた数は3万から4万余に上るとされる
- 1575年9月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>東フリースラ伯「Anna of Oldenburg」
- 1575年9月24日-09:00|日本|福井県|天正3年8月20日|越前国「ひなかたけ」山に菅屋長頼。前田利家・「馬廻」衆を投入し1000余人を討ち取り、捕虜100余人は即時「刎首」に処す。北畠信意・織田信雄・滝川一益、大滝・白山を攻略し平野定久・「あさみ」某をはじめ「鉄砲者共」50、60名を切り捨て、総数600余を討ち取った
- 1575年9月25日-09:00|日本|福井県|天正3年8月21日|越前国風尾城に籠城し種々の投降要請を申し入れていた朝倉景健を「生害」させる。また朝倉景健「被官」の金子兄弟以下の「首をはね」る
- 1575年9月26日-09:00|日本|福井県南条郡南越前町|天正3年8月22日|越前一向一揆の総大将下間頼照が、加賀に逃れようとして、下野で高田専修寺派の者に殺される。
- 1575年9月27日-09:00|日本|石川県|天正3年8月23日|織田方の羽柴勢・明智勢が、加賀に乱入し、能見郡、江沼郡の南2郡を制圧/門徒衆の加賀領有が危うくなる中、加賀門徒は越中にいた宿敵上杉謙信と手を結ぼうとし、上杉を敵視していた杉浦玄任に自害を命じ、これを機に上杉謙信と金沢御坊は和解して、上杉謙信が北加賀に入る/信長方は、檜屋と大聖寺に砦を構築
- 1575年9月28日-09:00|日本|静岡県島田市|天正3年8月24日|徳川家康が武田方・城諏訪原城(室賀一葉斎)を攻め落とし、これを牧野城と改める/城主に今川氏真を入れ、松平家忠・松平康親に輔佐させる
- 1575年9月29日-04:00|ロシア| |||<即位>ロシア・ツァーリ「セシオン・ベ・ブラトウ・イツ」(~1576年9月)
- 1575年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローラモ・ジャンニ」 「ウ・インフェンツォ・デ・マリノ・デ・アントレ」
- 1575年10月2日-09:00|日本|石川県|天正3年8月28日|信長軍、加賀に進入し能美、江沼を平定/信長、坂井郡豊原に進入し檜屋、大聖寺を占領
- 1575年10月2日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天正3年8月28日|<小山城合戦>徳川家康、小山城を攻囲
- 1575年10月3日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|天正3年8月29日|小早川隆景・吉川元春、尼子属城・因幡若桜鬼ヶ城を攻略
- 1575年10月4日-09:00|日本|岡山県和気郡和気町|天正3年9月上旬|<天神山城合戦>宇喜多直家が天神山城を攻略

し、浦上宗景が追放される

- 1575年10月5日-09:00|日本|石川県|天正3年9月2日|<拝領>加賀「別喜広正」
- 1575年10月5日-09:00|日本|京都府|天正3年9月2日|<安堵>丹後一国「一色義道」越前一向一揆討伐にも参陣して、信長から
- 1575年10月5日-09:00|日本|福井県|天正3年9月2日|<拝領>越前8郡75万石、北ノ庄城主「柴田勝家」、前田利家・佐々成政らを付属されて北陸地方の平定を任される
- 1575年10月5日-09:00|日本|福井県|天正3年9月2日|<拝領>越前大野郡2万石「原長頼」
- 1575年10月5日-09:00|日本|福井県|天正3年9月2日|<拝領>越前大野郡3万石「金森長近」
- 1575年10月5日-09:00|日本|福井県越前市|天正3年9月2日|<拝領>越前小丸城3万3千余石「佐々成政」
- 1575年10月5日-09:00|日本|福井県越前市|天正3年9月2日|<拝領>越前府中城3万3千余石「前田利家」
- 1575年10月5日-09:00|日本|福井県越前市|天正3年9月2日|<拝領>越前龍門寺城3万3千余石「不破光治」
- 1575年10月5日-09:00|日本|福井県坂井市|天正3年9月2日|<豊原寺の戦い>一向一揆の味方をしたことを問われた豊原寺が全山の焼き討ちを受けた
- 1575年10月5日-09:00|日本|福井県敦賀市|天正3年9月2日|<拝領>越前敦賀郡「武藤舜秀」
- 1575年10月5日-09:00|日本|福井県福井市|天正3年9月2日|北の庄の普請場において、信長公は近江高島郡打下の林与次左衛門を誅殺/先年志賀の陣において浅井・朝倉勢と対陣した際、林は早舟に乗っておきながら敵勢へは矢を射かけるのみであった等、数々の懈怠があったため
- 1575年10月6日-09:00|日本|鳥取県八頭郡八頭町|天正3年9月3日|毛利軍吉川元春・小早川隆景、尼子方の因幡国私都城(主将亀井茲矩)を攻略し、落城/尼子方の横道兄弟・森脇久○/牛尾大炊助ら毛利方に下る
- 1575年10月7日-09:00|日本|石川県|天正3年9月4日|織田軍、加賀国奥郡の反乱分子「大坂代坊主兵衛卿」・「松浦子共」ら1000余人を討ち取る
- 1575年10月10日-01:00|フランス| ||ド・ルマンの戦いで、アンリ・ド・ギーズの旧教軍が大勝
- 1575年10月10日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天正3年9月7日|武田勝頼が援軍20000名を集め派遣したので徳川家康は小山城の包囲を解き、退却
- 1575年10月12日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正3年9月9日|小寺政職と龍野赤松氏が連携して太田城を攻め落とした
- 1575年10月14日-09:00|日本|岡山県真庭市|天正3年9月11日|美作の三浦貞広も牧清冬から宇喜多家臣の江原久清を通じて宇喜多直家に降伏し、本拠高田城を明け渡し投降/宇喜多直家は備前ほぼ全域、美作東部、播磨西部などに大きく所領を拡大
- 1575年10月14日-09:00|日本|高知県四万十市|天正3年9月中旬|<四万十川の戦い>一条兼定、御荘・法華津氏の援助で宿毛に侵入。長宗我部元親、渡川でこれを破る/一条軍はそのまま栗本城へ敗走し、籠城。長宗我部軍は、栗本城を追撃し、敢え無く陥落させた
- 1575年10月17日-01:00|イタリア| ||ベネチア、サン・ジヨアンニ・エ・パオロ(サン・ニコロ)教会にザリザ相互扶助同信組合を設立
- 1575年10月17日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「フロレンティノ・セントウリオネ・ファッティナティ」(~15771017)
- 1575年10月22日-01:00|イタリア| ||ベネチアでチェンバロの発明に対し特許
- 1575年10月24日-01:00|デンマーク| ||<死去>デンマーク王国執事「ヘーダー・オックス・ティル・ギッセルフェルト」
- 1575年10月24日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国執事代行「ニールス・カース・ティル・タルブ・ゴール」(~15940629没)
- 1575年10月27日-01:00|ドイツ| ||<即位>ドイツ王「ルドルフ2世」マクシミリアン2世の息子(⇒15761102皇帝~16120120)
- 1575年10月31日-09:00|日本|鳥取県東伯郡北栄町|天正3年9月28日|吉川元春、尼子氏の属城伯耆由良城を攻略
- 1575年11月3日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天正3年10月|丹波黒井城の荻野直正が但馬の竹田城を攻城し手中に収めた
- 1575年11月4日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天正3年10月2日|織田信忠、岩村城兵の夜襲を撃退
- 1575年11月17日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天正3年10月15日|<但馬野田合戦>垣屋豊統は楽々前城の垣屋光成と合力し田結庄は義が愛宕詣で留守中に田結庄氏配下・栗坂主水の海老手城を攻撃し落城させた
- 1575年11月18日-01:00|フランス| ||マリニで休戦協定が結ばれ、ユグノーが安全保障都市を確保
- 1575年11月19日-09:00|日本|兵庫県美方郡新温泉町|天正3年10月17日|<但馬野田合戦>山名家部将の田結庄是義は海老手城奪還に向かい野田において垣屋氏と戦い敗れ鶴城に籠城する事もならず正福寺で自刃
- 1575年11月21日-01:00|フランス| ||<即位>ベリー公「エリザベート」(~15770925)
- 1575年11月22日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天正3年10月20日|但馬守護山名韶熙、但馬出石・竹田を出して、織田信長に降る/竹田に住していた丹波黒井城主赤井直正は竹田を退くものの、山名氏一族を攻撃
- 1575年11月23日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正3年10月21日|攝津・本願寺顕如が、三好義継・松井有閑を介し、織田信長と和睦
- 1575年11月26日-09:00|日本|広島県廿日市市|天正3年10月24日|毛利輝元、大檀那として、厳島神泉寺の御堂を造立
- 1575年12月12日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天正3年11月10日|夜、武田勢は岩村の攻衆が陣を構える水晶山へ夜討ちを仕掛けたが織田勢は素早くこれに応じ、河尻秀隆・毛利秀頼・浅野左近・猿蓑甚太郎らが各所で敵を支え、逆襲して敵勢を山から追い崩すことに成功/織田勢は山々へ逃げ散った賊徒たちを尋ね出しては討ち倒し、甲斐・信濃の兵のうち大将二十一名に屈強の侍衆千百余を斬り捨てることに成功/岩村の城衆は塚本小大膳を通じて織田勢へ降伏
- 1575年12月13日 05:00|コロンビア/スペイン| ||<就任>ヌエバ・グラナダ 大統領・総督・総司令官「大審問院」(~15780829)
- 1575年12月14日-01:00|ポランド| ||<即位>ポランド王「アナ・ヤギェロンカ」ジグムント1世の娘/男性の王として即位/夫のステファン・バトリと共同統治(~15861212退位~15960909死去)、「ステニス・バトラス」トランシルヴァニア公/妻のアナ・ヤギェロンカと

1580迄 (2027件)

共同統治 (~15861212死去)

- 1575年12月15日-09:00|日本|奈良県橿原市|天正3年11月13日|松永久通、筒井方十市遠長を攻める
- 1575年12月16日 04:00|刊| |||<ハルビイ地震>|刊南部、ハルビイ沖で地震(M8.5、推定値)死者1500人
- 1575年12月17日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天正3年11月21日|<岩村城の戦い>織田信忠、美濃岩村城を開城させる
- 1575年12月28日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天正3年11月26日|美濃岩村城主秋山虎繁は長良川へ連行され、逆さ磔の刑に処される(49歳)/妻のおつやの方(織田信定の娘、信長の叔母)、家老も処刑される/城にいた武田残党は、城中の遠山市丞丸に追い込み、激しい戦いの末、全て焼き殺した/岩村城に立て籠もっていた甲斐や伊那から来た者達は、上村経由で伊那方面を経て帰ることを許されたが、岩村城から南方にある木の実峠で、織田軍に挟み撃ちにされて、全員が殺された/岩村城には河尻秀隆が入れ置かれた
- 1575年12月30日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正3年11月28日|<交替>美濃・尾張領主「織田信長」→子の「織田信忠」家督を譲られ岐阜を居城とした
- 1576年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「ザイナル・アラウッディン」(~1577年)
- 1576年-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王国国王「ハム・リヤチ1世」
- 1576年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「サ-1世」(~1584年)
- 1576年-05:30|インド| |||<即位>ファル朝ハン「Hasan Khan」(~同年)⇒「Raja Ali Khan」(~15970205死去)
- 1576年-05:30|インド| |||ウタカ国はガル帝国に編入
- 1576年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サナジャ総督「Kuyucu Murad Pasha」(~1580年)
- 1576年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア「マムード・ハシム」(~同年)⇒「アリ・ハシム」(~1577年)
- 1576年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「クラス・オーケソン・トット・ティル・バスタット」(~1594年)
- 1576年-02:00|ルワンダ| |||<即位>ルワンダ王国ムミキギリ2世ニヤムハシエラ(~1609年)
- 1576年-01:00|フランス| |||<即位>エタン公「John Casimir, Count of the Rhenish Palatinate」(~1577年)
- 1576年-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア大公「ルドルフ5世」(~1612年)
- 1576年-01:00|ポーランド| |||<退任>レグニツァ公「ヘンリー11世」
- 1576年-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/カボンドゥルガル| |||コンゴ王国はポルトガルの属国(~1641年)
- 1576年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「フラス・ゲテス・カウアーリョ」
- 1576年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「John Hamner」(~1580年)
- 1576年 00:00|モロッコ| |||<即位>サト朝スルタン「アブ・マルワン・アブ・アルマリク1世」(~15780804死去)
- 1576年 00:00|ポルトガル/イギリス| |||イギリスとポルトガルがキニア紛争で講和、効果的占領主義が成立
- 1576年 06:00|ニカラガ/アスペン| |||<就任>ニカラガ総督「(タスガル)州知事」デ・イゴ・ロペス(~同年)⇒「デ・イゴ・デ・アルティガ・チリノ・イウカス」(~1583年)
- 1576年 07:00|メキシコ| |||メキシコで大疫病、労働力不足が深刻化
- 1576年1月-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「カール・ヘンリクソン・ホレン」(1回目~1578年5月)
- 1576年1月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<設立>ポルトガルの探検家バウロ・デ・イラス・デ・ノヴァイスによってサンパウロ・ダ・アスンソン・デ・ロアンタ(ルアンタ)
- 1576年1月18日-09:00|日本|奈良県天理市|天正3年12月18日|松永久通、柳本城を攻略
- 1576年1月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハンス・ザックス、ドイツのマイスター・ジンガー - 詩人・劇作家(生年1494年)
- 1576年1月22日-09:00|日本|愛知県新城市|天正3年12月22日|<結婚>三河長篠城「奥平信昌」が徳川家康の長女亀姫と
- 1576年1月24日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|天正3年12月24日|徳川家康、遠江二俣城を攻略、城将依田信蕃は開城して甲斐へ帰国/二俣城をとりもどした家康は大久保忠世に与えた
- 1576年1月25日-09:00|日本|栃木県小山市|天正3年12月25日|<祇園城合戦>北条氏政、小山秀綱の居城祇園城を攻略、秀綱は佐竹義重の元に逃れる
- 1576年1月27日-09:00|日本|愛知県知多郡東浦町|天正3年12月27日|徳川家康は織田信長の命により織田家部将の尾張緒川城主・水野信元を謀殺
- 1576年1月28日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「クリストフ・ハッソ・ソムリョイ」(~15810527没)
- 1576年1月29日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス総督代行「デ・イゴ・オルティス・デ・サラテ・イ・メンデイヤ」(~15770503没)
- 1576年1月31日-09:00|日本|群馬県渋川市|天正4年|岸権旅館創業(伊香保温泉)
- 1576年1月31日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天正4年|壱岐中津宮【北触】を造り替え、遷宮
- 1576年1月31日-09:00|日本|福井県坂井市|天正4年|柴田勝豊は豊原城から丸岡に移り丸岡城築城【現存する日本最古の天守】福井県
- 1576年1月31日-09:00|日本|茨城県常総市|天正4年1月|多賀谷政経が下総国岡田郡飯沼村古間木城主渡辺周防守勝重を攻め破って攻略/政経は更に水海道城主田村弾正左エ門を攻め破って攻略し之れを降参させる
- 1576年1月31日-09:00|日本|大分県|天正4年1月|(~2月18日)<隠居>豊前・豊後・筑前・筑後・肥前・肥後国守護「大友宗麟」隠居⇒「大友義統」に家督を譲る
- 1576年1月31日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天正4年春|秀吉の長浜城が完成、今浜の地を長浜と改める
- 1576年1月31日-09:00|日本|青森県平川市|天正4年1月1日|津軽為信が大光寺城と支城の新屋城・尾崎城(滝本重行)を攻略
- 1576年2月5日-01:00|フランス| |||ジャン・ボダンが「国家論」を刊、絶対君主登場への嚆矢
- 1576年2月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴェーリン公「ヨハン・アルブレヒト1世」
- 1576年2月12日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュヴェーリン公「ヨハン7世」ヨハン・アルブレヒト1世の息子(~15920322死去)

1580迄 (2027件)

- 1576年2月12日-01:00|フランス| |||過激派カトリックが「旧教同盟」を結成
- 1576年2月14日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天正4年1月15日|<第一次黒井城の戦い>波多野秀治軍が裏切り3方向から攻め立て明智軍は総退却/三尾城城主赤井幸家(直正の弟)が明智軍に襲い掛かり、これに即応して波多野秀香軍と波多野秀尚軍が西、東より挟撃した。明智軍は体制を整えるべく一旦柏原方面に退却しようとしたが、そこには高見城で赤井忠家が待ち伏せており、明智軍は黒井川に追いやられ大敗
- 1576年2月21日-09:00|日本|山梨県|天正4年1月22日|武田との甲相同盟強化のため、北条氏康六女の北条夫人(桂林院)が武田勝頼の正室(継室)として嫁ぐ(勝頼前妻の龍勝院は元亀2年(1571年)に死去)
- 1576年2月24日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<死去>スペイン領フロリダ植民地総督代理「デ・イコ・デ・ベラスコ」
- 1576年2月24日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「エルナンデス・ミンダ」(~15760905)
- 1576年3月 04:30|ペネラ/スペイン| |||<死去>スペイン領ペネラ総督「Diego de Mazariegos」
- 1576年3月1日-09:00|日本|新潟県|天正4年2月|上杉謙信が織田信長との同盟破棄
- 1576年3月4日-09:00|日本|石川県|天正4年2月4日|<死去>能登国主「(能登七尾畠山氏第11代当主)畠山義隆」⇒息子の「畠山春王丸」が継ぐ(~翌年7月23日(15770807)死去滅亡)畠山家中は二派に分裂し、それぞれ織田方と上杉方に通じる
- 1576年3月5日-01:00|オランダ/スペイン| |||<死去>スペイン領ネーデルラント総督「Luis de Requesens y Zuniga」
- 1576年3月5日-01:00|ベルギー/スペイン| |||<死去>ベルギー総督「ルイス・デ・レクセン・イ・ズーニガ」
- 1576年3月5日-01:00|オランダ/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「John of Austria」(~15781001死去)
- 1576年3月5日-01:00|ベルギー/スペイン| |||<就任>ベルギー総督代行「ジエロニモ・デ・ローダ」|「アルシヨット公爵フィリップ・ト・クロワ」(~7.31)
- 1576年3月6日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|天正4年2月6日|龍造寺隆信、有馬属城・肥前横沢城を攻略
- 1576年3月6日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正4年2月6日|毛利元康・杉原盛重ら、尼子氏の属城因幡宮吉城を攻略
- 1576年3月15日-09:00|日本|兵庫県|天正4年2月15日|<死去>赤松氏第12代当主「赤松義祐」播磨置塩城城主
- 1576年3月18日-01:00|ドイツ| |||<就任>ネーデルラントシグマリンゲン侯「Charles2世」(~16060408死去)
- 1576年3月18日-01:00|ドイツ| |||<就任>ネーデルラントヘンゲン侯国「Eitel Friedrich4世」(~16050116死去)
- 1576年3月23日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正4年2月23日|織田信長、美濃岐阜城下の佐久間信盛の屋敷から近江琵琶湖々岸に完成した安土城に移る
- 1576年3月25日-09:00|日本|奈良県磯城郡田原本町|天正4年2月25日|織田軍、大和国森屋城を接收
- 1576年3月25日-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<設立>アンボイン島ポルトガル入植地(~16050223)
- 1576年3月25日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|天正4年2月25日|壬生徳雪齋周長、甥綱雄を天神の祠前で暗殺し鹿沼右衛門尉と共に坂田山城主を奪う(徳雪齋の乱)/徳雪齋と綱雄の子、義雄が反目。壬生徳雪齋は芳賀高継を味方にして宇都宮氏に対抗、宇都宮氏は詰め城として多気山城を築城して対抗
- 1576年3月25日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|天正4年2月25日|<死去>下野鹿沼領主「壬生綱雄」⇒子の下野壬生領主「壬生義雄」が継ぐ(~天正18年7月8日(15900807)死去絶滅)
- 1576年3月30日-09:00|日本|岡山県真庭市|天正4年3月|宇喜多・毛利軍、美作・高田城(三浦貞広)を攻略
- 1576年3月30日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天正4年3月|武田勝頼、遠江侵攻し、相良城を築く
- 1576年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ヒエール・バ・ホ・コルベリ」|「シバルト・シバルトイ」
- 1576年4月2日-09:00|日本|滋賀県大津市|天正4年3月4日|織田信長の命令で勢田橋普請が大方出来上がる
- 1576年4月3日-09:00|日本|奈良県橿原市|天正4年3月5日|松永久通(金吾)、大和国十市平城を攻撃
- 1576年4月15日-09:00|日本|静岡県島田市|天正4年3月17日|任命>遠江牧野城(諏訪原城)城主「今川氏真」
- 1576年4月19日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督代行「ハンス・エリックソン・フィン・ブリンカ」(~1577年)
- 1576年4月19日-09:00|日本|奈良県橿原市|天正4年3月21日|塙直政、大和国十市城を接收し十市遠長を河内へ追放
- 1576年4月21日-09:00|日本|群馬県吾妻郡東吾妻町|天正4年3月23日|真田軍岩櫃城を乗っ取る
- 1576年4月29日 10:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正4年4月|顕如、足利義昭に通じ石山城に籠もり、信長に対し、再び挙兵
- 1576年4月30日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ガブリエル・デ・ロアルテ」(~1578年没)
- 1576年5月-01:00|フランス| |||<即位>アンジュー公「フランソワ1世」兼ベリー公、トゥレーヌ公、アランソン公、シャトーティエリ公、イヴルー公、ペルチエ伯、ムラン伯、マント伯/フランス国王アンリ2世とカトリック・メデイスの五男(~15840610死去)
- 1576年5月1日-02:00|リトアニア/ポーランド| |||<即位>ポーランド・リトアニア共和国リトアニア大公「ステホナス」|「トランシルヴァニア公」(~15861212没)
- 1576年5月6日-01:00|フランス| |||ポーランドの王令/ユグノーに王権の一時的譲歩が約束され、第5次ユグノー戦争が終結
- 1576年5月8日 04:30|ペネラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ペネラ総督「Juan de Pimentel」(~15831110)
- 1576年5月11日 10:00|日本|大阪府大阪市浪速区|天正4年4月13日|夜、織田方は、石山本願寺方が守る木津への進出を目論み、門徒衆と今宮付近で激しく衝突/原田直政勢は三津寺の砦を攻めるが、これを攻めあぐねる
- 1576年5月14日-03:30|イラン| |||<死去>サファヴィー朝シャー「タマスプ1世」首都カズヴィンで/62歳(誕生1514年)
- 1576年5月14日-03:30|イラン| |||<即位>サファヴィー朝シャー「ハイダー」(~23日)
- 1576年5月23日-03:30|イラン| |||<即位>サファヴィー朝シャー「イスマイル2世」(~15771124没)
- 1576年5月26日-09:00|日本|大阪府大阪市住吉区|天正4年4月28日|住吉神社、石山本願寺勢に焼かれる
- 1576年5月29日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|天正4年5月2日|石山本願寺勢・信長軍との戦闘で四天王寺焼失
- 1576年5月30日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正4年5月3日|<死去>南山城守護・大和守護「塙(原田)直政」、攝津三津寺で戦死

1580迄 (2027件)

- 1576年5月30日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正4年5月3日|早朝、織田方が、石山本願寺に総攻撃/第一陣の三好康長と根来衆、和泉衆は木津に寄せるが、門徒衆一万に囲まれ、鉄砲を浴びせられて潰走/第二陣の原田直政は三津寺に寄せたが、深田に足を取られ主将の直政が鉄砲に狙われ討死し、総敗軍となる/逃げる織田方を石山本願寺方が追い、四天王寺に布陣していた明智光秀、筒井順慶、佐久間正勝らが門徒衆に包囲され、四天王寺の堂宇は炎上
- 1576年5月31日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|天正4年5月4日|<鬼ヶ城の戦い>毛利方杉原盛重・因幡尾高城主らが大軍をもって城を包囲、多勢に無勢で勝機なしと判断した尼子勝久・山中幸盛主従は夜陰にまぎれて城を脱出
- 1576年6月-05:30|インド| ||ムガル軍がメーワール地方のブラーブ軍に勝利
- 1576年6月3日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|天正4年5月7日|織田信長が門徒衆1万5千に包囲された四天王寺の佐久間信盛・明智光秀らの救援に向かう/信長は三隊に分け、第一陣を佐久間信盛、松永久秀ら、第二陣を滝川一益、羽柴秀吉ら、最後は馬廻り衆として、夜半行動開始。織田信長自身、天王寺に押し掛け、敵の砦を両方から攻め、一揆を破って、籠城の兵を救う
- 1576年6月3日-09:00|日本|京都府木津川市|天正4年5月7日|織田信長、荒木村重に命じて、木津城を攻めさせ、これを陥とす
- 1576年6月3日-09:00|日本|山口県|天正4年5月7日|毛利輝元、織田信長と断交
- 1576年6月6日-09:00|日本|奈良県|天正4年5月10日|<任命>大和一国領主「筒井順慶」(⇒天正8(1580)年大和郡山18万石~天正12年8月11日(15840915)死去)
- 1576年6月7日 00:00|イギリス/カナダ| ||イギリス人フビッシャーがカナダへ初航海
- 1576年6月8日-01:00|フランス| ||キース公アンリ「カトリック同盟(リーグ)」を結成/異端の王(ヴァル王アンリ)の出現を阻止しようとする
- 1576年6月10日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正4年5月14日|毛利方の軍勢が、浦兵部に率いられ、播磨の英賀に上陸し、織田方の姫路城を攻めたが、播磨国人小寺政職の家老黒田官兵衛孝高がこれを撃退
- 1576年6月14日-09:00|日本|新潟県|天正4年5月18日|上杉謙信、本願寺顕如との和睦が成立/元亀3年(1572年)に締結した織田信長との濃越同盟を破棄
- 1576年6月20日-09:00|日本|福井県福井市|天正4年5月24日|織田方に屈していた越前門徒衆が、石山本願寺の檄に応じて越前府中で蜂起したが、織田方の前田利家により千人余が生け捕られ、磔や釜茹などにより処刑
- 1576年6月27日-09:00|日本|茨城県下妻市|天正4年6月|北條氏政が常陸国下妻城主多賀谷重経を攻め、佐竹義重は多賀谷に加勢し筑波郡の高道祖原に於て小田原勢と戦い之れを破る
- 1576年6月27日-09:00|日本|広島県三原市|天正4年6月|小早川隆景、豊田郡米山寺の新堂を再興
- 1576年7月-05:30|インド| ||アハメドガ、ベンガル、オリッサ、ビハールを征服し、北インド全域を支配下に収める
- 1576年7月1日-01:00|フランス| ||<死去>リネー伯「John3世」
- 1576年7月1日-01:00|フランス| ||<就任>リネー伯「Charles2世」John3世の息子(~1608年死去)
- 1576年7月2日-09:00|日本|京都府宇治市|天正4年6月6日|<拝領>山城国榎嶋城2万石「井戸良弘」織田信長により
- 1576年7月12日-05:30|インド| ||<退位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Daud Khan Karrani」モグル帝国に併合された
- 1576年7月12日-09:00|日本|兵庫県淡路市|天正4年6月16日|毛利水軍が淡路島を占領
- 1576年7月18日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天正4年6月22日|波多鎮は伊万里城の伊万里治、有田唐船城主有田と盟約して龍造寺に帰属していた獅子ヶ城の鶴田前を突如として攻撃/鶴田前は戦死したが、鶴田方は援軍により波多軍を撃破/波多軍は龍造寺に屈伏
- 1576年7月20日-03:30|イラン| ||<就任>サファヴィー朝宰相「ミルザ・ショクル・アッラー・イスファハニ」(~15770613)
- 1576年7月21日-09:00|日本| ||天正4年6月25日|上杉謙信と武田勝頼・北条氏政が、足利義昭の要請を受け入れ、和睦し、京都を回復することを承諾/足利義昭・本願寺・上杉謙信を中心とした反織田体制が成立
- 1576年7月26日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|天正4年7月|家康、遠江犬居城を攻略/城主の天野藤秀・景貫父子は犬居城を脱出して勝坂城に入りここで最後の抵抗を試みた後、甲州へ逃亡
- 1576年7月31日-01:00|ベルギー/スペイン| ||<就任>ベルギー総督代行「ハヴレ侯爵シャルル・フィリップ・ド・クロワ」(~11.3)
- 1576年8月7日-09:00|日本|大阪府大阪市浪速区|天正4年7月13日|<第1次木津川河口合戦>毛利水軍、和泉国堺津住吉表から摂津国木津川口に進み織田水軍に攻撃を開始、戦闘は明朝まで継続。織田信長が毛利水軍に敗れる
- 1576年8月9日-09:00|日本|徳島県三好市|天正4年7月15日|長宗我部元親が阿波白地を奪う/阿波宍喰、海部を占領
- 1576年8月10日-09:00|日本|京都府京都市中京区|天正4年7月16日|織田信長の援助により京の姥柳町に南蛮寺が竣工し、献堂式が行われ、多くの信者が参集
- 1576年8月11日-09:00|日本|福島県石川郡石川町|天正4年7月17日|相馬盛胤・義胤父子、陸奥矢ノ目で伊達輝宗を破る(矢野目の戦い)
- 1576年8月24日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「権轍」(~15780902)
- 1576年8月24日-09:00|日本|富山県高岡市|天正4年8月|上杉謙信、越中守山城を攻略
- 1576年8月27日-01:00|イタリア| ||<死去>ティツィアーノ・ヴァチエッリョ、イタリアの画家(生年1490年頃)
- 1576年8月27日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|天正4年8月4日|飛騨・上杉謙信、塩屋筑前守を先陣に飛騨に侵入
- 1576年8月29日-09:00|日本|神奈川県|天正4年8月6日|北条氏政、足利義昭の命に従い甲相越三国同盟に同意
- 1576年8月30日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|天正4年8月7日|<死去>下野宇都宮領主「宇都宮広綱」⇒子の「宇都宮国綱」が継ぐ(⇒天正18(1590)年所領安堵⇒慶長2年10月13日(15971122)改易)
- 1576年8月31日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正4年8月8日|上杉謙信、1万5千の兵をもって唐沢山城を攻めたが一族の結城氏・小山氏・皆川氏などの加勢により上杉軍撤退

1580迄 (2027件)

- 1576年9月-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「デ・イコ・デ・メネズ」(~15780831)
- 1576年9月-04:00|ロシア| |||<復位>ロシアツァーリ「イワン・ガブリエヴィチ4世雷帝」(2回目~15840318)
- 1576年9月-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルグ総督兼総司令官代行「サウ・伯爵・シウリ卿ジャン」(~1577年2月)
- 1576年9月5日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督代理「ゲティエレ・デ・ミランダ」(~1577年)
- 1576年9月11日-09:00|日本|千葉県千葉市緑区|天正4年8月19日|北条軍、上総へ侵入。土気城の酒井康治、北条氏政に屈伏する/氏政、西上総を攻め、原氏・高城氏らに上総有木城・椎津城・窪田城の在番を命じる
- 1576年9月15日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天正4年8月23日|島津義久、日向に出陣/高城城主伊東勘解由、和議を要請し、城を退却/義久、高城に入る/続いて、高原・高崎・内木場・岩牟礼・須木・須師原・奈崎の7城も放棄され島津領となる
- 1576年9月16日-09:00|日本|宮崎県小林市|天正4年8月24日|日向小林城・須木城主を務めていた米良矩重が主君への恨みから島津軍に寝返り島津氏の城となり鎌田政年が差遣された/奈佐木城主・肥田木三郎兵衛、伊東家を裏切り、島津氏に寝返る
- 1576年9月19日-09:00|日本|福島県須賀川市|天正4年8月27日|佐竹義重は陸奥国会津城主葦名盛氏を長沼や太里に攻める
- 1576年9月22日 00:00|イギリス| |||<死去>エッセクス伯「ウォルター・デ・ヴァール」
- 1576年9月22日 00:00|イギリス| |||<就任>エッセクス伯「ロバート・デ・ヴァール」(~16010225死去)
- 1576年9月22日-09:00|日本|富山県富山市|天正4年8月末|上杉謙信、梶尾城・増山城攻略/神保氏張に対し勝利
- 1576年9月23日-09:00|日本|愛知県新城市|天正4年9月|<移転>三河長篠城「奥平信昌」⇒三河新城城(⇒天正18年上野宮崎へ)
- 1576年9月23日-09:00|日本|佐賀県伊万里市|天正4年9月|<伊万里城の戦い>龍造寺が寝返った松浦方の伊万里城を攻撃、占領
- 1576年9月23日-09:00|日本|富山県小矢部市|天正4年9月|上杉謙信が越中西部の蓮沼城を落城させ、越中国を平定
- 1576年9月23日-09:00|日本|富山県高岡市|天正4年9月|<守山城の戦い>上杉謙信が守山城を攻略
- 1576年9月23日-09:00|日本|富山県富山市|天正4年9月|上杉謙信が富山城、梶尾城を攻略
- 1576年9月30日-09:00|日本|富山県氷見市|天正4年9月8日|上杉謙信、湯山城(森寺城)攻め 神保氏張と勝敗つかず
- 1576年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「イフェンツォ・フランケティ」「フランチェスコ・オフリ」
- 1576年10月5日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正4年9月13日|宇喜多直家の兵、播磨上月城を攻略
- 1576年10月12日-01:00|トイ/イタリア/オーストリア/チエコ/ハンガリー/クロアチア| |||<死去>神聖ローマ皇帝・トイ王・ボヘミア王・クロアチア王・オーストリア・シュタイアーマルク大公・モラヴィア辺境伯「マクシミリアン2世」兼ハンガリー国王「ミクシャ1世」
- 1576年10月12日-01:00|トイ/ハンガリー/オーストリア/チエコ/イタリア| |||<即位>神聖ローマ皇帝「ルトルフ2世」兼オーストリア・シュタイアーマルク大公「ルトルフ5世」マクシミリアン2世の子(~16120120死去59歳)兼ボヘミア王「ルトルフ2世」(~16110311退位)兼ハンガリー国王「ルトルフ」(~16080626退位)兼モラヴィア辺境伯「ルトルフ2世」(~1608年退位~16120120死去)ミクシャ1世(マクシミリアン)の次男、トイ王・クロアチア王
- 1576年10月14日-09:00|日本| |||天正4年9月22日|田村清顕、葦名盛氏と和睦
- 1576年10月15日-09:00|日本|福島県白河市|天正4年9月23日|佐竹義重、白河に撤退
- 1576年10月19日 00:00|イギリス| |||<死去>5代ハントリー伯「ジョージ・ゴードン」
- 1576年10月19日 00:00|イギリス| |||<就任>6代ハントリー伯「ジョージ・ゴードン」(⇒15990407初代ハントリー侯~16360613死去)
- 1576年10月22日-09:00|日本|宮崎県日南市|天正4年10月1日|肝付兵部、伊東領南郷を攻めるが大敗
- 1576年10月26日-01:00|トイ| |||<死去>プファルツ選帝侯「フリードリヒ3世」
- 1576年10月26日-01:00|トイ| |||<就任>プファルツ選帝侯「ルートヴィヒ6世」(~15831022死去)
- 1576年11月3日-01:00|ベルギー/スペイン| |||<就任>ベルギー総督「ファン・ド・オーストリア」(15770506まで代行~15781001没)
- 1576年11月4日 00:00|イギリス| |||<死去>ウインチェスター侯「ジョン・ポーレット」
- 1576年11月4日 00:00|イギリス| |||<就任>ウインチェスター侯「ウィリアム・ポーレット」(~15981124死去)
- 1576年11月8日-01:00|ベルギー/オランダ| |||全ネーデルラント17州が、スペインに対抗ためのヘント協定を結ぶ
- 1576年11月9日-05:30|インド| |||<死去>マイソール王国(オデヤ朝)国王「チャマラージャ4世」
- 1576年11月9日-05:30|インド| |||<即位>マイソール王国(オデヤ朝)国王「チャマラージャ5世」(~1578年死去)
- 1576年11月10日-09:00|日本|鹿児島県|天正4年10月20日|島津義久、相良義陽との和睦を承諾
- 1576年11月19日-09:00|日本|茨城県常総市|天正4年10月29日|下妻城主多賀谷政経が大生郷天神宮を焼失
- 1576年11月21日-09:00|日本|石川県七尾市|天正4年11月|<第1次七尾城の戦い>七尾城内では老臣筆頭の長続連以下兵2000での籠城戦/七尾城支城熊木城、黒滝城をはじめ富来城、城ヶ根山城、粟生城、牧野上総介の米山城などを落城させ七尾城は孤立
- 1576年11月21日-09:00|日本|石川県鳳珠郡穴水町|天正4年11月|<穴水城合戦>上杉軍、長続連・綱連軍に勝利し攻略。長沢筑前・小白田善兵衛が守将として置かれた
- 1576年11月21日-09:00|日本|広島県庄原市|天正4年11月|宮智盛、奴可郡金福寺宮社殿を再興
- 1576年11月22日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ハン代行「クリストフ・ウンナト」(⇒15780205、ハン~15830408)
- 1576年11月28日 00:00|ポルトガル| |||<死去>キマランイス公「ドゥアルテ2世」
- 1576年12月-01:00|フランス| |||ポワトゥーとキュイェヌのユグノーが武装蜂起
- 1576年12月12日-01:00|フランス| |||「全国三部会」の決議で、「全国三部会」には全会一致の投票による法制化の権限があり、フランス王もこれを守らなければならないとする

1580迄 (2027件)

- 1576年12月15日-09:00|日本|三重県伊勢市|天正4年11月25日|<三瀬館の変>伊勢国大名「北畠具教」織田信雄の謀略で家臣の襲撃を受け自刃/具教の子・北畠具房も幽閉され北畠氏は完全滅亡
- 1576年12月21日-01:00|トイッ|||<死去>シャウエンブ ㄱ伯・ルシタイン=ピンネ ㄱ伯「オット4世」
- 1576年12月21日-01:00|トイッ|||<就任>シャウエンブ ㄱ伯・ルシタイン=ピンネ ㄱ伯「アドルフ14世」(~16010702死去)
- 1576年12月21日-09:00|日本|三重県津市|天正4年12月2日|北畠信雄、伊勢霧山城を攻撃、大宮景連戦死
- 1576年12月23日-09:00|日本|三重県津市|天正4年12月4日|<霧山城合戦>北畠残党、は北畠政成の守る霧山城に集結し抵抗を試みたが信長は羽柴秀吉・神戸信孝・関盛信ら15,000の兵を送り込んで霧山城は陥落、守将の北畠政成・波瀬具通らが自害/霧山城下は灰燼と化し霧山城も焼け落ちたのでそのまま廃城となった
- 1576年12月27日-09:00|日本|栃木県栃木市|天正4年12月8日|<死去>下野皆川領主「皆川広勝」⇒弟の「皆川広照」が継ぐ(⇒天正18(1590)年、下野皆川13000石所領安堵⇒1603年信濃飯山75000石に転封)
- 1576年12月28日-09:00|日本|大分県宇佐市|天正4年12月9日|大友宗麟の軍勢が乱暴を働き、宇佐神宮上宮が焼ける
- 1577年-08:00|マレーシア|||<死去>ペラ・スルタン「マンスール・シャー1世」
- 1577年-08:00|インドネシア|||<即位>アチェ王国スルタン「アラウッテ・イン・マンスール・シャー」(~1589年)
- 1577年-08:00|マレーシア|||<即位>ペラ・スルタン「アフマト・ダジュテ・イン・シャー」(~1584年没)
- 1577年-05:30|インド|||シ教の総本山ハルマタ・ル・サヒブが創建
- 1577年-03:00|エチオピア|||<即位>オサ・イマム国イマム「Mahamed Jasa Ibrahim」(~1583年)
- 1577年-02:00|シリア・アラブ/トルコ|||<就任>アレク・ベイルベイ「ニヤンツ・マフムト・ハシヤ」(1580年)
- 1577年-02:00|ギリシャ|||<就任>カテ・イア王国総督「ルカ・シエル」(~1580年)
- 1577年-02:00|シリア・アラブ/トルコ|||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハサン・ハシヤ」(1期目~1581年)
- 1577年-02:00|モザンビーク/ポルトガル|||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンズ・メジャ「ペドロ・デ・カストロ」(~1583年)
- 1577年-01:00|リビア/トルコ|||<就任>オスマン帝国フェザン総督「マフムト・ベイ」(~1582年)
- 1577年-01:00|スペイン/ポルトガル|||<就任>ポルトガル領ケタ提督「Manuel de Meneses e Noronha」(2期目~1578年)
- 1577年-01:00|スペイン/フィリピン|||スペインがルソン島全体を支配下に置く
- 1577年-01:00|オランダ|||ベルゲン・オブ・ズーム州(オランダ共和国が占領)と合法的な支配者の領土に侯爵領を分割
- 1577年 00:00|カリヤ諸島/スペイン|||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Juan de Leiva」(~1579年)
- 1577年 00:00|モロッコ|||<就任>タンジール暫定首長「ペドロ・ダ・シルヴァ」(1回目~同年)⇒首長「トウアルテ・デ・メセス」(2回目~1578年)
- 1577年 00:00|モリタニア/ポルトガル|||<就任>ポルトガル領アルギン長官「アントニオ・デ・カウアーリョ」
- 1577年 00:00|モロッコ/ポルトガル|||アルジラをポルトガルが再支配
- 1577年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル|||<就任>カーボベルデ諸島のコレクター/治安判事「クリストファー・ソアレス」(~1579年)
- 1577年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル|||<就任>プリアト・ナリア長官「the Captains-donatory of Angra」(~1655年)
- 1577年 03:00|ブラジル|||ハア、リオデジャネイロ総督府を合一し、リオデジャネイロを首都と定める
- 1577年 04:30|ベネチア|||カラカ盆地を中心とするベネチア中央部がほぼ平定される
- 1577年 05:00|ジャマイカ/スペイン|||<就任>スペイン領サンティアゴ 総督「イニコ・フエンテス」⇒「ロドリゴ・ヌニェス・デ・ラ・ペーニャ」(~1578年)
- 1577年 06:00|ホンジュラス/スペイン|||<就任>コマヤグア県総督「アロンソ・デ・コントレラス・ケバラ」(~1582年)
- 1577年 06:00|エルサルバドル/スペイン|||<就任>サンサルバドル一般市長「イグナチオ・コタ」(~1579年)
- 1577年 06:00|アメリカ/スペイン|||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ペドロ・メネンデス・デ・マルクス」(~15940709)
- 1577年1月1日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン|||<就任>スペイン領サントミンゴ 総裁・総司令官「グレゴリオ・ゴンザレス・デ・ケウカ」(~15810413没)
- 1577年1月3日-09:00|日本|三重県度会郡玉城町|天正4年12月15日|北畠信雄が伊勢田丸城の普請現場で津田一安(織田家臣)を誘殺
- 1577年1月7日-09:00|日本|石川県七尾市|天正4年12月19日|上杉謙信、七尾城攻め/畠山春王丸と勝敗つかず
- 1577年1月9日-09:00|日本|愛知県豊川市|天正4年12月21日|三河国砥鹿社の本宮の社殿造立
- 1577年1月18日-01:00|イタリア|||グェスパー・ノ・ゴンザガがサビネ・タ公になりサビネ・タ公国成立
- 1577年1月18日-09:00|日本|三重県いなべ市|天正4年12月30日|瀧川一益が伊勢員辨郡金井城主種村秀信を自刃させる/瀧川一益が伊勢浜田城主田原元綱を戦死させ、田原重綱が美濃へ逃亡
- 1577年1月19日-09:00|日本|秋田県男鹿市|天正5年|<移転>出羽松山領主「安東愛季」⇒出羽脇本(~天正15年9月1日(15871002)病死)
- 1577年1月19日-09:00|日本|茨城県下妻市|天正5年|茨城大宝八幡神社本殿を下妻城主多賀谷下総守尊経が建立
- 1577年1月19日-09:00|日本|広島県三原市|天正5年|小早川隆景、父母の年忌を弔うため、宗光寺を新高山城南麓に建立
- 1577年1月19日-09:00|日本|福井県小浜市|天正5年|<移転>若狭10万石「丹羽長秀」(近江佐和山城⇒若狭小浜)
- 1577年1月19日-08:00|中国|||明・万暦5年|四川省の役人だった潘允端が両親のために贈った庭園「豫園」完成(中国上海市)
- 1577年1月19日-09:00|日本|徳島県美馬市|天正5年1月|長曾我部元親の意を受けた馬路城主大西上野亮頼包は中島城主久米刑馬と共に謀殺、重清城を奪取
- 1577年1月20日-09:00|日本|京都府京都市|天正5年1月2日|<死去>陰陽家土御門家30代目当主・土御門有脩
- 1577年2月3日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正5年1月16日|<死去>兵法家・上泉信綱
- 1577年2月9日-09:00|日本|山梨県|天正5年1月22日|甲斐国甲府城主武田勝頼が北条氏政の妹と結婚し第2回甲相同盟成立

1580迄 (2027件)

- 1577年2月11日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「デ・イゴ・デ・アルティエタ・リナス・イ・ウケス」(~1589年)
- 1577年2月12日-01:00|オランダ| |||ネーデルラントのドン・ファン総督が、永久法令を發布
- 1577年2月13日-09:00|日本|三重県津市|天正5年1月26日|春奈良東門院の僧・北畠具教弟が還俗し北畠具親と名乗って、吉原氏を頼り伊勢森城に挙兵(年内に鎮圧される)
- 1577年2月19日-09:00|日本|大阪府|天正5年2月2日|和泉国中の門徒衆も蜂起し貝塚や千石堀、畠中などに籠る
- 1577年2月19日-09:00|日本|和歌山県|天正5年2月2日|本願寺に協力していた紀伊の雑賀三織衆と根来寺の杉の坊が信長軍へ内応
- 1577年2月26日-01:00|スウェーデン| |||<死去>前スウェーデン王国国王「エリク14世」牢獄でヒ素により暗殺される/43歳
- 1577年3月-01:00|フランス| |||第6次ウグノー戦争が始まる
- 1577年3月2日-09:00|日本|和歌山県|天正5年2月13日|<雑賀一揆>畠山貞政が紀伊の雑賀、根来衆と結んで織田信長に対して挙兵
- 1577年3月5日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正5年2月16日|夜、和泉の貝塚で願泉寺を拠点に海辺に船を浮かべて織田方を待ち構えていた門徒衆が、織田方の大軍を見て逃げ出す/織田信忠は、和泉貝塚の寺や民家を全て焼く
- 1577年3月6日-09:00|日本|大阪府貝塚市|天正5年2月17日|<織田信長の雑賀攻め>織田信長軍が雑賀衆の前衛拠点がある貝塚を攻撃したが、守備兵は前夜のうちに海路紀伊へ退却していたので空振り
- 1577年3月10日-09:00|日本|和歌山県|天正5年2月21日|細川藤孝、和泉国長尾に於ける合戦で「先駆」として敵を撃破
- 1577年3月11日-09:00|日本|宮崎県東臼杵郡門川町|天正5年2月22日|土持氏が伊東方の門川城を攻撃(門川城の米良四郎右衛門が正月に、小姓の高妻孫三郎を折檻、これを恨みに思った孫三郎とその父の治部丞が、土持氏を頼ったのが遠因)/日智屋地方の諸衆、これを防ぎ、乱は終結
- 1577年3月17日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正5年2月28日|<織田信長の雑賀攻め>織田信長は淡輪に本陣を進め、中野城は織田方の誘降工作に応じて開城/決起の大將畠山貞政は逃亡
- 1577年3月20日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正5年3月1日|<雑賀総攻撃>織田信長、明智光秀、滝川一益、蜂屋頼隆、丹羽長秀、細川藤孝、筒井順慶らをやって、一揆の大將雑賀党鈴木孫一の居城を攻める
- 1577年3月21日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>アンガラド・ナトリア長官「Manuel Corte Real」
- 1577年3月21日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アンガラド・ナトリア長官「Vasco Annes Corte Real2世」(~1581.11死去)
- 1577年3月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>パーテンド・ウルハ辺境伯「カール2世」
- 1577年4月1日-01:00|サマリナ| |||<就任>サマリナ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・パ・オ・デ・イ・ジュリアーノ」「ジ・オ・ロ・ヴ・イ・コ・デ・イ・マ・ット・オ・ベ・ルツツィ」
- 1577年4月3日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正5年3月15日|<織田信長の雑賀攻め>鈴木孫一・土橋若大夫・粟村三郎大夫ら7人は連署して誓紙を差し出し降伏/信長は朱印状を出して赦免/織田信長は和泉佐野に砦を築き、杉坊らに雑賀の定番を命じる
- 1577年4月4日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天正5年3月16日|駿河国府中浅間社の造営完成
- 1577年4月5日-09:00|日本|山形県天童市|天正5年3月17日|<天童城の戦い>出羽の天童城で最上義光と天童頼貞・天童頼澄が戦い天童父子が勝利
- 1577年4月10日-09:00|日本|兵庫県たつの市|天正5年3月22日|宇喜多氏が播磨国境を越え、竜野城(赤松広秀)を攻撃
- 1577年4月14日-09:00|日本|京都府京都市|天正5年3月26日|陰陽師・勘解由小路在綱、土御門(久脩)に復姓し家督継承
- 1577年4月16日-09:00|日本|徳島県阿南市|天正5年3月28日|<荒田野合戦>三好長治、細川真之と阿波荒田野で戦い敗死
- 1577年4月18日-09:00|日本|徳島県三好市|天正5年4月|長宗我部元親、池田白地城(大西覚用)を攻略
- 1577年4月18日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正5年4月|足利城の長尾顕長が免鳥城に攻め込み城を落としたが佐野宗綱によって奪い返された
- 1577年4月29日-09:00|日本|岡山県和気郡和気町|天正5年4月12日|宇喜多直家により日笠青山城が落城
- 1577年5月-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「ハサン3世パシャ」(1回目~1580年)
- 1577年5月-01:00|フランス| |||王弟「アンジュー公」フランソワ率いるフランス王軍、「新教派」の拠点ラ・シャリテ・シュール・ロワール(フランス中央ブルージュの東方)を陥落させる
- 1577年5月3日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ暫定総督「リス・デ・オリオ」(~12.2)
- 1577年5月3日 04:00|ハラカアイ/スペイン| |||<死去>スペイン領ヌエバ・アンダルシア総督代行「デ・イゴ・オルティス・デ・サラテ・イ・メンディエタ」
- 1577年5月3日 04:00|ハラカアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルシア総督「ファン・デ・ガライ」(~15830320没)
- 1577年5月18日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正5年5月|<所領安堵>播磨国置塩城1万石「赤松則房」羽柴秀吉に降伏
- 1577年5月23日-09:00|日本|岡山県和気郡和気町|天正5年5月6日|天神山城主「浦上宗景」の嫡男与次郎、宇喜田直家により毒殺される
- 1577年5月31日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正5年5月14日|播磨国英賀に上陸した毛利軍が、御着城主小寺政職とその家老黒田官兵衛孝高の迎撃を受けて大敗
- 1577年6月-01:00|フランス| |||王弟「アンジュー公」フランソワ率いるフランス王軍、「新教派」の拠点イヴワール(フランス中南部)を陥落させる

1580迄 (2027件)

- 1577年6月2日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督「フランシスコ・デ・カレーニョ」(~15790427没)
- 1577年6月2日-09:00|日本|石川県七尾市|天正5年5月16日|能登熊木城が長綱連に攻められ斎藤帯刀は降伏、七杉小伝次は自刃、三宝寺平四郎、内藤久弥は宝幢寺で誅殺された;その後長綱連は上杉家臣藍浦長門の守る能登富木城を攻め長門を自刃に追い込む
- 1577年6月4日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第85代ドージェ(元首)「アルヴ ィーゼ・モリエーニ」1世
- 1577年6月9日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>ブライトナリア長官「Antao Martins da Camara」
- 1577年6月11日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第86代ドージェ(元首)「セバスティアノ・ヴァニエリ」(~15780303死去)
- 1577年6月13日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・サルマン・ジヤビ」(~15830514)
- 1577年6月16日-09:00|日本| ||天正5年6月|反北条同盟成立(常陸の佐竹義重・宇都宮・那須・下総の結城晴朝らが結束)
- 1577年6月16日-09:00|日本| ||天正5年6月|北條氏政は安房国館山城主里見義弘と講和し、氏政の娘が里見義頼に嫁したが之れも一時の小康で両者が融和した事はなかった
- 1577年6月16日-09:00|日本|佐賀県西松浦郡有田町|天正5年6月|龍造寺が松浦氏の唐船城を攻撃、占領
- 1577年6月16日-09:00|日本|宮崎県串間市|天正5年6月|南の守りの要である櫛間城が島津忠長によって攻め落とされた
- 1577年6月16日-09:00|日本|大分県大分市|天正5年6月1日|大友義統、豊後国作原八幡宮を造営
- 1577年6月20日-09:00|日本|奈良県奈良市|天正5年6月5日|織田信長の命を受けて筒井順慶により多聞山城(大和国)4階櫓が破却される
- 1577年6月25日-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア・ハン国第16代ハン「テグ・レト1世キレ」
- 1577年6月25日-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国第17代ハン「メフメト2世キレ」2世(~1584.5死去)
- 1577年7月4日-09:00|日本|宮崎県串間市|天正5年6月19日|伊東義祐と祐兵、櫛間に攻め入るが、島津側の援軍に敗れる
- 1577年7月5日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリニア・ペイルベ・イリ「ハサン・パシャ」(~1578年)
- 1577年7月5日-09:00|日本|長崎県大村市|天正5年6月20日|<萱瀬城の戦い>龍造寺隆信が南肥前へ侵攻し大村氏の萱瀬城を攻撃、大村純忠を降伏させる
- 1577年7月7日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正5年6月22日|織田信長、13ヶ条の定書を発布し安土城下を楽市とする
- 1577年7月9日-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<就任>ルウェー総督「ルドヴィグ・ムク・ティル・ノルト」(~15830430)
- 1577年7月16日-09:00|日本|千葉県|天正5年7月|<房相一和>北条氏政が東上総へ侵攻、北条氏規が海路から西上総へ上陸、里見領を侵攻。里見義弘が降伏、里見家と同盟が結ばれる/真里谷は里見領、その北の池和田は北条領となる/また氏政の娘 鶴姫(龍寿院)が里見義弘の嫡男里見義頼に嫁ぎ、里見家と婚姻関係となる
- 1577年7月30日-01:00|ポーランド/トルコ/ロシア| |||オスマン・ポーランド条約が調印される
- 1577年8月1日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ヨラン・コルソ・ホーイア・ゲネス」(1回目~1579年)
- 1577年8月2日-09:00|日本|石川県鳳珠郡穴水町|天正5年7月18日|長綱連が穴水城を攻めると、上杉家の重臣・能登甲山城主の平子和泉は、轡田肥後・唐人式部を穴水城救援に向かわせたが、これを長連龍が水軍を率いて迎撃し、乙ヶ崎合戦で大勝し、轡田肥後・唐人式部・板倉伝右衛門(後に大聖寺城において討死)は船に乗り遅れ泳いで穴水城に逃げ込んだ
- 1577年8月3日-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||フィンランド大公をスウェーデン王が兼ねる(~18090106)
- 1577年8月7日-09:00|日本|石川県七尾市|天正5年7月23日|<死去>能登国主「(能登七尾島山氏第12代当主) 島山春王丸」病死滅亡
- 1577年8月14日-09:00|日本|石川県七尾市|天正5年閏7月|<第2次七尾城の戦い>謙信は再び能登に出陣/統連は、奪い返した各地の城を放棄して全兵力を以って七尾城に籠もった/七尾城で慌てて再び籠城戦の準備がなされていたとき、穴水城の長沢光国と甲山城主の轡田肥後が七尾に攻め寄せたが、逆に敗退
- 1577年8月14日-09:00|日本|広島県廿日市市|天正5年閏7月|毛利輝元・吉川元春・小早川隆景、大檀那として、厳島社の輪蔵1宇を再興
- 1577年8月15日-09:00|日本|福島県白河市|天正5年閏7月2日|<白川城合戦>芦名氏の支援を受けた白河結城義親が佐竹義重勢を撃破/佐竹義重は白河城を出て赤館・寺山両城に退いた
- 1577年8月18日-09:00|日本|茨城県結城市|天正5年閏7月5日|北條氏政は下総国結城城主結城中務大輔晴朝を攻め破って降伏せしめ之れを攻略
- 1577年8月22日-09:00|日本|茨城県結城郡|天正5年閏7月9日|<結城城合戦>(5日~)結城晴朝、北条軍先鋒に城外で打ち破られ数百人が死傷する被害を出したが撃退
- 1577年9月2日-09:00|日本|茨城県常総市|天正5年閏7月20日|飯見大膳は鶴料理に事を寄せ、主君下総国豊田城主豊田安芸守四郎治親(初名政高)を自宅に招き、酒宴の最中之れを殺害して多賀谷重経に降参したが重経は之れを許さず、主殺しの罪人として捕え縛首に処刑し、多賀谷重経は豊田、石毛の両城を攻略し豊田氏は赤須將基より二十代にして滅亡
- 1577年9月2日-09:00|日本|香川県仲多度郡多度津町|天正5年閏7月20日|<元吉城合戦>毛利軍、讃岐国元吉城を攻略/長宗我部元親の兵が毛利輝元の党讃岐元吉城の三好遠江を攻め、小早川隆景等が元親の兵を破る
- 1577年9月4日-09:00|日本|奈良県奈良市|天正5年閏7月22日|多聞山城(大和国)の破却在概ね完了
- 1577年9月12日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天正5年8月|<交替>日向佐土原領主「伊東義祐」隠居⇒嫡孫の「伊東義賢」一時的に日向国から退去

1580迄 (2027件)

- 1577年9月13日-09:00|日本|熊本県山鹿市|天正5年8月2日|肥後・龍造寺軍、隈部親永の要請により、山鹿郡長坂城(赤星氏)を攻略
- 1577年9月17日-01:00|フランス| || |フランスでベルギーと和約が結ばれて第6次ユグノー戦争が終わる
- 1577年9月18日-01:00|フランス| || |フランス王アンリ3世「ホワティエ勅令」を發布①「新教派」の信仰の自由が認められるのは、ハイ管区ごと1都市のみとする。「8安全保障都市」が認められるのは6年間のみとする
- 1577年9月19日-09:00|日本|石川県|天正5年8月8日|織田信長、柴田勝家を総大将として先陣に佐久間盛政、佐々成政、滝川一益ら尾張衆、これに続き氏家直昌、不破光治、金森長近、斎藤長龍ら、さらには前田利家と羽柴秀吉が後軍となり、北国軍(上杉謙信への備え)を編成して加賀へ進攻
- 1577年9月21日-09:00|日本|岡山県和気郡和気町|天正5年8月10日|宇喜多直家、天神山城「浦上宗景」を攻略
- 1577年9月25日-01:00|フランス| || |<就任>ペリ公「フランス」アンジュ公(15840610死去)アンリ2世の四男
- 1577年9月27日-02:00|ルーマニア| || |<死去>ワキア総督・領主「アレクサンドル2世ミシヤ」
- 1577年9月27日-02:00|ルーマニア| || |<就任>ワキア公国摂政「キスリーン・サルヴァツ」(~1583年)
- 1577年9月27日-09:00|日本|和歌山県海南市|天正5年8月16日|井ノ松原において鈴木孫一らの雑賀衆は日高郡の国人・地侍の応援を得て南郷の土豪稲井秀次・岡本弥助らと戦い、これを撃破/信長は佐久間信盛父子を大将に70,000~80,000人の軍勢を動員して再び雑賀を攻めたが、制圧に失敗
- 1577年9月28日-09:00|日本|石川県羽咋郡宝達志水町|天正5年8月17日|<末森城合戦>上杉軍、畠山方の末森城攻略し能登を平定
- 1577年9月28日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|天正5年8月17日|松永久秀・松永久通、天王寺砦を引き払い大和信貴山城に立て籠もり、織田信長に謀反
- 1577年10月1日-01:00|サマリノ| || |<就任>サマリノ共和国執政「ピエール・マッテオ・ベルツィ」 「ウインチェツォ・ジヤニニ」
- 1577年10月3日-01:00|デンマーク| || |彗星が現れティコ・ブラーエが距離を測定
- 1577年10月6日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正5年8月25日|武田勝頼兵2万で横須賀に出陣/徳川家康は信康と共に陣出してこれを撃破
- 1577年10月10日 00:00|ポルトガル| || |<死去>ウエウ公「マリア」
- 1577年10月12日-09:00|日本|岡山県和気郡和気町|天正5年9月|<失領>備前天神山領主「浦上宗景」宇喜多直家に追放される
- 1577年10月19日-01:00|イタリア| || |<就任>ジェノヴァ共和国「ジェンジョ・アンニバチスタ・ジエンティレ・ピグノロ」(~15791019)
- 1577年10月24日-09:00|日本|広島県三原市|天正5年9月13日|井上春忠、大檀那として、賀茂郡和木に八幡宮社殿を再興
- 1577年10月26日-09:00|日本|石川県七尾市|天正5年9月15日|<第2次七尾城の戦い>遊佐統光、仲間の温井景隆や三宅長盛兄弟らは上杉謙信に内応、十五夜の月の日に七尾城内で反乱を起こし、城門を開けて上杉軍を招き入れた/長統連とその子・長綱連、さらに綱連の弟・長則直や綱連の子・竹松丸と弥九郎ら長一族100余人はことごとく討たれた/七尾城は謙信の手に落ち能登も完全に謙信の支配下に入った
- 1577年10月28日-09:00|日本|石川県羽咋郡宝達志水町|天正5年9月17日|上杉謙信は加賀と能登間に立地する長統連・畠山綱連軍の末森城を攻略し、山浦国清と斎藤朝信を配した/七尾畠山氏は滅亡
- 1577年11月2日-09:00|日本|千葉県長生郡睦沢町|天正5年9月22日|<勝見城合戦>北条軍が勝見城攻略
- 1577年11月3日-09:00|日本|石川県白山市|天正5年9月23日|<手取川の戦い>加賀国の手取川において上杉謙信軍が柴田勝家率いる織田信長軍を撃破/織田軍は、鯉江貞利をはじめ1000人余りの戦死傷者、さらに増水した手取川で多数の溺死者を出す大敗
- 1577年11月5日-09:00|日本|石川県鳳珠郡能登町|天正5年9月25日|能登珠洲郡の松波城将の松波義親、長沢光国率いる上杉謙信軍に包囲されて寡兵にて戦うも敗れ自害、松波城は落城後廃城
- 1577年11月9日-09:00|日本| || |天正5年9月29日|西空に彗星が現れる
- 1577年11月9日-09:00|日本|京都府京都市中京区|天正5年9月29日|<二条御新造竣工>信長の二条新第竣工. 信長政権の京都の政庁となる
- 1577年11月10日-09:00|日本|奈良県香芝市|天正5年10月1日|細川藤孝・明智光秀・筒井順慶ら、大和国片岡城の森秀光(松永被官)を攻略し敗死させる
- 1577年11月10日-09:00|日本|奈良県天理市|天正5年10月1日|調略により柳本城の落城、松永金吾は柳本城外で戦死
- 1577年11月12日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|天正5年10月3日|織田信忠率いる織田勢(佐久間・羽柴・明智など)が大和信貴山城(松永久秀が織田信長に叛旗を翻し籠城中)を攻囲、城下へ火を放つてことごとくを灰にした
- 1577年11月14日-09:00|日本|京都府京都市|天正5年10月5日|永原の佐久間与六郎盛明の元にいた松永久秀の二子を京都六條河原に處刑
- 1577年11月18日-02:00|ルーマニア| || |<就任>モルダヴィア対立総督「イアン4世ホースュー」(~12.31)
- 1577年11月19日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|天正5年10月10日|<信貴山城の戦い>織田信忠の許可を得て筒井順慶は前線に立ち、関の声を上げ攻め上がった/松永軍は弓と鉄砲で抵抗、門からも討つてでたりし筒井隊は一度は押し返された/森好久が率いる鉄砲衆200名が反乱を起こし天守に近い三の丸付近から一斉に火の手が上がった/松永久秀(68歳)・久通(35歳)父子は自害/信貴山城の四層の天守櫓は、この時に炎上
- 1577年11月24日-03:30|イラン| || |<死去>サファヴィー朝シャー「イスマイル2世」(誕生155年)
- 1577年11月25日-01:00|スペイン| || |<死去>ペラガア公「フェリパ・コロン・デ・トルド」
- 1577年11月25日-01:00|スペイン| || |<就任>ペラガア公「クリストバル・コロン・デ・カルダナ」(~1583年)
- 1577年11月29日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天正5年10月20日|小山城に入っていた武田勝頼が大井川を越

1580迄 (2027件)

えて撤退

- 1577年12月1日-09:00|日本|静岡県袋井市|天正5年10月22日|馬伏塚城に布陣していた家康も撤退
- 1577年12月2日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正5年10月23日|羽柴秀吉が中国攻略のため京都を進発。その後、播州に入り、黒田孝高(御着城の小寺政職の家老)から姫路城を譲られる
- 1577年12月3日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「ファン・デ・トレス・デ・ベライ・アラゴン」(1回目~15780915)
- 1577年12月8日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天正5年10月29日|<靱井城合戦>織田軍明智光秀・細川藤孝が靱井綱重の嫡男・福泉綱利が城主の安田城(靱井城)攻略、靱井綱利、自害/<安口城合戦>織田軍、靱井綱重の次男・靱井綱正の守る安口城攻略、靱井綱重、敗走
- 1577年12月10日-09:00|日本| ||天正5年11月|常陸の佐竹氏と陸奥の芦名氏が和睦
- 1577年12月10日-09:00|日本|千葉県君津市|天正5年11月|北條氏政が上総国の三船表に於て里見義弘と戦ったが敗北、帰国途中、常陸国筑波郡小田城主梶原美濃守景国を攻めるが抜けず筑波辺りに放火して引き払い筑波の知足院などが焼失
- 1577年12月10日-09:00|日本|兵庫県朝来市|天正5年11月1日|<岩洲城の戦い>羽柴秀長が南但馬岩州城攻め落とす
- 1577年12月13日 00:00|イギリス| ||トレヴィック船長が世界周航に出発(-1580)
- 1577年12月13日-09:00|日本|兵庫県朝来市|天正5年11月4日|<竹田城の戦い>(2日~)羽柴秀長が南但馬竹田城を攻め落とす/羽柴秀長を竹田城に入れる
- 1577年12月15日-09:00|日本|大阪府大阪市|天正5年11月6日|<第二次木津川口海戦>毛利水軍は600余艘を繰り出して再び木津川河口に現れた/信長軍は九鬼嘉隆の大船を中心として立ち向かったが、毛利水軍はまたも焙烙火矢で攻撃を繰り返した/嘉隆は淡輪での戦いと同様に、大船を相手の大将が乗っていると思われる舟に近づけては大砲を打ち込んで撃沈するという方法で相手を打ち崩し、ついには毛利水軍の舟数百艘を木津沖に追い返すことに成功
- 1577年12月26日-09:00|日本|徳島県海部郡海陽町|天正5年11月17日|<阿波海部城合戦>長曾我部元親、海部友光に勝利
- 1578年-08:00|フィリピン| ||<死去>マギンタナ王国スルタン「Datu Bangkaya」
- 1578年-08:00|インドネシア/ポルトガル| ||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Diogo de Azambuja」(1期目~1582.10)
- 1578年-08:00|インドネシア| ||<即位>ドミンゴス「Dom Henrique」(~1581年)
- 1578年-08:00|モンゴル| ||モンゴルのアルタンがラマ教に帰依し、ダライラマの称号を授与
- 1578年-07:00|タイ| ||<即位>マンラーイ朝ラーナー王ノヤターミンソ(~1607年)
- 1578年-05:30|インド| ||<死去>マイソール王国(オデヤ朝)国王「チャマ・ラーン」5世
- 1578年-05:30|インド| ||<即位>マイソール王国(オデヤ朝)国王「ラージャ・オデヤ」1世(~16170620死去)
- 1578年-04:00|ジョージア| ||<復位>カルトリ王「シモン」1世(~1599年)
- 1578年-04:00|ジョージア/トルコ| ||アブ・ハジはオスマン帝国のスズ部(名目上は1767年から)/ゲリア公国、ミンゲレリアはオスマン帝国の宗主国下(名目上1767年から)
- 1578年-04:00|ジョージア/トルコ| ||カルトリ、カヘティはオスマン帝国の家臣(⇒1590年にペルシャに割譲~1604年);イメレティはオスマン帝国の家臣
- 1578年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンテ・イア公「エルモオ・ティエロ」(~1580年)
- 1578年-01:00|ロシア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国トリポリリア・ベイルベ「イメリ「ハダール・パシャ」(2回目~1584年)
- 1578年-01:00|スペイン/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Dionisio Pereira」(~1580年)
- 1578年-01:00|イタリア| ||ヴェネツィア共和国元首ニコラ・ポネッティ就任(-1585)
- 1578年-01:00|ロシア/トルコ| ||トルコ人がベンガジに侵入し、トリポリから支配
- 1578年-01:00|ポーランド/リトアニア| ||ポーランド・リトアニア共和国で最高裁判所が設置
- 1578年 00:00|モロッコ| ||<就任>タンジール暫定首長「ベド・ロダ・シルヴァ」(2回目~9月)
- 1578年 04:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>ラプラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官代行「ファン・デ・マティエンソ」(~1579年没)
- 1578年 05:00|パナマ/スペイン| ||<死去>パナマ大審問院総督・長官「ガブリエル・デ・ロアルテ」
- 1578年 05:00|ジャマイカ/スペイン| ||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「ルカス・テルバジェ・アルバラド」(1回目~1582年)
- 1578年 06:00|カナダ/フランス| ||<就任>フランス領カナダ副王「トロユ・デ・メグエ」(~1601年)
- 1578年 06:00|ホンジュラス| ||ホンジュラス南東部山岳地帯に金鉱発見
- 1578年1月5日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正5年11月27日|<福原城合戦>黒田孝高・竹中半兵衛により宇喜多方の福原城(城主福原助就)が落城/羽柴秀吉は福原城の城兵250を切り捨てる
- 1578年1月6日-08:00|インドネシア/ポルトガル| ||<設立>ティドレ島ポルトガル植民地(~1605.5)
- 1578年1月6日-09:00|日本|愛知県新城市|天正5年11月28日|大中戸用慶ら、三河国黒田の諏訪社社殿を建立
- 1578年1月8日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正5年12月1日|黒田官兵衛孝高が播磨佐用郡佐用城を陥し、城主福原馬允則尚が高尾山圓福寺で自刃
- 1578年1月9日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正5年12月2日|未明、播磨上月城の城内から全兵力が突出して血戦/敵味方の死傷者合わせて千に及ぶ
- 1578年1月10日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正5年12月3日|<上月城合戦>織田軍羽柴秀吉、赤松政範の播磨磨七条城(上月城)を攻略し尼子勝久・山中幸盛に守備させる/政範はこの戦いで自害し、家老の高島正澄は殉死した。秀吉は城兵の降伏を許さず、ことごとく首をはね、城内の子どもも処刑した
- 1578年1月12日-09:00|日本|兵庫県たつの市|天正5年12月5日|<龍野城合戦>織田軍羽柴秀吉の軍勢が播磨・播磨龍野城(赤松広秀)攻略

1580迄 (2027件)

- 1578年1月14日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正5年12月7日|羽柴秀吉、備前国宇喜多氏の播磨国七条城(上月城)を攻略し尼子勝久・山中幸盛に守備させる
- 1578年1月14日-09:00|日本|宮崎県小林市|天正5年12月7日|伊東方の野尻城が島津家へ寝返る
- 1578年1月15日-09:00|日本|宮崎県小林市|天正5年12月8日|島津軍、日向・戸崎城を攻め、城主漆野豊前、城を放棄
- 1578年1月16日-09:00|日本|宮崎県小林市|天正5年12月9日|福永丹後守らの内応により野尻、戸崎、紙屋、富田の諸城が陥落、伊東義祐は大友家を頼って豊後に逃走
- 1578年1月16日-09:00|日本|宮崎県日南市|天正5年12月9日|日向・島津義久・義弘、飢肥城を攻略
- 1578年1月20日-01:00|ベルギー/スペイン| |||<就任>ベルギー総督「マティアス・エルツヘルツォーク・フォン・オーストラリア」(~15800315)
- 1578年1月20日-09:00|日本|宮崎県|天正5年12月13日|伊東義祐、祖母ヶ谷に到着/この日、一族の伊東大炊助、島津氏に攻められ自刃/この頃、三納地頭飯田肥前も島津側にとらえられ自刃
- 1578年1月31日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ公使「ハルム公ファルネーゼ」の援軍を得てネデルラント軍をガングールの戦いで破る
- 1578年2月4日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ディエゴ・ガルシア・デ・バルベルテ」(~15890721没)
- 1578年2月6日-09:00|日本|愛知県常滑市|天正5年12月30日|尾張国熊野村新熊野社の社殿が再建される
- 1578年2月7日-09:00|日本|秋田県仙北市|天正6年|<交替>出羽角館領主「戸沢盛重」⇒「戸沢盛安」(⇒天正18(1590)年3月10日、44300石安堵~天正18年6月6日(15900707)死去)
- 1578年2月7日-08:00|中国| |||明・万暦6年|李時珍の薬典「本草綱目」52巻完成(1590年刊行開始、1596年完結)
- 1578年2月7日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・光興1年|大越後黎朝4代・世宗が光興と改元(-1599)
- 1578年2月7日-07:00|ベトナム| |||大越莫朝・延成|大越莫朝の英宗・莫茂治が延成と改元(~15860217)
- 1578年2月7日-09:00|日本|徳島県|天正6年1月|<就任>阿波・讃岐二ヶ国領主「十河存保」(三好長治の弟)阿波勝瑞城入り(~天正12(1584)年6月失領)
- 1578年2月7日-09:00|日本|福島県南相馬市|天正6年1月|<交替>陸奥小高領主「相馬盛胤」隠居⇒嫡男の「相馬義胤」(⇒天正18(1590)年12月7日48000石安堵)
- 1578年2月8日-09:00|日本|宮崎県延岡市|天正6年1月2日|日向松尾城主土持親成が島津氏に帰順を申し出て了承される
- 1578年2月9日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア対立総督「アレクサンドル5世ホーシュー」(~3. 13没)
- 1578年2月11日-03:30|イラン| |||<即位>サファヴィー朝シャー「ムハンマド・ホターバンデ」(~15871001退位~1595年死去)
- 1578年2月12日-09:00|日本|奈良県天理市|天正6年1月6日|<破却>「龍王山城」(奈良県天理市柳本町(北側の城)藤井町(南側の城))松永久秀が滅び無主となった
- 1578年2月20日-09:00|日本|奈良県|天正6年1月14日|筒井順慶、箸尾為綱と和解
- 1578年2月21日-01:00|アントワープ| |||<就任>アントワープ公国共同大公「ウルヘルシ教ミカエル・ジエロニモス」(~15790823)
- 1578年3月-01:00|スペイン/イギリス| |||イギリスのドレイク艦隊がスペインのガレオン船を襲撃
- 1578年3月3日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ウエネツィア共和国第86代ドージェ(元首)「セバスティアノ・ヴェニエ」
- 1578年3月7日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正6年1月29日|近江国安土の弓衆福田与一宿より出火/織田信長、尾張国に妻子を置く弓衆の私宅を放火・破却
- 1578年3月9日-09:00|日本|徳島県三好市|天正6年2月|長宗我部元親、阿波・白地城(大西覚用)を攻略
- 1578年3月9日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正6年2月上旬|宇喜多直家、5千の兵力を上月城(城兵は5百程度)に投入し、攻撃/尼子勢(尼子勝久、山中鹿介ら)は羽柴秀吉の命により上月城を捨て、退却/宇喜多直家、上月村出身の上月一郎景貞を在番とし、城兵2千を預ける
- 1578年3月11日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ウエネツィア共和国第87代ドージェ(元首)「ニコロ・ダ・ポロンテ」(~15850730死去)
- 1578年3月11日-09:00|日本|滋賀県高島市|天正6年2月3日|<交替>近江高島(新庄城)「磯野員昌」(織田家臣)上意に背き、処罰を怖れて逐電⇒<拝領>甥の「織田信澄」(信長の弟織田信行の長男⇒同年大溝城築城移転)
- 1578年3月11日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天正6年2月3日|樺沢城が上杉景勝方に陥落/北条方は小田原へ帰陣
- 1578年3月12日 00:00|イギリス| |||スコットランド王ジェームズ6世が親政を開始
- 1578年3月12日-09:00|日本|愛知県豊田市|天正6年2月4日|土主彦五郎・宮下五郎衛門、三河国中当村鎮守社を再建
- 1578年3月13日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア対立総督「アレクサンドル5世ホーシュー」
- 1578年3月13日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>サンジェル島ドナリア長官「Manuel da Camara」
- 1578年3月13日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サンジェル島ドナリア長官「Rui Goncalves da Camara3世」(~1601年死去)
- 1578年3月17日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド大法官「クラリス卿ジョン・リヨン」
- 1578年3月28日-09:00|日本|愛知県豊田市|天正6年2月20日|松井久助夫婦、三河国高蔵村八幡社の社殿を建立
- 1578年3月29日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「アール伯ジョン・シュアト」(~15790424死去)
- 1578年3月30日-09:00|日本|宮崎県|天正6年2月22日|米良四郎右衛門尉、伊東残存勢力を率いて県土持氏を破る
- 1578年3月31日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正6年2月23日|<三木合戦>別所長治が播磨三木城で謀反、織田陣営から離反/東播磨の諸豪族の大半がこれに同調し、別所氏の本拠・三木城の7500を中心に籠城戦の構えを取る
- 1578年4月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院暫定総督・長官「ファン・ロペス・セバダ」(~1580年)
- 1578年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「イッポリト・ゴンベルティニ」(「フランチェスコ・ジャンニニ」)
- 1578年4月7日-09:00|日本|佐賀県|天正6年3月|肥前・有馬晴信、龍造寺隆信に降伏
- 1578年4月7日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|天正6年3月|肥前佐嘉領主「龍造寺隆信」は有馬鎮純の松岡城を降して肥前の統一を完成

1580迄 (2027件)

- 1578年4月9日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天正6年3月3日|長倉勘解由左衛門残兵を集め、石城を占拠
- 1578年4月12日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ロウレンソ・ダ・ウエイガ」(~15810617没)
- 1578年4月15日-09:00|日本|静岡県藤枝市|天正6年3月9日|松平家忠、大井川を渡河し武田側の駿河国田中城を攻めて外曲輪を破った
- 1578年4月15日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天正6年3月9日|<死去>丹波黒井城主・萩野(赤井)直正(49)黒井城内で病死
- 1578年4月16日-08:00|ブルネイ/スペイン| |||フィリピンのフランシスコ・デ・サンテ・ピコン総督の下でスペインがブルネイの首都を占領(~15780626)
- 1578年4月19日-09:00|日本|新潟県|天正6年3月13日|<死去>関東管領「上杉謙信」春日山城にて(享年49)/9日に倒れてからの昏睡状態により、死因は脳溢血との見方が強い
- 1578年4月20日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年3月14日|<御館の乱>上杉景勝、上杉家部将柿崎晴家(景虎派)を謀殺
- 1578年4月21日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年3月15日|<御館の乱>上杉景勝が、上杉謙信の遺言と称して、春日山城の実城(本丸)、金蔵、兵器蔵を占拠
- 1578年4月25日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天正6年3月19日|穴山信君が小山城で徳川勢を撃退
- 1578年4月27日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正6年3月下旬|羽柴秀吉が上月城を再び攻撃し宇喜多直家から奪還/再び尼子勝久、山中鹿介らが入城
- 1578年5月7日-09:00|日本|香川県観音寺市|天正6年夏|土佐の長宗我部元親勢が讃岐藤目城(斎藤師郷)を攻め落とす
- 1578年5月7日-09:00|日本|香川県三豊市|天正6年夏|土佐の長宗我部元親勢が讃岐本篠城(財田常久)を攻め落とす
- 1578年5月7日-09:00|日本|兵庫県加古川市|天正6年4月1日|別所軍が近辺の細川庄領主の下冷泉家当主冷泉為純・為勝父子と別府城の別所重棟を攻撃/黒田官兵衛が迎え撃ち為純父子は討死、重棟は撃退
- 1578年5月10日-09:00|日本|京都府京都市|天正6年4月4日|<退任>関白「二条晴良」
- 1578年5月11日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正6年4月5日|<本願寺の戦い>織田信忠が信雄(北畠信意)・信孝(神戸三七郎)・信包(信長の弟)・信澄、滝川一益・明智光秀・蜂屋頼隆、丹羽長秀らを率いて石山本願寺へ侵攻するが、戦闘はなく撤退
- 1578年5月12日-09:00|日本|兵庫県加古川市|天正6年4月6日|<野口城の戦い>(3日~)羽柴秀吉は播磨三木城支城の野口城を攻め、長井四郎左衛門を降ろす
- 1578年5月13日-09:00|日本|宮崎県延岡市|天正6年4月7日|大友軍、日向に入り、「社ヶ原」に布陣する/キリスト教による理想国建設をめざしていた大友軍が縣領内の神社仏閣をことごとく焼き払ったため、寺社建築・仏像・古文書など宮崎県北の文化財がことごとく破壊・破脚される
- 1578年5月16日-09:00|日本|京都府南丹市|天正6年4月10日|<園部城合戦>滝川・明智・丹羽の三将が丹波へ遣わされ、敵方の荒木氏綱の居城園部城を取り囲んだ/三将は城の水の手を断って攻め上げ、窮した荒木は降伏開城/後には明智光秀の軍勢が入れ置かれた
- 1578年5月16日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天正6年4月10日|<細工所城の戦い>明智光秀・細川藤孝が滝川一益・丹羽長秀の援軍と共に波多野氏と党荒木氏綱の守る細工所城を落とす
- 1578年5月16日-09:00|日本|宮崎県延岡市|天正6年4月10日|<松尾城の戦い>大友義統日向征討軍の佐伯宗天、志賀親敦ら、土持親成の縣松尾城を攻略し、土持氏滅亡
- 1578年5月21日-09:00|日本|兵庫県加古郡播磨町|天正6年4月15日|毛利輝元、播磨に侵攻<西播磨侵攻>
- 1578年5月24日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|天正6年4月18日|佐竹義重が下野国壬生城主壬生義雄を攻め北條氏政と対戦
- 1578年5月24日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正6年4月18日|<第二次上月城の戦い>吉川元春・小早川隆景の毛利軍が尼子勝久の播磨上月城を包圍攻撃開始/上月城を守るのは尼子勝久を総大将とする山中幸盛・尼子氏久・尼子通久・神西元通らの手勢2300~3000にすぎなかった
- 1578年5月24日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天正6年4月18日|<水生古城合戦>山名残党の垣屋豊統、太田垣、八木らが毛利氏からの援兵と共に水生古城で織田方と合戦して勝利
- 1578年5月27日-09:00|日本|愛知県豊田市|天正6年4月21日|中条秀清、三河国猿投社の社殿を再興
- 1578年6月-01:00|スペイン/フィリピン| |||スペインがモ族掃討の征服戦争を開始
- 1578年6月2日 05:00|エクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領土総督・総司令官・大審問院長「デ・イエゴ・デ・ナルバエス」(~15790619没)
- 1578年6月6日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|天正6年5月|<第一次太田城合戦>雑賀荘・十ヶ郷に中郷・南郷の兵も加わって宮郷の太田城を1か月にわたり包圍攻撃したが、落城には至らなかった/宮郷はその後、本願寺に謝罪して赦免を受けている
- 1578年6月8日-09:00|日本|茨城県結城市|天正6年5月3日|北条氏政、下総結城/山川近辺を攻める
- 1578年6月8日-09:00|日本|東京都豊島区|天正6年5月3日|<建立>法明寺鬼子母神[豊島区]
- 1578年6月10日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年5月5日|<御館の乱>上杉景勝勢と景虎勢、春日山城下で戦闘を開始
- 1578年6月16日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天正6年5月11日|宇和郡高森城主鍛冶屋中務丞ら居城を奪還
- 1578年6月18日-09:00|日本|京都府京都市|天正6年5月13日|11日よりの大雨で洪水/鴨川・白川・桂川が氾濫し、京市中に水があふれる/溺死者多数/四条橋も流失
- 1578年6月18日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年5月13日|<御館の乱>夜半、上杉景虎(謙信の養子で、北条氏康

1580迄 (2027件)

- の七男)は身の危険を感じて春日山城を脱し、府内の御館に逃れて対抗
- 1578年6月21日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年5月16日|<御館の乱>上杉景虎(謙信の養子で、北条氏康の七男)方の東条佐渡守(三条町奉行)が、春日山城下の春日町に火をかけ、約3000軒を焼き払う
- 1578年6月22日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年5月17日|上杉景虎勢が春日山城を奪い取ろうとするが失敗
- 1578年6月25日-09:00|日本|茨城県結城市|天正6年5月20日|北条氏政、下総・山川城を攻め、生城とする
- 1578年6月25日-09:00|日本|千葉県君津市|天正6年5月20日|<死去>安房国大名「里見義弘」(49:上総久留里城主)→子の「里見義重」が継ぐ(~天正8(1580)年4月解任)
- 1578年6月26日-09:00|日本|新潟県長岡市|天正6年5月21日|栃尾城主本庄秀綱、軍を起こす
- 1578年6月26日-09:00|日本|新潟県妙高市|天正6年5月21日|鮫ヶ尾城主堀江宗親、軍を起こす
- 1578年7月3日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正6年5月28日|毛利勢小早川隆景が上月城南の大亀山に大筒を据え、辰の刻(午前8時頃)から上月城に向けて発砲/尼子方の吉田三左衛門は弾丸が命中して惨死。城内の士気低下
- 1578年7月5日-09:00|日本|長野県飯山市|天正6年6月|武田勝頼が北信濃長沼城へ入り、飯山城を押さえる(これにより残っていた北信濃を武田領とし、信濃全域を支配下に置く)
- 1578年7月5日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正6年6月初旬|尼子勝久勢の進藤甚助、力石小六ら、大亀山に忍び込み大砲奪取に成功したもの、途中毛利勢に発見され、上月城内に持ち替えることはできなかったが、谷底に大砲を落として、上月城への攻撃を回避することに成功
- 1578年7月14日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年6月10日|上杉景勝方の武将上野九郎兵衛尉が篠宮出羽守が守る猿毛城を攻略
- 1578年7月15日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正6年6月11日|河田重親(景虎派)、沼田城を奪取し北条氏に呼応
- 1578年7月15日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年6月11日|<居多浜合戦>上杉景勝方と上杉景虎方(謙信の養子で、北条氏康の七男)が、越後国大場・居多ヶ浜、府内(上越市五智地区)で衝突/景勝方は御館の南方の応化の橋まで約6000軒を焼き払う/上杉家部将の上杉景信(景虎派)、討死
- 1578年7月17日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年6月13日|上杉景勝勢が、御館周辺を焼き払う
- 1578年7月25日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|天正6年6月21日|北条氏邦、猿ヶ京の宮野城を落とし、越後に進攻
- 1578年7月25日-09:00|日本|兵庫県たつの市|天正6年6月21日|毛利勢の吉川元長、杉原盛重、天野隆重らが熊見川を渡って高倉山の麓に向かい織田方の陣地を攻撃/羽柴秀吉を始め織田方は積極的に応戦せず/杉原盛重他毛利勢が伏兵を熊見川の川べりに配置し、鉄砲を打ち掛け、切り込む。高倉山本陣からは中村孫平次・神子田判左衛門ら2千の兵が逆襲/杉原勢の苦戦を見た毛利方南条伯耆守・小鴨左衛門進が援護に駆けつけ、吉川元長も手兵を率いて来着し、両軍衝突/高倉山の織田勢からは更に大谷吉継らが4千の兵を率いて毛利勢の前方に展開し、両軍が槍衾を作って睨み合い/吉川元春は部将児玉小次郎元兼率いる鉄砲隊3百を投入、毛利勢が優位にたち、羽柴秀吉は織田勢に撤退を命じる/織田勢は慎重に退却するも、毛利勢の攻勢を受け、かなりの損害を受ける
- 1578年7月30日-09:00|日本|和歌山県|天正6年6月26日|<淡輪沖海戦>九鬼嘉隆、新造の鉄船を率いて紀伊国熊野浦に出撃し紀伊国雑賀一揆・淡輪一揆を撃破
- 1578年7月31日-09:00|日本|京都府南丹市|天正6年6月27日|明智光秀の第二次攻撃で八木城落城
- 1578年7月31日-09:00|日本|兵庫県加古川市|天正6年6月27日|中将信忠殿の軍勢が神吉城を取り囲み、城北から城東の山へかけて信忠殿・織田信孝・林秀貞・細川藤孝・佐久間信盛らが前後左右に段を連ねて布陣/志方城に対しては織田信雄が攻囲の陣を据え、同時に丹羽長秀・若狭衆が城西の山に陣を布いて敵に備えた/これらの備え手を除く滝川・稲葉・蜂屋・筒井・武藤・明智・安藤・氏家・荒木の諸勢は、神吉城めがけ怒濤のごとく押し寄せ、外構えを攻め破って城を裸城にし、そのまま本城の堀を越えて城壁を突き崩し、数刻にわたって猛攻を加えた/織田勢は一気に城を抜くことは難しいと考え、その日は一旦攻撃の手を緩めた
- 1578年8月2日-09:00|日本| ||天正6年6月29日|武田勝頼、上杉景勝と和議を結ぶ。甲越同盟が成立/同盟の条件として東上野への攻略の承認と北信濃を武田へ譲渡させる
- 1578年8月4日 00:00|モロッコ| ||<死去>サアド朝スルタン「アフマド・マルワン・アブド・アルマリク1世」
- 1578年8月4日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ポルトガル王「セバスティアン1世待望王、騎士王」
- 1578年8月4日 00:00|モロッコ/ポルトガル| ||<死去>ポルトガル王「セバスティアン」モロッコのアルカセル・キールでサアド朝スルタン軍と戦い戦死
- 1578年8月4日 00:00|モロッコ| ||<即位>サアド朝スルタン「アフマド・アルマンスール」(~16030825死去)
- 1578年8月4日 00:00|ポルトガル| ||<即位>ポルトガル王「エンリケ1世」(~15800131死去)マヌエル1世の子
- 1578年8月6日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天正6年7月3日|<第二次上月城の戦い>毛利輝元、上月城を開城/織田家部将の尼子勝久・尼子氏久・尼子通久、そして勝久の嫡男である尼子豊若丸らが自刃/尼子再興軍の中心的人物であった山中幸盛も捕虜となる
- 1578年8月8日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|天正6年7月5日|佐竹義重/宇都宮衆、壬生領を攻める
- 1578年8月8日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天正6年7月5日|北条高広、越後上田庄に攻め入り樺沢城を落とす
- 1578年8月9日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天正6年7月6日|<石城合戦(日向国)>島津忠長・伊集院忠棟が日向へ進軍、長倉祐政・山田宗昌ら旧伊東勢が籠る新納石城を攻撃するが島津軍は敗北、撤退
- 1578年8月11日-09:00|日本|京都府京都市北区|天正6年7月8日|金蓮寺四条道場が寮舎からの出火により焼失
- 1578年8月11日-09:00|日本|和歌山県|天正6年7月8日|織田方の九鬼嘉隆が率いる鉄張りの大船七艘が紀伊淡輪沖に現れ、紀伊雑賀と淡輪の水軍が迎え撃つが大敗
- 1578年8月18日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正6年7月15日|(4日~)よこすか砦の普請がおこなわれた/横須賀城の築城について、家康は高天神城を取りもどすために馬伏塚城を修復させたが、高天神城と浜松城との間にあ

1580迄 (2027件)

- って、より海岸に近い横須賀に新城を築いた/城主には大須賀康高を任命
- 1578年8月18日-09:00|日本|兵庫県加古川市|天正6年7月15日|滝川一益・丹羽長秀の両勢は夜に入って神吉城東の丸への突入に成功
- 1578年8月19日-09:00|日本|兵庫県加古川市|天正6年7月16日|滝川一益・丹羽長秀の両勢は神吉城中の丸まで攻め込んで城主神吉民部少輔を討ち取った/天守には火が放たれ、その下で両軍が混乱するうちに火は広がり、やがて天守は焼け落ちて城兵の過半が焼死/西の丸は荒木村重の攻め口で、城方神吉藤大夫が降伏、赦免され、志方城へ退去/攻め手はそのまま近接する志方城の攻略に向かったが、志方では城兵が防戦かなわじと見て降伏し、人質とともに城を明け渡した
- 1578年8月20日-09:00|日本|岡山県高梁市|天正6年7月17日|<死去>山中鹿之介が、上月城から護送される途中、備中松山城下で吉川元春の刺客の手にかかる/34歳(誕生:天文14(1545))
- 1578年8月20日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正6年7月17日|北条氏政は沼田城に鉢形城主北条氏邦ら3万を派兵し上杉氏の属城沼田城を奪回
- 1578年8月23日-09:00|日本|青森県青森市|天正6年7月20日|陸奥津軽の大浦為信、波岡御所北畠頭村を浪岡城に攻め、敗死させる(浪岡城の戦い)
- 1578年8月24日-02:00|トルコ| ||オスマン朝が、ビリンを占領
- 1578年8月24日-09:00|日本|茨城県常総市|天正6年7月21日|多賀谷重経の家来白井善通と豊田治親の家老飯見大膳と興して豊田城主豊田治親を討取って飯見は多賀谷重経に降る、重経は後に飯見を亡ぼす/多賀谷重経の叔父多賀谷経明が石毛城に、重経の嫡子多賀谷三経が豊田城に入城して城主と成り、石毛東興寺の住僧豊田忠円も多賀谷重経と和睦して大房に移され石毛政重の遺児正家を授けらる
- 1578年8月28日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正6年7月25日|梶原政景、小田氏治の木田余城を攻略、小田天菴は土浦城主菅谷範政の許に逃走/土浦城主菅谷範政は直ちに木田余城を攻めて梶原景国を追い拂って城を取り戻した
- 1578年8月28日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正6年7月25日|楯岡ノ道順指揮下の伊賀者百名、織田信雄の丸山城を攻撃. 鎮将滝川三郎兵衛を追い出す
- 1578年8月29日 05:00|コロンビア/スペイン| ||<就任>ヌエバ・グラナダ 大統領・総督・総司令官「カドレイタ卿ロペ・デ・イエス・デ・オイアルメンダリス」(~1580年2月)
- 1578年8月31日-05:30|イタリヤ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド 総督「アトウギア伯ルイス・デ・アタレイラ」(2度目~15800310)
- 1578年8月31日-09:00|日本|愛知県西春日井郡豊山町|天正6年7月28日|僧観行院真慶ら、尾張国延命寺の仁王像を造立
- 1578年9月2日-09:00|日本|京都府京丹後市|天正6年8月|明智光秀の娘玉(後のガラア)16歳、細川忠興に嫁す
- 1578年9月2日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正6年8月|羽柴秀吉、毛利氏の支城因鹿奴城を攻略
- 1578年9月2日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|天正6年8月|羽柴秀吉、因幡に侵入し、毛利氏の支城因幡若桜城を攻略
- 1578年9月7日 00:00|モロッコ| ||<就任>タンジール首長「ルハ・デ・メト・ンサ・カソ」(~15810725)
- 1578年9月11日-09:00|日本| ||天正6年8月10日|下総結城晴朝の仲介で、常陸の佐竹義重と陸奥白河結城義親が和睦して起請文を交換
- 1578年9月11日-09:00|日本|兵庫県加古川市|天正6年8月10日|<志方城の戦い>織田軍が播磨志方城を攻略
- 1578年9月11日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正6年8月10日|播磨峰相山鶏足寺の衆徒が蜂起したので羽柴秀吉は黒田官兵衛に鶏足寺を焼き討ちさせた
- 1578年9月13日-09:00|日本|宮崎県|天正6年8月12日|大友義鎮は3万5000の兵を率いて日向国に侵攻
- 1578年9月14日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「ウィリアム・ド・ウルリー卿」(~15791011没)
- 1578年9月15日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ファン・デ・ガラ」(~15830320没)
- 1578年9月15日-09:00|日本|石川県鳳珠郡穴水町|天正6年8月14日|<穴水城合戦>織田家部将の長好連、穴水城を攻略(11月まで占拠)
- 1578年9月16日-09:00|日本|愛知県豊川市|天正6年8月15日|林勝家ら、三河国御油若一王子社社殿を建立
- 1578年9月16日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天正6年8月15日|明智光秀、丹波に入り小山城を攻める
- 1578年9月18日-09:00|日本|兵庫県|天正6年8月17日|織田信忠が、播磨から撤退
- 1578年9月20日-09:00|日本| ||天正6年8月19日|武田勝頼と上杉景勝、同盟締結<甲越同盟>
- 1578年9月21日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年8月20日|武田勝頼、上杉景勝と景虎の和平を取り結ぶ
- 1578年9月23日-09:00|日本|静岡県藤枝市|天正6年8月22日|<田中城合戦>徳川勢が駿河田中城に軍を動かして苅田を行った
- 1578年9月29日 06:00|ホンジュラス/スペイン| ||エレミアのテグシガルパのサンミゲルがスペインによって設立された
- 1578年9月29日-09:00|日本|新潟県|天正6年8月28日|上杉景勝と景虎の和睦が破れる
- 1578年9月29日-09:00|日本|新潟県|天正6年8月28日|武田勝頼、越後から兵を引き上げる
- 1578年10月1日-01:00|オランダ/スペイン| ||<死去>スペイン領ネーデルラント 総督「John of Austria」
- 1578年10月1日-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<死去>ブダペストのペイルベイ「ソクル・ムスタファ・パシャ」
- 1578年10月1日-01:00|ベルギー/スペイン| ||<死去>ベルギー 総督「ファン・ト・オーストリア」
- 1578年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「リベリオ・ガブリエリ」「アスカニオ・ベルツィ」
- 1578年10月1日-01:00|オランダ/スペイン| ||<就任>スペイン領ネーデルラント 総督「ハルマ公Alexander Farnese」(~15921203 死去)
- 1578年10月1日-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストのペイルベイ「カラ・ウエイヌ・パシャ」(~1580年5月)
- 1578年10月1日-01:00|ベルギー/スペイン| ||<就任>ベルギー 総督「ハルマ公爵アレクサンドロ・ファルネゼ」(~15921206没)

1580迄 (2027件)

- 1578年10月1日-09:00|日本|新潟県南魚沼郡湯沢町|天正6年9月|北条氏照・氏邦が三国峠から越後に入り景勝方の荒戸城を攻略
- 1578年10月1日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天正6年9月|北条氏照・氏邦が榊沢城を攻略/北条軍は榊沢城に入り攻撃拠点とする
- 1578年10月5日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天正6年9月5日|明智光秀、丹波田辺城を退き但馬に向かった一色義道を追討
- 1578年10月11日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正6年9月11日|明智光秀、丹波馬堀両城を陥れる
- 1578年10月11日-09:00|日本|京都府南丹市|天正6年9月11日|明智光秀、丹波高山城を陥れる
- 1578年10月11日-09:00|日本|新潟県阿賀野市|天正6年9月中旬|会津芦名氏家臣、安田城を攻め落とし、笹岡城に拠る山浦衆を味方に引き入れる
- 1578年10月12日-01:00|ハンガリー| ||<ハングリーの大爆発>ブダペストの倉庫に落雷、保管していた粉類が粉塵爆発し、おおよそ2000人死亡
- 1578年10月12日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天正6年9月12日|北条氏輝が景勝方の坂戸城を攻めたが攻略できず
- 1578年10月15日-09:00|日本|茨城県土浦市|天正6年9月15日|佐竹義重、再び木田余城を攻略(小田氏治、居城を失う)
- 1578年10月18日-01:00|スペイン| ||<死去>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「フェルナンド」
- 1578年10月18日-01:00|スペイン| ||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「フェリペ」フェルナンドの弟(~15821121死去)
- 1578年10月24日-09:00|日本|富山県富山市|天正6年9月24日|斎藤新五郎が越中に派遣され越中太田城から敵が退散し、織田方勢力下となる
- 1578年10月25日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天正6年9月25日|北条勢に攻撃された坂戸城救援のため、武田軍が妻有庄に進軍。坂戸城将小森沢政秀は城を明け渡し、犬伏城に移る
- 1578年10月26日-09:00|日本|新潟県上越市|天正6年9月26日|<御館の乱(越後国)>御館の景虎軍が出撃、大場で交戦となる。景勝は新発田重家の活躍により景虎軍の攻撃を防ぐ
- 1578年10月29日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天正6年9月29日|島津征久・伊集院忠棟・平田光宗・上井覚兼、石城を攻め落とす
- 1578年11月-01:00|フランス| ||フランス王アンリ3世、団員定数100人の「サンテスタリ騎士団」を創設
- 1578年11月 04:00|刊| ||ドレイクはマゼラン海峡のはるか南に流され、そこにドレイク海峡を発見
- 1578年11月2日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正6年10月3日|武田勝頼、横須賀城を攻撃するが、家康の援軍により果たせず、高天神城に退く
- 1578年11月3日-09:00|日本|富山県富山市|天正6年10月4日|<月岡野の戦い>越中国月岡野において織田軍(斎藤利治)と上杉軍(河田長親)が戦い、織田軍が勝利/斎藤利治率いる織田軍は三木氏の支援を受けて越中南部に進出、津毛城を攻略すると、神保勢に守備を任せ、さらに北進して今泉城を攻めた。しかし守りは堅く、夜半になり撤退を開始した。これに対し、河田長親、権名小四郎率いる上杉軍は城を打って出て織田軍を追撃した。しかし戦巧者の利治は地形の複雑な月岡野まで上杉軍を引きつけ、ここで一挙に逆襲に転じ、首級360を討ち取り、三千人以上捕捉し勝利を得、その後今泉城も攻略
- 1578年11月11日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正6年10月12日|籠城中の播磨三木城から突然攻撃/城主別所長治の弟治定と叔父吉親が主将となって出陣し、羽柴秀吉本陣の平井山を目指す/羽柴秀吉は敵が平井山から1町ほどに接近したところで、弟秀長隊が一気に平井山を駆け降り、次に秀吉自らが主力を率いて参戦、たちまちのうちに別所勢を蹴散らす/別所治定が討死
- 1578年11月14日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天正6年10月15日|景虎方は北条景広が旗持城を攻撃するが敗退
- 1578年11月16日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天正6年10月17日|摂津守護・有岡城主「荒木村重」が織田信長にそむき、本願寺顕如・足利義昭・毛利輝元と盟約を結ぶ
- 1578年11月17日-09:00|日本|兵庫県高砂市|天正6年10月18日|<播磨高砂城の戦い>羽柴秀吉は三木城への補給ルートを遮断すべく高砂城を攻めるが毛利勢の水軍が援軍に駆けつけたため敗れた
- 1578年11月19日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天正6年10月20日|大友軍は切原川東方台地上に本陣を築き高城攻撃、有川備前は討死
- 1578年11月21日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正6年10月22日|<平井山合戦>三木城の別所勢が平井山で包囲する羽柴勢を攻撃するも、撃退される。別所方は長治の弟治定が討たれる
- 1578年11月22日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正6年10月23日|明智光秀、鬼ヶ嶽城を攻め陥れる
- 1578年11月22日-09:00|日本|宮崎県西都市|天正6年10月23日|三納の反乱軍、平野城を攻め、八代・本城・綾の各城を焼く
- 1578年11月22日 11:00|日本|京都府福知山市|天正6年10月23日|夜、悪右衛門に金山城を奇襲され明智光秀、敗北し、亀山城に退却
- 1578年11月23日-09:00|日本|宮崎県西都市|天正6年10月24日|伊東旧臣長倉勘解由左衛門尉が三納城を占領
- 1578年11月23日 11:00|日本|新潟県上越市|天正6年10月24日|<第1次御館合戦>上杉景勝は自ら御館に攻勢をかけ迎え撃ってきた景虎方を打ち破る/本庄秀綱や北条景広らが敗走。本庄秀綱は居城の栃尾城に逃げ込んだ
- 1578年11月24日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正6年10月25日|伊賀衆が伊賀丸山城を攻撃、瀧川三郎左衛門、伊勢へ逃亡
- 1578年11月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「洪暹」(~15790225)
- 1578年11月29日-09:00|日本|富山県富山市|天正6年11月|神保長住、織田信長に兵を与えられて越中へ侵攻し、一

1580迄 (2027件)

族の神保氏張とともに、上杉軍と戦い、富山城を奪う

- 1578年12月-01:00|イタリヤ| |||ベネチアでヴェロニカ・フランカ贖罪のため救貧院をつくる
- 1578年12月 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ポルトガル知事兼提督「Juan Troche Ponce de Leon」(~1580年)
- 1578年12月 04:00|刊| |||ドレイク、パルパライツを襲撃。砂金を積んだ船を捕獲し、町を焼き払う
- 1578年12月1日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正6年11月3日|武田勢、横須賀城を攻撃するが守りが固く高天神に一端撤退
- 1578年12月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|天正6年11月6日|<第2次木津川河口合戦>織田水軍九鬼嘉隆が、大船6艘を率い大阪湾に於いて毛利水軍600余艘を撃破
- 1578年12月7日-09:00|日本|福岡県柳川市|天正6年11月9日|<死去>筑後柳河領主「蒲池鑑盛」⇒子の「蒲池鎮漣」が継ぐ(~天正9年5月29日(15810718)死去滅亡)
- 1578年12月7日-09:00|日本|宮崎県児湯郡川南町|天正6年11月9日|大友氏の先鋒が、名貴川に布陣していた島津家久勢を破る
- 1578年12月10日-09:00|日本|宮崎県児湯郡木城町|天正6年11月12日|(9日~)<高城川原の戦い(耳川の戦い)>島津家久、山田有信の守る新納院高城に入る/大友軍、高城を包囲/島津軍の先遣隊が小丸川の南の台地上に陣取る/両軍が木城町下鶴付近で合戦に及び、緒戦で島津方の北郷久盛討死。戦況が拮抗しているところを老瀬坂上の陣から島津以久が東から突入、高城の籠城兵も西から突入したため戦況が決定的になる/大友軍大敗し、陸路、豊後へ向けて敗走、島津軍が追撃戦を展開/追い詰められた大友方は、数日來の大雨のため増水した耳川で多数の将兵が水死
- 1578年12月11日-09:00|日本|愛知県新城市|天正6年11月13日|奥平貞俊ら、三河国勅養寺を建立
- 1578年12月12日-09:00|日本|宮崎県延岡市|天正6年11月14日|縣土持氏が島津氏に被官し、縣は島津領となる
- 1578年12月14日-09:00|日本|大阪府高槻市|天正6年11月16日|<所領安堵>摂津高槻城主「高山右近」織田信長に降伏/播州芥川2万石を加増(⇒天正13(1585)年、播磨国明石郡6万石(船上城))
- 1578年12月22日-09:00|日本|大阪府茨木市|天正6年11月24日|織田信長、摂津国刀根山へ進軍し中川清秀(摂津国茨木城主)を勸降させる
- 1578年12月23日-09:00|日本|新潟県|天正6年11月25日|武田勝頼軍が甲州へと撤退
- 1578年12月28日-08:00|中国| |||明・万曆6年12月|明で張居正の丈量(検地)が開始、中国全土を測量
- 1578年12月29日-09:00|日本|愛知県新城市|天正6年12月|奥平信光の夫人ら、三河国鳥原の山王権現社の社殿を建立
- 1578年12月29日-09:00|日本|岡山県和気郡和気町|天正6年12月|浦上宗景が備前に潜伏していた浦上秀宗、坪井、馬場らとともに備前に残っていた反宇喜多勢力を幸島を拠点として一斉蜂起させ、浦上宗景自身も別行動で兵を率いて播磨から合流/浦上宗景らは天神山城の奪還に成功(⇒天正7年4月に宇喜多勢に奪還される)
- 1578年12月29日-09:00|日本|三重県伊勢市|天正6年12月|<拜領>伊勢志摩3万5千石「九鬼嘉隆」(~慶長2(1597)年、家督を子の九鬼守隆に譲って隠居)
- 1578年12月31日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天正6年12月3日|織田軍、摂津国大矢田城(荒木村重の属城)を陥落させる
- 1578年12月31日-09:00|日本|福岡県太宰府市|天正6年12月3日|(~4日)筑前の秋月種実が大友氏に反旗を翻し筑紫鎮恒と共に大宰府に出陣し、大友家臣高橋紹運の立て籠もる宝満、岩屋城を攻めるも、攻略はならず/この時、秋月勢によって大宰府天満宮宝殿が焼かれる
- 1579年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・アデイル・ウッティーン・イブニ・アル・マルフム・ニック・ジャマル・ウッティーン」(1回目~1597年)
- 1579年-08:00|フィリピン| |||<即位>マギンダナオ王国スルタン「Datu Dimasankay」(~1585年)
- 1579年-08:00|インドネシア| |||バンテン王国ユースフはバジャラン国を併合
- 1579年-07:00|ラオス/タイ| |||<死去>ランサン王朝国王「ウオラ・ワソウ」
- 1579年-07:00|ベトナム| |||<即位>パントウランガ王「Po Kloung Halau (Ba Khac-luong Khat-luu)」(~1603年)
- 1579年-05:30|インド| |||<死去>アデイル・シャヒー朝シャー「アリー・アデイル・シャヒー1世」
- 1579年-05:00|カザフスタン| |||<即位>ガイオルタ・ハーン「Urus Khan Nogay」(~1590年)
- 1579年-03:00|イェメン| |||<即位>イェメンのイマム:アンジャール・アルハサン・ヒン・アリ(~1585年)
- 1579年-02:00|ギリシャ| |||<死去>ナクス公「ヤセフ・ナッソ」
- 1579年-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「スヴァンテ・エリクソン・スタラム」(~1581年)
- 1579年-01:00|ポーランド/ロシア/リトアニア| |||ポーランド・リトアニア共和国とロシアが戦争
- 1579年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Martin de Benavides」(~1584年)
- 1579年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Juan Alvarez de Fonseca」(2期目~1582年)
- 1579年 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島領土執達吏(ト・スハウ)「Mads Poulsson」(~1581年)
- 1579年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴード・ユースト長官「バスコ・フェルナンデス・ピメンテル」(~1583年頃)
- 1579年 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルテ諸島のコレヒトル/治安判事「デ・イゴ・デ・イラス・マゲロ」(~1584年)
- 1579年 03:00|ミクロン島/フランス| |||ミクロン島の名前が造られた
- 1579年 04:00|ポルビア/スペイン| |||<死去>ラ・フ・ラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官代行「ファン・デ・マティエンソ」
- 1579年 04:00|ポルビア/スペイン| |||<就任>ラ・フ・ラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官代行「マヌエル・バロス・デ・サン・ミジャン」(~1582年)
- 1579年 05:00|パナマ| |||パナマのスペイン軍とシロンとの間で和平協定

1580迄 (2027件)

- 1579年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル暫定市長「ディエゴ・ガラソ」(~1580年)
- 1579年1月5日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天正6年12月8日|<有岡城合戦>織田軍堀秀政ら摂津国岡城を総攻撃するも、攻略ならず。万見重元が討ち死にする
- 1579年1月6日-01:00|ベルギー| |||ベルギー南部のトリック諸州がアラブ同盟を結成
- 1579年1月10日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正6年12月13日|三河国飽海郷神明社の社殿建立
- 1579年1月10日-09:00|日本|京都府京都市|天正6年12月13日|<就任>関白「九条兼孝」(~天正9年4月29日)
- 1579年1月23日-01:00|オランダ/スペイン| |||南部ネデルラントはスペインの軍門に屈したが、北部7州はユトレヒト同盟を結成して結束を固めた
- 1579年1月27日-09:00|日本|岐阜県高山市|天正7年|<移転>飛騨桜洞領主「姉小路頼綱」⇒飛騨松倉(~天正13(1585)年8月、羽柴秀吉に降伏滅亡)
- 1579年1月27日-09:00|日本|京都府亀岡市|天正7年|<完成>明智光秀が亀山城を築城、丹波攻略の起点とする
- 1579年1月27日-09:00|日本|長野県木曾郡|天正7年|<死去>信濃木曾谷領主「木曾義康」⇒子の「木曾義昌」が継ぐ
- 1579年1月27日-09:00|日本|福岡県田川郡香春町|天正7年|毛利家臣として小倉城に入っていた高橋鑑種は大友方の香春岳城を攻略/高橋鑑種は秋月氏から養子として迎えた秋月種実の子高橋元種を香春岳城に入れる
- 1579年1月27日-09:00|日本|福岡県行橋市|天正7年|高橋鑑種は大友方の馬ヶ岳城を攻略/高橋鑑種は秋月種実の弟長野種信を馬ヶ岳城に入れて長野氏を継がせる
- 1579年1月27日-09:00|日本|長崎県対馬市|天正7年1月|<交替>対馬国主「宗義純」隠居⇒「宗義智」(~天正15(1587)年5月)
- 1579年1月27日-09:00|日本|兵庫県川西市|天正7年1月|正月明け、荒木村重が織田信長嫡男・織田信忠隊がいる加茂岩に夜襲/信忠が率いる美濃・近江3千兵が陣を張っていて、そこに村重自身が指揮をとり5百兵を北/岩より出撃させ3町離れた加茂岩の西方より火を放って切りかかった/また東に待ち伏せていた一隊は、逃げてくる敵を押しつつ討ち取っていった
- 1579年1月27日-09:00|日本|福岡県太宰府市|天正7年1月|秋月種実・筑紫惟門、高橋紹運の筑前・岩屋城を攻撃するが落とせず
- 1579年1月27日-09:00|日本|福岡県太宰府市|天正7年1月|筑紫広門と秋月種実が離反、岩屋城(城主高橋紹運)を攻撃(落城はできず)
- 1579年2月6日 04:00|チリ| |||ドレク、ポト銀山からの銀の積み出し港アリカを襲撃
- 1579年2月11日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年1月16日|<御館の乱(越後国)>景勝が高津城を攻撃、占領/これにより御館が孤立状態となり兵糧不足となる
- 1579年2月13日-09:00|日本|福岡県京都郡苅田町|天正7年1月18日|毛利氏の重臣で豊前松山城の城主であった杉重良が大友側に通じて北九州で挙兵
- 1579年2月15日 05:00|ペルー| |||ドレク、アリカに続きカヤオを襲撃。停泊中のサン・クリストバル号を掠奪
- 1579年2月17日-08:00|中国| |||明・万暦7年1月22日|万暦帝の首輔の張居正が、書院の全国的な閉鎖を命じる
- 1579年2月25日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「朴淳」(~15850131)
- 1579年2月26日-09:00|日本|岡山県久米郡美咲町|天正7年2月|宇喜多家部将の延原景能、鷺山城を攻略。星賀光重、討死
- 1579年2月26日-09:00|日本|香川県観音寺市|天正7年2月|<讃岐九十九山城合戦>長曾我部元親、細川氏政に勝利 攻略
- 1579年2月26日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正7年2月|上杉家部将の北条高広、武田氏に降伏し厩橋城を開城
- 1579年2月26日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|天正7年2月|<壬生城合戦>壬生義雄、壬生周長に勝利。壬生周長は討死
- 1579年2月26日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年2月1日|春日山城内では景勝が景虎方へ離反したとして北条高定を成敗
- 1579年2月27日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|天正7年2月2日|飛騨姉小路氏当主姉小路自綱が、長男の信綱(18)に謀反の疑いをかけ切腹させる
- 1579年2月27日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年2月2日|<御館の乱(越後国)>景勝軍の荻田長繁が府中八幡宮から参籠帰りの北条景広を待ち伏せ、討ち取る。これにより景虎方は劣勢となる
- 1579年2月28日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天正7年2月3日|上杉景勝軍に樺沢城を奪い返され、北条氏光は雪の三国峠を越え敗走
- 1579年3月3日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正7年2月6日|<平井山の戦い>別所氏は秀吉の本陣平井山へ約2500人を出兵/人数、地形共に別所氏に不利な状況であり、別所長治の弟治定が討死するなど別所側の敗戦
- 1579年3月8日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天正7年2月11日|佐野清左衛門尉:旗持城を出て景虎軍を撃破/蓼沼友重とともに鯨波の景虎軍を降伏させる
- 1579年3月14日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年2月17日|越後猿毛城主、上野九兵衛尉が上杉景虎方の島の壘を攻略
- 1579年3月15日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年2月18日|越後猿毛城主、上野九兵衛尉が応下橋に出撃し、錦要害から御館へ輸送する兵糧を遮断
- 1579年3月22日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天正7年2月25日|蓼沼友重:鯨波を攻め、景虎勢を破る
- 1579年3月27日-09:00|日本|熊本県荒尾市|天正7年3月|<筒ヶ嶽城の戦い>龍造寺隆信は肥後に入り筒ヶ嶽城に籠る小代親忠を降した
- 1579年3月27日-09:00|日本|埼玉県児玉郡美里町|天正7年3月|<広木城・大仏城合戦>北条軍が武田軍に勝利、両城共に攻略

1580迄 (2027件)

- 1579年3月27日-09:00|日本|新潟県南魚沼郡湯沢町|天正7年3月|景勝軍は荒戸城も奪還
- 1579年3月27日-09:00|日本|兵庫県美方郡香美町|天正7年3月|肥後・龍造寺隆信の将・鍋島信昌、大友属城・小代城(小代親伝)を攻略
- 1579年3月29日-09:00|日本|香川県三豊市|天正7年3月3日|長曾我部元親は仁尾城主細川頼弘、天神山城主吉田兼久らを討ち取る/土佐兵は更に金光寺を焼き中上館を攻めここにも放火
- 1579年3月29日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年3月3日|越後旗持城主佐野清左衛門尉、琵琶島城主前島修理亮が御館に輸送せんとした兵糧を奪い、水夫、船頭らを斬る
- 1579年3月30日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天正7年3月4日|下総国公津城主千葉胤富が同国印旛郡佐倉城主千葉介親胤を殺して佐倉城に移り千葉宗家を継ぐ
- 1579年3月30日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年3月4日|佐野清左衛門尉:琵琶島城、上条城を攻撃。上条城を攻め取り、琵琶島城と御館を切り離れた
- 1579年4月 06:00|グアテマラ| ||ドレウ、グアテマラの港町がアタカを襲撃
- 1579年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「シロ・ラモ・ジャンニニ」「ハ・ネット・ディ・ビアンコ」
- 1579年4月10日-09:00|日本|兵庫県神戸市北区|天正7年3月15日|羽柴秀吉旗下の中川瀬兵衛清秀・塩川伯耆守・山崎左馬介・池田三右衛門が摂津有馬郡道場(蒲公英)城を陥し、城主松原右近大夫貞利自刃
- 1579年4月12日-09:00|日本|群馬県吾妻郡高山村|天正7年3月17日|真田昌幸、上野・中山城を奪取
- 1579年4月12日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年3月17日|上杉景勝が春日山の東方なる御館城主上杉憲政、上杉三郎景虎、嫡子道満丸らを攻め破り、憲政と道満丸らを討取って攻略/上杉景虎は近くの頸城郡鮫尾城に逃れたが景勝は夫れを追撃する
- 1579年4月13日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年3月18日|上杉憲政/御館の乱に巻き込まれて殺害され、山内上杉家の血筋は断絶
- 1579年4月14日-01:00|スペイン| ||スペイン王室がワリビオンとペール間の直接貿易を禁止
- 1579年4月19日-09:00|日本|新潟県上越市|天正7年3月24日|府内の御館において上杉景勝と対立していた上杉景虎が武田勝頼に攻められ、鮫尾で自刃してはてる(御館の乱の終結)
- 1579年4月21日-09:00|日本|岡山県美作市|天正7年3月26日|宇喜多直家、毛利氏を離反し、織田方に就き、三星城を攻撃
- 1579年4月23日-01:00|イタリア| ||ベネチアでサン・フィリッポ・エ・ジヤコモ、コレツォ・オ・グレリアノと呼ばれる学校をつくる
- 1579年4月24日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド 大法官「アール伯ジョーン・スチュアート」
- 1579年4月26日-09:00|日本|香川県|天正7年4月|讃岐・香川信景、長宗我部元親に降伏/次いで羽床氏・長尾氏も降伏
- 1579年4月26日-09:00|日本|熊本県荒尾市|天正7年4月|龍造寺隆信が、肥後筒ヶ岳城を攻撃、占領
- 1579年4月26日-09:00|日本|徳島県美馬市|天正7年夏|<岩倉城の戦い>長宗我部軍が阿波岩倉城(城主三好康俊)を攻撃、降伏させる
- 1579年4月26日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正7年4月上旬|下妻城主多賀谷修理大夫重経は多賀谷勘解由大夫経家と俱に常陸国筑波郡水守城を攻略して小田城を攻めんとし山木に於て梶原美濃守景国と戦ったが敗北
- 1579年4月26日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正7年4月1日|岐阜で織田信忠の小姓佐治新太郎が金森甚七郎を刺し殺し切腹する
- 1579年5月1日-02:00|リトアニア| ||リトアニアでヴァイルノ・アカテミーが創設
- 1579年5月3日-09:00|日本|福岡県八女市|天正7年4月8日|<山下城の戦い>龍造寺隆信が筑後山下城の蒲池鑑広を攻める
- 1579年5月6日-01:00|フランス| ||<死去>モンモランシー公・ダマルタン伯「フランスワ」
- 1579年5月6日-01:00|フランス| ||<就任>モンモランシー公・ダマルタン伯「アンリ1世」(~16140402死去)
- 1579年5月10日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天正7年4月15日|大野直之、土佐国から帰り、河野通直の派遣した忽那通著・土居通利らの軍を喜多郡花瀬で破る
- 1579年5月16日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天正7年4月21日|有岡城から攻勢があり戦闘が起きた。包囲側の織田軍が撃退
- 1579年5月16日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正7年4月21日|織田信忠が包囲中の三木城から攻勢があるが、数十人を討ち取り信忠が勝利
- 1579年5月17日-01:00|ベルギー| ||ベルギー-総督アルネーセが、フランス同盟と講和を結ぶ/同盟側はフェリペ2世の主権を認める
- 1579年5月19日-09:00|日本|福岡県北九州市|天正7年4月24日|<死去>小倉城主「高橋鑑種」病死⇒「高橋種冬(秋月種実の弟)」が継ぐ
- 1579年5月20日-09:00|日本|兵庫県神戸市北区|天正7年4月25日|摂津有馬城を織田信忠軍が攻略、有馬加賀守滅亡
- 1579年5月24日-09:00|日本|香川県綾歌郡綾川町|天正7年4月29日|長宗我部元親が讃岐羽床城を攻略
- 1579年5月27日-09:00|日本|岡山県美作市|天正7年5月2日|<三星城合戦>宇喜多直家、三星城を攻略。後藤元政、討死
- 1579年5月29日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天正7年5月4日|<死去>下総佐倉領主「(下総千葉氏第27代)千葉胤富」⇒子の「千葉邦胤」が継ぐ(~天正13年5月7日(15850604)死去)
- 1579年5月30日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天正7年5月5日|<氷上城合戦>明智光秀、丹波・氷上城(波多野宗長・宗貞父子)を攻略し、自刃さす
- 1579年6月5日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正7年5月11日|近江に織田信長の安土城天守閣が完成する。五層

1580迄 (2027件)

七階だての絢爛豪華な天守閣であったとされる

- 1579年6月8日-08:00|インドネシア| |||<死去>アチェ王国スルタン「フサイン・アリ・リアヤット・シャー」
- 1579年6月8日-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「ムダ」(同年死去)⇒「サリ・アラム」(同年死去)⇒「ザイナル・アラウッディン」(~15791005死去)
- 1579年6月13日-09:00|日本|京都府綾部市|天正7年5月19日|羽柴秀長によって綾部城が落城
- 1579年6月13日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天正7年5月19日|丹羽長秀によって玉巻城が落城
- 1579年6月15日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天正7年5月21日|長宗我部家臣久武親信が伊予岡本城を攻略するも、城主土居清良の反撃を受け、討死
- 1579年6月16日-09:00|日本|兵庫県神戸市北区|天正7年5月22日|<丹生山合戦>羽柴秀長、摂津から三木城への兵糧輸送の中継地点、丹生山明要寺を攻略
- 1579年6月17日 00:00|イギリス/アメリカ| |||ドレイク、サンフランシスコ北方のドレイク湾に到達。ニュー・アルビオンと名付けイギリス領を宣言
- 1579年6月19日 05:00|エアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領土総督・総司令官・大審問院長代行「大審問院:デ・イコ・テ・オルゴン/ペドロ・ベネディクト・カペラル/フランシスコ・デ・アンシベイ」(~15820305)
- 1579年6月19日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正7年5月25日|播州では羽柴秀吉が海蔵寺砦へ忍び入り、これを奪取
- 1579年6月20日-09:00|日本|兵庫県神戸市北区|天正7年5月26日|織田軍が、荒木方の淡河城を開城させる
- 1579年6月21日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正7年5月27日|安土宗論で浄土宗と日蓮宗のが問答対決。浄土宗側が閉口するも信長の裁定で浄土宗勝利/普伝日門・塩屋伝助浄厳院にて斬首
- 1579年6月21日-09:00|日本|兵庫県神戸市北区|天正7年5月27日|<淡河城合戦>別所家部将の淡河定範、羽柴秀長に勝利
- 1579年6月24日-09:00|日本|徳島県美馬市|天正7年6月|長宗我部元親が阿波重清、重清城を攻略し、香曾我部親泰(元親弟)は牛岐城の新開道善を調略し、味方とする
- 1579年6月24日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天正7年6月1日|明智光秀、丹波波多野氏の主城八上城を落とす/餓死者が大勢出る状況になっても開城しようとしぬ城主をみて、城兵が城主を捕らえて明智光秀に引き渡した
- 1579年6月29日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|天正7年6月6日|降伏した丹波八上城の波多野秀治・秀尚兄弟が安土で磔にされ、波多野氏は滅ぶ
- 1579年7月6日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正7年6月13日|<死去>羽柴秀吉の軍師「竹中半兵衛」播磨国三木城攻めの最中に半兵衛は平井山の陣所で病没/36歳(誕生:天文13(1544))
- 1579年7月20日-09:00|日本|京都府南丹市|天正7年6月27日|明智光秀は八木城の城兵に内通謀反を工作し、これに応じる者があり、城内の本丸、二の丸に火を放った/明智光秀軍は大挙して攻め寄せ、ついに落城/城主内藤有勝も戦死
- 1579年7月24日-09:00|日本|京都府京丹後市|天正7年7月|明智光秀、丹波峰山城を攻略
- 1579年7月24日-09:00|日本|京都府与謝郡与謝野町|天正7年7月|<弓木城の戦い>明智軍は丹後国へ侵攻、一色氏の弓木城を攻撃するが落とせず和睦
- 1579年7月24日-09:00|日本|静岡県沼津市|天正7年7月|武田勝頼は北条に備えるため国境にある沼津に三枚橋城を築城/海津城の春日信達を三枚橋城へ配置
- 1579年7月27日-09:00|日本|青森県平川市|天正7年7月4日|<六羽川合戦>安東氏の命を受け、比山六郎・七郎兄弟が津軽に侵攻/軍勢は瀧本重行の仇敵乳井建清が城主を務めていた乳井城・乳井茶臼館・乳井古館に攻め入り、城主建清が留守であった三城は瞬く間に落城、沖館城に攻め入るも城主阿部兵庫介の奮戦により、撤退/その後、六羽川の畔において大浦勢と激突。比山勢は占領した乳井茶臼館、大浦勢は大坊・岩館に本陣を置いた。戦いは夕暮れまで続き、大浦勢は次第に追い詰められ、為信本陣の旗本もほとんどが討ち死に、本陣にいた田中太郎五郎が為信の身代わりとなって突撃、為信を討ち取ったと思ひ込み油断した比山勢は隙をつかれ、大将比山六郎が討ち死に、総崩れとなった比山・北畠・瀧本勢は敗走し、大館に撤退
- 1579年8月4日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「ミカウス・クリストパス・ラトヴィリウス」(~15860601)
- 1579年8月10日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正7年7月18日|北条氏政、沼田城を攻め落とし入城
- 1579年8月11日-09:00|日本| |||天正7年7月19日|織田信長は織田信忠に命じて津田与八・前田玄以・赤座七郎右衛門に井戸才介将元を殺させる/井戸は妻子を安土へ移そうともせず、自身も所々の他家を転々とする毎日、安土では中々見かけぬ無奉公者であった
- 1579年8月11日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天正7年7月19日|<宇津城の戦い>明智光秀が宇津城を攻撃、落城させる。城主宇津頼重は逃亡
- 1579年8月15日-09:00|日本|栃木県小山市|天正7年7月23日|結城晴朝、小山城を攻め、榎本近辺に攻め入る
- 1579年8月17日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「アーガイル伯コリン・キャンベル」(~15840515死去)
- 1579年8月22日-09:00|日本|石川県七尾市|天正7年8月|能登の旧畠山家臣温井景隆・三宅長盛が織田方につき、上杉領の七尾城を攻撃、占領
- 1579年8月22日-09:00|日本|岡山県岡山市|天正7年8月|備前・小早川隆景、備前辛川で宇喜多忠家に敗れる
- 1579年8月22日-09:00|日本|熊本県水俣市|天正7年8月|肥後・島津春忠、葦北に攻め入り、水俣城(深水宗方)を攻撃するが撃退される
- 1579年8月22日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正7年8月|武田軍が上野国へ侵攻。箕輪城の内藤昌月(養父は内藤昌秀)が北条方である厩橋城主北条高広の調略に成功、厩橋城が武田方となる
- 1579年8月23日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正7年8月2日|教如、石山本願寺を退却

1580迄 (2027件)

- 1579年8月24日-09:00|日本|岡山県|天正7年8月3日|羽柴秀吉の命を受けた黒田孝高の勧誘で備前の宇喜多直家が織田方に寝返った
- 1579年8月29日-09:00|日本|石川県|天正7年8月8日|越前北ノ庄の柴田勝家、加賀の阿多賀、本折、小松を攻略
- 1579年8月30日-09:00|日本|石川県加賀市|天正7年8月9日|越前北ノ庄城の柴田勝家が加賀へ侵攻。阿多賀・本折・小松町口を焼き払う
- 1579年8月30日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天正7年8月9日|<第二次黒井城の戦い>明智光秀、赤井忠家の丹波国黒井城を攻略。斎藤利三に守備させる。赤井家、滅亡。丹後との国境にある鬼ヶ城も攻略して丹波国を平定
- 1579年9月2日-09:00|日本|福岡県福岡市西区|天正7年8月12日|筑前高祖山城の原田隆種が大友氏に反旗を翻し、大友方の柑子岳城を攻略して怡土、志摩二郡を占拠
- 1579年9月4日-09:00|日本|福岡県福岡市西区|天正7年8月14日|<第2次生松原合戦>足達対馬守等の立花衆、高祖の原田衆と生松原に激戦し両者痛み分け
- 1579年9月10日-09:00|日本|京都府福知山市|天正7年8月20日|明智光秀が丹波国横山城を攻め、塩見信房とその弟塩見信勝と共同で防戦したが、衆寡敵せず結局自刃/山家城の城主和久利明も火を放たれ、攻められて敗れた/猪ノ崎城の城主塩見利勝は自ら火を放ち、落ち延びている途中に林半四郎らに川北周辺で討死/福山地方に属していた国人衆は皆、明智光秀に降伏し福知山平定/横山城を改修し、福智山城(福知山城)を築城
- 1579年9月18日-09:00|日本|石川県白山市|天正7年8月28日|加賀白山地獄谷噴火。神社焼失(翌年織田氏三社を再建)
- 1579年9月19日-01:00|フランス| |||王弟「アンジュ公」フアンソワ、「ユトレヒト連合」と「ブレッシ・レトカール条約」(ラ・リッシュ市の「ブレッシ・レトカール城」で)を結び、フランスの立憲君主として即位を目指す
- 1579年9月19日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|天正7年8月29日|徳川家康の正室の築山御前も遠江の富塚で信長の命令で殺された(甲斐の武田信玄と通報していた疑いにより)
- 1579年9月21日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正7年9月|<三木平田合戦>三木城に兵糧を入れようとして、毛利氏・本願寺の援軍が到着し、平田にある谷衛好の砦を襲撃/谷は討死し、毛利・本願寺軍は平田を一時占拠するも、羽柴秀吉の反撃により7、8百を討たれ退却
- 1579年9月21日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|天正7年9月|真田昌幸は武田勝頼の命令で北条氏政の沼田領へ侵攻し、名胡桃城の鈴木重則と小川城の小川可遊斎を誘降させて両城を手に入れた/そして沼田城を攻撃したが、北条氏邦が援軍に駆け付けたために撤退
- 1579年9月21日-09:00|日本|山梨県|天正7年9月|<甲佐同盟>武田勝頼が佐竹家と同盟
- 1579年9月21日-09:00|日本|鳥取県東伯郡北栄町|天正7年9月1日|伯耆羽衣石城主・南条元統、福山茲正らを殺害した重臣の山田重直の居城堤城を攻撃し重直・信直父子を鹿野へ敗走させ毛利氏と完全に決裂
- 1579年9月22日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天正7年9月2日|荒木村重、「女子共」を残して摂津国有岡城を脱出、摂津国尼崎城に籠城
- 1579年9月23日-09:00|日本| |||天正7年9月3日|相模国の北条氏政、武田勝頼との同盟破棄
- 1579年9月25日-09:00|日本|神奈川県|天正7年9月5日|相模国の北条氏政、徳川家康と同盟を結ぶ<第1次遠相同盟>
- 1579年9月30日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正7年9月10日|<三木平田合戦>三木城に兵糧を入れようとして、毛利氏・本願寺の援軍が到着し、平田にある谷衛好の砦を襲撃/谷は討死し、毛利・本願寺軍は平田を一時占拠するも、羽柴秀吉の反撃により7、8百を討たれ退却
- 1579年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ロトゲイコ・ベルツィ」 「ジヨウ・アンニ・カルニ」
- 1579年10月5日-08:00|インドネシア| |||<死去>アチェ王国スルタン「サ・イタル・アラウッテ・イン」
- 1579年10月5日-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「アラウッテ・イン・マンスール・シャー」 (~1585年死去)
- 1579年10月5日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天正7年9月15日|徳川家康が信康の廟所として二俣に清瀧寺を建立
- 1579年10月5日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|天正7年9月15日|徳川家康が、武田勝頼との内通嫌疑で嫡子信康を遠江二俣城で自害させる/21歳(誕生:1559)
- 1579年10月7日-09:00|日本|三重県伊賀市|天正7年9月17日|<第1次伊賀合戦>織田信雄は軍勢を率いて伊賀国へ攻め入り、一戦に及んだところ、逆に柘植三郎左衛門を討死させる敗退
- 1579年10月9日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正7年9月19日|徳川家康、武田側の遠江国遠目城・遠江国持船城を攻略/戦火は駿府にまで及び、駿府浅間社が焼失
- 1579年10月10日-09:00|日本|高知県安芸市|天正7年9月20日|土佐国清水寺金堂造営
- 1579年10月11日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第43代大宰相「ソコル・ムフト・パシャ」暗殺される
- 1579年10月11日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「シェム・パシャ」 (~15800428)
- 1579年10月11日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド 副卿「ウィリアム・ドゥルリー卿」
- 1579年10月11日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ウィリアム・ヘラム卿」 (~15800907)
- 1579年10月11日-09:00|日本|福岡県福岡市|天正7年9月下旬|高祖城の原田隆種が柑子岳城(城主木付鑑実)を攻撃、占領
- 1579年10月12日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天正7年9月22日|龍造寺隆信が筑後山下城を攻略。城主蒲池鑑広は降伏
- 1579年10月14日-09:00|日本|京都府京丹後市|天正7年9月24日|<死去>丹後国守護「一色義道」⇒子の「一色義定」が継ぐ(~天正10年9月8日(15820924)謀殺され滅亡)
- 1579年10月15日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正7年9月25日|毛利輝元、近習衆を備中国高松城に遣わし、大勝

1580迄 (2027件)

- 1579年10月20日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ジエノヴァ共和国ドージェ「ニコロ・ドリア」(~15811020)
- 1579年10月20日-09:00|日本|岐阜県大垣市|天正7年冬|<交替>美濃曾根城1万2千石「稲葉良通(一鉄)」美濃清水城へ隠居(~天正16(1589)年11月19日死去)⇒「稲葉貞通」が家督継承(⇒天正16(1588)年4月郡上八幡城4万石に移転)
- 1579年10月20日-09:00|日本|福岡県|天正7年10月|秋月種実、大友勢を筑後の原津留にて破る
- 1579年10月24日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>ハインリッヒ5世「アルブレヒト5世」の息子(~15971015退位~1626年死去)
- 1579年10月27日-09:00|日本|山梨県|天正7年10月8日|<甲佐同盟>甲斐の武田勝頼が佐竹義重はじめ、一族と同盟を結び、起請文を交わす
- 1579年11月-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「an-Nasir al-Hasan bin Ali」(~1585年)
- 1579年11月3日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天正7年10月15日|摂津国有岡城の外の「カメ市場」が裏切りにより焼亡。織田軍・荒木軍で多数の死者が出た/織田勢は伊丹の町を損害なく奪取し、城と町との間にあった侍屋敷に火をかけて城を裸城にすることに成功
- 1579年11月4日-01:00|ポーランド| |||<死去>チェシ公「ウァツワフ3世アダム」
- 1579年11月4日-01:00|ポーランド| |||<就任>チェシ公「アダム・ウァツワフ」(~16170713死去)
- 1579年11月8日-09:00|日本|新潟県|天正7年10月20日|武田勝頼の妹菊姫が上杉景勝に嫁ぐ(武田・上杉が軍事同盟に移行)
- 1579年11月13日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天正7年10月25日|柴田家親、尾張国広井八幡宮の本殿を建立
- 1579年11月18日-09:00|日本|岡山県|天正7年10月30日|宇喜多直家、毛利氏に叛き、織田氏への帰服を許された
- 1579年11月18日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正7年10月30日|小西行長・安宅信康が室津から乗り出し毛利水軍を家嶋に追い上げる
- 1579年11月19日-09:00|日本|静岡県沼津市|天正7年11月|北条が武田に対抗するため、伊豆の海岸沿いに長浜城を築城
- 1579年11月21日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「イアン5世サスル」(~15820928死去)
- 1579年11月21日-09:00|日本|福岡県八女市|天正7年11月3日|筑後・龍造寺隆信、大友属城・山下城(蒲池鑑広)を攻略
- 1579年11月29日-01:00|フランス| |||「新教軍」を率いた「コンデ」公「アンリ、フランス北部へロヌの「旧教同盟」が実効支配を行っているピカール州(フランス北部ソム川流域)に侵攻し、この日フランス北部ランスの西方フェル・アン・タルト・ノーを攻略/「第7次フランス宗教戦争」の始まり
- 1579年11月30日-09:00|日本|宮崎県延岡市|天正7年11月12日|島津軍の攻撃により大友軍の先鋒が崩れ、宗麟、務志賀より逃げ帰る
- 1579年12月2日-09:00|日本|宮崎県西都市|天正7年11月14日|島津軍は三納城を確保
- 1579年12月2日-09:00|日本|宮崎県東臼杵郡門川町|天正7年11月14日|島津軍は門川城を確保
- 1579年12月3日-09:00|日本|京都府京都市|天正7年11月15日|二条新御所(妙覚寺の東隣)の普請が完了、禁裏の誠仁親王へ進上(二条新御所は“下御所”と呼ばれる)
- 1579年12月7日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|天正7年11月19日|<有岡城の戦い>城守をしていた荒木久左衛門は開城を決意、津田信澄が接收部隊を率いて本丸に入城/有岡城内に抑留されていた黒田孝高が1年ぶりに救出された
- 1579年12月16日-09:00|日本|山形県|天正7年11月28日|伊達政宗(13歳)が田村清顕の娘愛姫(12歳)を正室に迎える
- 1579年12月18日-09:00|日本|大分県国東市|天正7年12月|大友氏の家臣田原親貴が大友氏に反抗して鞍懸、安岐城に挙兵
- 1579年12月18日-09:00|日本|徳島県美馬市|天正7年12月|脇城下で十河存保は打撃をうけ敗退しこれが切っ掛けとなり一宮成祐は一宮城に帰城阿波国人一宮成祐が土佐長宗我部氏の支援を得て一宮城を回復
- 1579年12月18日-09:00|日本|兵庫県高砂市|天正7年12月|別所氏に与力していた高砂城落城/梶原景秀、沼島からさらに引田へ移る
- 1579年12月18日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正7年12月|<御着城合戦>羽柴秀吉に攻められ播磨・御着城落城、小寺政職は英賀城に逃亡
- 1579年12月18日-09:00|日本|愛知県津島市|天正7年12月1日|尾張国津島社の遷宮が行われる
- 1579年12月24日-09:00|日本|大阪府守口市|天正7年12月7日|石山本願寺の出城である守口の砦が織田方に降伏
- 1579年12月30日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|天正7年12月13日|伊丹に残された荒木村重の人質の内、122人を尼崎で磔にし、510余人を焼殺
- 1580年-07:00|ロシア/タイ| |||<復位>ランサン王朝国王「セン・スリナルサイ」(2期目~1582年死去)
- 1580年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Lalitpur)国王「Purandara Simha」(~1600年)
- 1580年-05:30|インド| |||<建国>ケルダ国
- 1580年-05:30|インド| |||<死去>ヒンドール王国シャー「Ali Barid Shah1世」
- 1580年-05:30|インド| |||<即位>アーデル・シャーヒー朝シャー「アフラーヒム・アーデル・シャー2世」(~16270912死去)
- 1580年-05:30|インド| |||<即位>ヒンドール王国シャー「Ibrahim Barid Shah」(~1587年)
- 1580年-05:00|カザフスタン| |||<即位>カザフ汗国ハン「シガイ」シャーニールベクの七男ジャテイクの次男(~1582年)
- 1580年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サナトパシャ「Yemenli Hasan Pasha」(~1604年)
- 1580年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア「ハラム・パシャ」(~1581年)
- 1580年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ニコロ・サロモ」(~1582年)

1580迄 (2027件)

- 1580年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハドゥム・ハサン・パシャ」(~1583年)
- 1580年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンデリア王国総督「フランチェスコ・モリ」(~1583年)
- 1580年-01:00|ポーランド| |||<再任>レクニツァ公「ヘンリ11世」(~1581年退任)
- 1580年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「イエファー・パシャ」(~1582年)
- 1580年-01:00|ベナン| |||<就任>サウィフェタ 国統治者「ハロ」建国(~1620年)
- 1580年-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国フロンゲン州・フリースラント州総督オラニエ公ウイレム1世「ナッサウ＝デイルンボルク伯グィルヘルムの長男」(~15840710死去)
- 1580年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ファドゥーツ執行官「ワイバール・リグノルト・フォン・フロスタルテン」(~1592年)
- 1580年-01:00|リビア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザーン・スルタン「アナスル」(~1599年)
- 1580年-01:00|チャド| |||<即位>セワ朝国王「Idris Alauma」(~1617年)
- 1580年-01:00|リビア/トルコ| |||フェザーンはオスマン帝国に編入(~1582年)
- 1580年-01:00|フランス| |||フランス全土にペストやはしかなどの疫病が流行し、多くの死者がでる
- 1580年-01:00|フランス| |||モンテニユが「随想録」を執筆
- 1580年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Richard Sherburne」(~同年)⇒「John Meyrick」(~1592年)
- 1580年 00:00|世界| |||地球の気候が寒冷期にはいり、氷河が進行
- 1580年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||アルバ公指揮下のスペイン軍がポルトガルに侵入し、王位を主張するドン・アントニオの軍を撃ち破り、ポルトガルを制圧
- 1580年 00:00|モリタニア| |||イトー・イシュ王朝によってカニット連邦(カニット首長国とも呼ばれる)設立
- 1580年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サタマリア島ドナタリ長官「Jeronimo Coutinho」(~1594年)
- 1580年 03:00|アルゼンチン| |||アルゼンチン北西部のサタフェで本国人の横暴に反対する「7人の統領の反乱」発生
- 1580年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ暫定知事兼提督「Geronimo de Aguero Campuzano」(~同年)
- 1580年 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||イギリスはトバゴの領有宣言(植民なし)
- 1580年 04:00|リ| |||ウイリチ族とビクンチ族が大反乱
- 1580年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ペドロ・ラミス・デ・キニョネス」(3回目~1585年)
- 1580年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サルバドル暫定市長「ファン・シネロス・デ・レサ・イ・バルベルデ」(~1581年)
- 1580年1月-05:30|インド| |||ベンガル、ビハール地方で反乱が勃発
- 1580年1月 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督「カスバル・デ・トレス」(~1581年5月)
- 1580年1月2日-09:00|日本|京都府京都市下京区|天正7年12月16日|京都六条河原に於いて村井貞勝を「奉行」とし荒木村重子息・女房衆らの処刑を断行
- 1580年1月4日-09:00|日本|大分県大分市|天正7年12月18日|大友家臣の田原親貴が反乱を起こし、府内を攻撃(悪天候のため上陸できず)田原親貴は豊後鞆懸城・安岐城を拠点とする
- 1580年1月11日-09:00|日本|岡山県岡山市|天正7年12月25日|<忍山城の戦い>(24日~)毛利輝元・小早川隆景・吉川元春が宇喜多領の備前忍山城を攻撃、占領/毛利家は荒木村重・別所長治の寝返りに合わせて軍事行動を起こせず、宇喜多、南条氏が離反したことで信長防衛線が崩れてしまう
- 1580年1月13日-09:00|日本|徳島県美馬市|天正7年12月27日|早朝、岩倉城下にて三好式部少輔の裏切りにより、三好3将が死んだ/一宮成俊がその虚に乗じて、細川掃部を奉じて一宮城に帰った
- 1580年1月16日-09:00|日本|岡山県真庭市|天正7年12月末|毛利軍が備中東北部に主戦力を投入し、宇喜多勢の籠る四畝城を攻略
- 1580年1月17日-09:00|日本|大分県中津市|天正8年|豊前長岩城の野中鎮兼が大友軍の攻撃を受け降伏
- 1580年1月17日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正8年|<交替>遠江掛川城「石川家成」隠居⇒子の「石川康通」(⇒天正18(1590)年上総成戸2万石)
- 1580年1月17日-09:00|日本|徳島県阿南市|天正8年|香宗我部親泰が阿波東部へ侵攻。三好領の牛岐城を攻撃、城主新開実綱が降伏
- 1580年1月17日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天正8年|頼秀が聖母山神皇密寺[勝本浦]を開く
- 1580年1月17日-09:00|日本|奈良県天理市|天正8年|「柳本城(楊本城)」織田信長により破却された
- 1580年1月17日-09:00|日本|三重県松阪市|天正8年|伊勢の織田信雄(北畠信意)は居城の田丸城の天守が火災により焼失したため、松ヶ島城へ移る(以降本能寺の変まで居城となる)
- 1580年1月17日-09:00|日本|山形県上市市|天正8年|最上義光が上山城(城主上山満兼)の家臣里見民部を内応させてを討ち取らせ、上山城を攻略(里見民部は以降上山城主として仕える)
- 1580年1月17日-09:00|日本|立正大学|天正8年|日蓮宗の教育機関として下総国飯高郷に飯高壇林・飯高寺を創立
- 1580年1月22日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正8年1月6日|羽柴秀吉が宮の上砦を乗取り、別所彦進友之が三木城本丸へ退却
- 1580年1月24日-09:00|日本|兵庫県明石市|天正8年1月8日|別所氏に与力していた魚住城陥落
- 1580年1月27日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正8年1月11日|鷹の尾の別所山城吉親が三木城本丸に退却。三木城本丸が焼ける
- 1580年1月31日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<死去>ポルトガル王「エンリケ1世」スペイン王が継承権を宣言
- 1580年2月 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバグラタ 暫定大統領・総督・総司令官「ファン・バウティスタ・モンソン」(~1582年3月)
- 1580年2月2日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正8年1月17日|<死去>播磨三木領主「別所長治」自刃滅亡
- 1580年2月2日-09:00|日本|兵庫県三木市|天正8年1月17日|羽柴秀吉が、播磨三木城を二年半の城攻めの末、城主・別所長治、別所友之(長治の弟)が切腹、別所吉親(長治の叔父)は抗戦しようとして城兵に殺害され、1年10ヶ月に及ぶ籠城戦が終了

1580迄 (2027件)

- 1580年2月6日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天正8年1月下旬|喜多郡地蔵ヶ嶽城城代の太野直之、長宗我部元親に内応し、河野通直に叛く
- 1580年2月6日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|天正8年1月21日|海野幸貞が先陣となり真田勢が利根川を渡って明德寺城(月夜野町)を攻め落とす
- 1580年2月6日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|天正8年1月21日|真田昌幸は海野中務太輔を先駆として総勢七百余騎で夜のうちに利根川を渡り明德寺城を占拠
- 1580年2月15日-09:00|日本|京都府宮津市|天正8年2月|織田方の細川藤孝・忠興父子が、丹後八幡城を攻略し、一色義定を降伏させる/丹後が織田信長の支配下となる
- 1580年2月15日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|天正8年2月|真田昌幸は小川可遊斎を味方につけ、名胡桃城主「鈴木主水正重則」の調略に成功攻略
- 1580年2月15日-09:00|日本|新潟県上越市|天正8年2月1日|<第2次御館合戦>上杉景勝、御館を攻撃する。景虎方の北条景広、荻田長繁に討たれる
- 1580年2月16日-09:00|日本|福岡県福岡市|天正8年2月2日|戸次道雪、十時撰津守をして早良郡鳥飼村の肥前勢を討たしむ
- 1580年2月17日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天正8年2月3日|小田原北条勢の前線基地:樺沢城も上杉景勝方に奪回された
- 1580年2月24日 00:00|イギリス| |||<死去>アランデル伯「ヘンリー・フィッツアラン」
- 1580年2月24日 00:00|イギリス| |||<就任>アランデル伯「フィリップ・ハワード」(~15890414剥奪)
- 1580年2月24日-09:00|日本|福岡県柳川市|天正8年2月10日|筑後・蒲池鎮並、柳川に籠城し龍造寺隆信に叛旗
- 1580年2月25日 04:00|フランス| |||<死去>刊総督「ロドリゴ・デ・キロガ・ロペス・ウゾア」
- 1580年2月25日 04:00|フランス| |||<就任>刊総督「マルティン・ルイス・デ・ガンボア・デ・ベリス」(~1583年7月)
- 1580年2月26日-09:00|日本|静岡県御殿場市|天正8年2月12日|北條軍、武田勢と深沢で戦う
- 1580年2月27日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正8年2月13日|秀吉が、別所氏を支援していた英賀城(城主三木通秋)を攻撃、占領
- 1580年2月27日-09:00|日本|福岡県柳川市|天正8年2月13日|<柳川城の戦い>蒲池鎮連が反旗を翻し、柳川城に籠城。龍造寺軍が攻撃するが落城せず、一時講和を結ぶ
- 1580年3月2日-09:00|日本|岡山県真庭市|天正8年2月17日|秀吉に湯原春綱攻めを命じられた宇喜多秀家の属城美作の寺畑城が、吉川元春に落とされる
- 1580年3月5日 00:00|イギリス| |||<就任>レノックス伯「エドワード・メ・ステュアート」(⇒15810805レノックス公・ダーンリー伯~15830526死去)
- 1580年3月6日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正8年2月21日|徳川家康、駿河国駿府城を占領
- 1580年3月9日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正8年2月24日|北条氏照/氏邦、谷田部城を攻略し、多賀谷経明(52)/経命(17)父子が戦死
- 1580年3月9日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|天正8年2月24日|真田昌幸、上野小川城主・小川可遊斎の家臣を調略/小川可遊斎を降伏させ、小川城を攻略
- 1580年3月12日-09:00|日本|長野県下伊那郡松川町|天正8年2月27日|織田信忠、信濃国鳥居峠から信濃国飯田に進軍し大島城を攻略/織田信忠は大島城を河尻秀隆・毛利良勝に守備させる
- 1580年3月13日-09:00|日本|福岡県田川市|天正8年2月28日|筑前秋月領主「秋月種実」が豊前の猪膝にて大友方の首級800を討ち取る
- 1580年3月16日-09:00|日本|熊本県熊本市中央区|天正8年3月|島津氏についての隈本城主親賢らが太友方の肥後・阿蘇氏を攻めたが阿蘇氏重臣の御船城主甲斐宗運によって白川亘過瀬で撃退された
- 1580年3月16日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|天正8年3月|北条氏邦が小川城再攻撃、菩提木で小川可遊斎が撃退
- 1580年3月16日-09:00|日本|鳥取県東伯郡三朝町|天正8年3月|鳥取三仏寺文殊堂出来る
- 1580年3月16日-09:00|日本|大阪府八尾市|天正8年3月1日|織田信長が大和郡山に出陣し、その先鋒が河内の萱振にある恵光寺(浄土真宗)とその寺内町を焼き払う
- 1580年3月17日-09:00|日本|長野県伊那市|天正8年3月2日|織田信忠(中將殿)、信濃国高遠城を攻略し武田信豊(典殿)・仁科盛信(武田四郎舎弟)以下を「打果」
- 1580年3月17日-09:00|日本|兵庫県神戸市中央区|天正8年3月2日|<花隈城の戦い>荒木軍が花隈城より出撃して生田神社の森の池田輝政軍に攻めかかった/同時に周りの池田軍が花隈城へ攻撃、総大将の恒興自身も自ら5、6名程度を討ち取るなどかなりの乱戦になったが、結局勝敗はつかず両軍兵をひいた
- 1580年3月26日-09:00|日本|愛知県弥富市|天正8年3月11日|道久、三河国鍋田村お千子宮の社殿を建立
- 1580年3月28日-09:00|日本|岡山県岡山市|天正8年3月13日|<辛川の戦い>小早川隆景が備前に侵攻、辛川で宇喜多忠家と戦闘、敗北
- 1580年3月30日-09:00|日本|静岡県沼津市|天正8年3月15日|<重須の戦い>武田勝頼、伊豆に侵攻し、武田水軍と北条水軍が伊豆沖で海戦に及び、引き分ける
- 1580年4月-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「ゴンサロ・ロドリゴ・デ・ベニャサ」(~15830214死去)
- 1580年4月1日-01:00|スペイン| |||<死去>アロンソ・ムタラ、スペインのルネサンス音楽の作曲家(生年1510年)
- 1580年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・パオロ・コルベッリ」「マリノ・ボネリ」
- 1580年4月1日-09:00|日本|大阪府大阪市|天正8年3月17日|織田信長は本願寺と勅命講和し、赦免の条件として柴田領の加賀南二郡の本願寺への返還と、8月までに石山本願寺の退城を伝える
- 1580年4月2日-09:00|日本|福岡県福岡市早良区|天正8年3月18日|肥前の神代・執行両家の衆、荒平城主小田部新介を攻める

1580迄 (2027件)

- 1580年4月8日-09:00|日本|富山県|天正8年3月24日|長連竜ら、越中国に侵攻してきた上杉景勝を撃破
- 1580年4月9日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正8年3月25日|武藏国の八王子城主北條陸奥守氏照、鉢形城主北條左工門佐氏邦らが筑波郡の谷田部城主多賀谷淡路守政伯を攻め破って討取り攻略したが、下妻勢の多賀谷彦次郎重康、同信濃守政頼らが小田原勢を逆襲して再び之れを攻略して取り戻した
- 1580年4月14日-09:00|日本|長野県千曲市|天正8年閏3月|<荒砥城合戦>北条勢が越後へ侵攻し荒戸城を攻め落としたものの坂戸城を抜くことができずに撤退
- 1580年4月15日-09:00|日本|兵庫県神戸市中央区|天正8年閏3月2日|池田勝三郎恒興・池田勝九郎元助・池田幸親(輝政)と花隈城守兵と戦闘
- 1580年4月18日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正8年閏3月5日|石山本願寺顕如が信長との和議の誓詞へ署名/顕如の息子教如が強硬派とともに抵抗、教如は信長は表裏二心があると非難し、また親鸞聖人(御真影)の御座所が汚されるとして、石山本願寺で籠城を続ける
- 1580年4月22日-09:00|日本|石川県金沢市|天正8年閏3月9日|<尾山合戦>織田勢が金沢御坊を包囲する中、佐久間盛政の軍勢が突入を開始し一気に落城させた/信長は金沢御坊を盛政に与え、盛政はこれを尾山城と改めた
- 1580年4月22日-09:00|日本|石川県野々市市|天正8年閏3月9日|<野々市合戦>柴田勝家が加賀野々市砦を攻略
- 1580年4月24日 04:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>ポルトガル知事兼提督「Juan de Cespedes」(~15810802死去)
- 1580年4月28日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ヴェヒル・イ・サルタト・ラ・カラ・ムスタファ・パシャ」(~8.7)
- 1580年4月28日-09:00|日本|静岡県御殿場市|天正8年閏3月15日|北条氏政が深沢に出陣し、御厨一帯を放火
- 1580年5月-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストの「イライコ・アリ・パシャ」(1回目~15831009)
- 1580年5月9日-01:00|アンゴラ| ||<即位>アンゴラ公国共同大公「ウルル司教フゴ・アンプ・ロスト・モントカーダ」(~15861208)
- 1580年5月13日-09:00|日本|石川県羽咋市|天正8年閏3月30日|菱脇(石川県鹿島郡)で長連竜が、七尾の温井景隆を破る/その後、温井景隆は織田家に降伏
- 1580年5月14日-09:00|日本|愛知県豊川市|天正8年4月|右衛門太郎、三河国長山村天王社の社殿を建立
- 1580年5月14日-09:00|日本|岡山県美作市|天正8年4月|<堀高合戦>新免家の内部で対立が起こり新免伊賀守に遺恨を抱いた井口長兵衛・新免総兵衛らが草刈重継に内通、その軍勢を堀高城に引入れ一緒になって新免宗貴の軍勢と戦闘。宗貴は宇喜多直家に援軍を要請、直家みずからが軍勢を引き連れて堀高合戦に参加。宗貴は直家とともに草刈重継の軍勢を撃退
- 1580年5月14日-09:00|日本|佐賀県|天正8年4月|<交替>肥前佐嘉領主「龍造寺隆信」須古城へ隠居⇒嫡男「龍造寺政家」(~天正15(1587)年6月本領安堵)
- 1580年5月14日-09:00|日本|千葉県|天正8年4月|<交替>安房国主「里見義重」解任⇒「里見義頼」(~天正15年10月26日(15871126)死去)
- 1580年5月14日-09:00|日本|千葉県君津市|天正8年4月|里見義頼、上総小櫃川上流域へ兵を進め、久留里・千本・亀山の諸城を攻略
- 1580年5月14日-09:00|日本|兵庫県朝来市|天正8年4月|再び信長の命により秀長が6400兵を引き連れ但馬攻めを開始、竹田城はさしたる抵抗もせず降伏/秀長の武将である桑山重晴を竹田城主に命じた
- 1580年5月14日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天正8年4月|羽柴秀長が有子山城を攻略
- 1580年5月14日-09:00|日本|福岡県那珂川市|天正8年4月|龍造寺軍が筑前驚ヶ岳城を占領
- 1580年5月14日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正8年4月上旬|多賀谷重経は筑波郡大穂村の篠崎に於て梶原景国と戦ったが敗北して下妻に帰陣
- 1580年5月14日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正8年4月上旬|沼田城の金子美濃守・渡辺左近允・西山市之丞が名胡桃城に入った真田昌幸に降伏
- 1580年5月14日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正8年4月1日|<英賀城の戦い>羽柴秀吉により英賀城が落城
- 1580年5月22日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正8年4月9日|攝津石山本願寺の顕如光佐、大坂を退去/主戦派の教如は石山本願寺に留まる
- 1580年5月26日-09:00|日本|石川県金沢市|天正8年4月13日|<野々市合戦>織田家部将の柴田勝家、加賀・金沢御堂を攻略
- 1580年5月26日-09:00|日本|大分県日田市|天正8年4月13日|豊後・大友宗麟・義統父子、謀反した田北紹鉄を日田郡五馬荘松原で討ち熊牟礼城を攻略
- 1580年5月27日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正8年4月14日|毛利輝元、小早川隆景が宇喜多方備前虎倉城に侵攻するも、大敗して撤退
- 1580年6月-01:00|ベルギー/スペイン| ||<就任>ベルギー総督「ハルム公爵マルガリータ」共同統治(~1581年11月)
- 1580年6月4日-09:00|日本|新潟県長岡市|天正8年4月22日|<栃尾城合戦>上杉景勝、越後中郡に侵攻/栃尾城を攻略、本庄秀綱、敗走
- 1580年6月5日-05:30|インド| ||<死去>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「イブラヒム・クリー・クトゥブ・シャー」
- 1580年6月5日-05:30|インド| ||<即位>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「ムハンマド・クリー・クトゥブ・シャー」(~1611年~16120111死去)
- 1580年6月5日-09:00|日本|石川県金沢市|天正8年4月23日|佐久間盛政、金沢御坊を攻略/加賀一国を領して、尾山(金沢)城に入った
- 1580年6月6日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|天正8年4月24日|羽柴秀吉が播磨宍粟郡の宇野民部居城を攻め大勝
- 1580年6月8日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正8年4月26日|羽柴秀吉が毛利攻めの最前線である姫路の英賀城(三木通秋)を攻略。播磨平定
- 1580年6月10日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ルイス・デ・カモンズ、ポルトガルの詩人(生年1524年)
- 1580年6月11日 03:00|アルゼンチン| ||ガライがブエノスアイレス市を再建、ラトリニターと命名
- 1580年6月11日-09:00|日本|千葉県富津市|天正8年4月末|里見義頼に攻められ佐貫開城し、梅王丸出家

1580迄 (2027件)

- 1580年6月12日-09:00|日本|兵庫県朝来市|天正8年5月|<拝領>但馬竹田1万石「桑山重晴」(⇒天正13(1585)年紀伊和歌山へ)
- 1580年6月13日-09:00|日本|岡山県井原市|天正8年5月2日|羽柴秀吉、備中国河屋城・備中国加茂城・備中国亀石城を攻撃
- 1580年6月15日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|天正8年5月4日|真田昌幸は猿ヶ京城を攻略して小川可遊斎を入城させた
- 1580年6月16日-09:00|日本|石川県羽咋市|天正8年5月5日|<菱脇合戦>織田家部将の長連竜、温井景隆に勝利
- 1580年6月16日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|天正8年5月5日|徳川軍が撤退するとき、武田方の持船城の朝比奈勢が追撃してきたが石川数正の軍勢が迎え撃ち32人を討ち取った
- 1580年6月17日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正8年5月6日|武田家部将の真田昌幸、沼田城を攻略
- 1580年6月19日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天正8年5月8日|羽柴秀吉、備中国高松城を包囲し川を切って水攻めにす
- 1580年6月19日-09:00|日本|鳥取県倉吉市|天正8年5月8日|<岩倉城の戦い>昨年より織田方についた伯耆の南条元統へ攻撃/吉川元春が岩倉城(城主小鴨元清、南条元統の弟)を攻撃するが敗退
- 1580年6月21日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|天正8年5月10日|<長水城合戦>羽柴秀吉軍に攻められ長水城(宇野政頼)落城/宇野政頼、秀吉軍に播磨千種で追い詰められ、自害して果てる
- 1580年6月27日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天正8年5月16日|羽柴秀吉が但馬山名祐豊の有子山城を攻撃占領/山名祐豊、太田垣輝延はその座を奪われ、山名氏と四天王と呼ばれた太田垣氏による支配は完全に終焉をむかえ滅亡/秀吉は秀長を有子山城主に命じた
- 1580年6月30日-09:00|日本|大阪府大阪市淀川区|天正8年5月19日|紀伊国一揆、中島堀城を攻撃
- 1580年7月1日-09:00|日本|大阪府大阪市淀川区|天正8年5月20日|中川清秀、紀伊国一揆から中島堀城を奪回
- 1580年7月1日-09:00|日本|京都府京都市|天正8年5月20日|四条橋、流失
- 1580年7月2日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正8年5月21日|羽柴秀吉が因幡鳥取城を攻略/城主、山名豊国は降伏して赦される
- 1580年7月2日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天正8年5月21日|<死去>但馬出石国主「山名祐豊」70歳
- 1580年7月2日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天正8年5月21日|山名氏の本城出石城も落城/但馬は再び平定され、秀長には出石城があたえられた
- 1580年7月3日-09:00|日本|石川県鳳珠郡能登町|天正8年5月22日|長連竜、卯刻に能登国棚木城を攻略、長景連(上杉景勝家臣)を討取
- 1580年7月4日-09:00|日本|群馬県沼田市|天正8年5月23日|真田昌幸勢の矢沢頼綱は沼田城を攻略/金子美濃守を味方につけ、無血開城させた
- 1580年7月7日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正8年5月26日|<第1次鳥取城合戦>織田家部将の羽柴秀吉、鹿野城を開城
- 1580年7月9日-09:00|日本|徳島県海部郡|天正8年5月28日|波川玄蕃が謀反、長宗我部元親責めて阿州海部で自殺させる
- 1580年7月12日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正8年6月|<完成>徳川家康が武田方の高天神城に備え、大須賀康高に横須賀城を築城させる
- 1580年7月12日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|天正8年6月|上総小田喜城の正木憲時が里見義頼に叛する
- 1580年7月13日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|天正8年6月2日|織田信長軍が荒木村重の拠点、尼崎城を攻略
- 1580年7月15日-08:00|マレーシア/スペイン/ポルトガル| ||マラッカはポルトガルとともにスペイン領となった(~16401201)
- 1580年7月15日-02:00|モザンビーク/赤道ギニア/ガナ/ブラジル/アンゴラ/モロッコ/カーボベルデ/ポルトガル/スペイン| ||ポルトガル領ブラジル、アンゴラ、タリオ、モザンビーク、タンザン、ゴールド=コスト、フェルナント=ポ、アノム島及びカーボベルデの島々は、ポルトガルとともにスペインが領有(~16401201)
- 1580年7月15日 00:00|サントメ・プリンシペ/アゾレス諸島/ポルトガル/スペイン| ||ポルトガルに従うサントメ及びアゾレス諸島の島々はスペインの所有となる(~16401201) 島々は1583年までスペインの支配に抵抗
- 1580年7月16日-09:00|日本|岡山県津山市|天正8年6月5日|<祝山城の戦い>宇喜多直家と連合して美作攻略を開始し、枳形城の城主で毛利方の福田盛雅が守る祝山城(医王山城)を攻めた/かつては浦上宗景の被官で、当初は毛利氏と結ぶことによって備前国内での勢力を伸張させた宇喜多直家は、今や織田方の先鋒となって山陽地方における毛利氏の前線を切り崩していった
- 1580年7月16日 13:00|日本|兵庫県宍粟市|天正8年6月5日|夜中、播磨宍粟郡に籠る宇野民部が退去する動きを見せた/羽柴勢から木下平太輔・蜂須賀小六が出て追撃をしかけたところ、敵勢からも心ある侍たちが返し合せて防戦、各所で攻防が繰り広げられ、羽柴勢は敵方の歴々数十人を討ち取る戦果を収めた
- 1580年7月18日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領セウタ提督「Jorge Pessanha」(~1586年)
- 1580年7月18日 00:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>スペインのポルトガル副王「フェルナント・アルバレス・デ・トレド・イ・ビメンテル、デューク・ダルバ」(~15821211死去)
- 1580年7月18日 00:00|モロッコ/ポルトガル/スペイン| ||アルジラ、マザガンはポルトガルとスペインが共有(~16401201)
- 1580年7月18日 00:00|ポルトガル/スペイン| ||ポルトガル、セウタはスペインの所有物になる
- 1580年7月20日-09:00|日本|石川県羽咋市|天正8年6月9日|<菱脇合戦>織田家部将の長連竜、温井景隆に再度勝利
- 1580年7月20日-09:00|日本|静岡県|天正8年6月9日|北条氏政が伊豆から撤退
- 1580年7月21日-09:00|日本|富山県南砺市|天正8年6月10日|湯原国信(上杉家臣)、富山から出撃してきた佐々成政を撃退/佐々成政一族3名および兵数百余を討ち取
- 1580年7月23日-09:00|日本|新潟県三条市|天正8年6月12日|上杉景勝、越後・三条城(神余親綱)を攻略し、御館の

1580迄 (2027件)

乱およそ治まる

- 1580年7月24日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル王「アントニオ」(~8.25)
- 1580年7月28日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正8年6月17日|<死去>陸奥黒川城主「蘆名盛氏」⇒養子の「蘆名盛隆」が継ぐ(~天正12年10月6日(15841108)死去)
- 1580年8月7日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「コシナン・パシャ」(1期目~15821206)
- 1580年8月7日-09:00|日本|石川県|天正8年6月27日|長連竜、遊佐続光・遊佐四郎右衛門を捕獲し斬首
- 1580年8月12日-09:00|日本|新潟県三条市|天正8年7月2日|<三条城合戦>三条城主神余親綱、討死
- 1580年8月12日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|天正8年7月2日|<花隈城の戦い>織田家部将の池田輝政軍を摂津花隈城兵が追い散らしたところに池田元助軍が加わり、更に池田恒興軍も加勢し、大手門周辺で大激戦になった/別動隊が搦手より城内に侵入し、大手門を守る守備隊を背後から襲い、これに後詰の軍として待機していた紀州雑賀勢の援軍も加わり、花隈城を開城させることに成功/花隈城に逃げ込んでいた荒木村重は毛利氏を頼って尾道に逃れ、花隈城は廃城になる
- 1580年8月14日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|天正8年7月4日|正木憲時(上総大多喜城主)、里見氏に背き上総興津城を根拠地として房州に攻め入ったが敗れる
- 1580年8月17日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正8年7月7日|羽柴秀吉旗下龜井新十郎茲矩が兵主源六の因幡氣多郡金剛城(汚登路免城・コノノ城・踊見ノ城)を陥す
- 1580年8月17日-09:00|日本|福岡県福岡市早良区|天正8年7月7日|龍造寺軍が筑前安楽平城(城主小田部紹叱)を占領、小田部紹叱は自害/その後博多へ侵攻し、博多の町を焼き討ちにする
- 1580年8月19日-01:00|イタリヤ| |||<死去>アンドレア・パッサーレ、イタリヤの建築家(生年1508年)
- 1580年8月23日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正8年7月13日|織田方の軍勢が、石山本願寺の直近東南方向にある辻と安田の砦を攻略/これを見て、本願寺教如も、織田信長に屈し、鷲森の顕如に知らせるとともに、近衛前久を通じて和睦を申し入れる
- 1580年8月25日 00:00|ポルトガル/フランス| |||<アルカンタラの戦い>アルブフェルナント=トレド、ポルトガル市民軍に勝利
- 1580年8月30日-01:00|フランス/イタリヤ| |||<死去>サウオア公「エヌエーレ・フリベルト」
- 1580年8月30日-01:00|フランス/イタリヤ| |||<即位>サウオア公「カルロ・エヌエーレ1世」(~16300726死去)
- 1580年9月2日-09:00|日本|広島県三次市|天正8年7月23日|毛利軍、三谿郡高杉城を攻略
- 1580年9月3日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|天正8年7月24日|<小山城合戦>(21日~)徳川軍が小山城近くの色尾に布陣、稲を刈り取り小山城の兵糧米を阻止/小山城の武田勢は徳川勢を襲撃し酒井左衛門尉と小競り合い/徳川家康は小山から陣を払って浜松城へ帰城
- 1580年9月7日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「グレイト・ウィルトン男爵アサー・グレイ」(~15820831)
- 1580年9月7日-09:00|日本|石川県七尾市|天正8年8月|旧畠山家臣温井景隆・三宅長盛が織田に寝返り、七尾城を攻撃、占領
- 1580年9月9日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正8年8月|北条氏照・氏邦、牛久に出陣し、常陸・谷田部城を攻略
- 1580年9月9日-09:00|日本|群馬県渋川市|天正8年8月|長井坂城は真田家の海野輝幸に攻め落とされる
- 1580年9月10日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天正8年8月2日|未の刻、本願寺教如が、大坂石山本願寺を退去/その日のうちに石山本願寺から火の手が上がり、堂塔伽藍と寺内町に燃え広がり、2日一晩燃え続け、石山本願寺と寺内町六千戸の悉くが焼失/教如は和泉佐野に落ちる
- 1580年9月10日-09:00|日本|京都府|天正8年8月2日|<所領安堵>丹後北半国「一色満信(義定)」
- 1580年9月10日-09:00|日本|京都府|天正8年8月2日|<拝領>丹波一国(龜山城)「明智光秀」
- 1580年9月10日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天正8年8月2日|<移封>山城長岡「長岡藤孝(三淵晴員の長男)」⇒丹後舞鶴12万石(⇒天正10(1582)年6月隠居田辺城)
- 1580年9月10日-09:00|日本|兵庫県|天正8年8月2日|<拝領>攝津(尼崎城)「池田信輝父子」
- 1580年9月12日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<即位>ポルトガル王「フィリペ1世慎重王」スペイン王フェリペ2世(~15980913死去)
- 1580年9月14日-01:00|バチカン| |||改暦委員会が、グレゴリウス13世へ提出する正式の報告書に署名/プロイクス・リウスの7ルゴリズムがほとんどそのまま採用される/グレゴリウス13世はこの案に賛成し、実施を1581年10月と決める(実際は1年間延期される)
- 1580年9月15日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|天正8年8月7日|<死去>下野国河内郡宇都宮城主「宇都宮廣綱」36歳⇒子の「宇都宮国綱」が継ぐ(⇒天正18(1590)年、下野国18万石所領安堵)
- 1580年9月20日 00:00|イギリス| |||<死去>4代バカン女伯「クリスティーナ・ステュアート」
- 1580年9月20日 00:00|イギリス| |||<就任>5代バカン伯「ジェームズ・タケラス」(~1601年死去)
- 1580年9月20日-09:00|日本|愛知県刈谷市|天正8年8月12日|<拝領>三河国刈谷城「水野忠重」織田信長からを預けられる
- 1580年9月20日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|天正8年8月12日|織田信長、石山本願寺攻撃の総責任者・佐久間信盛父子を高野山へ追放/後、高野山も追放され、熊野の奥に蟄居を命じられる
- 1580年9月21日-09:00|日本|鳥取県東伯郡湯梨浜町|天正8年8月13日|<長和田・長瀬川の戦い>(12日~)吉川元春は本陣を茶臼山に進め先陣杉原勢と南条九郎左衛門元秋(元統の弟)が長瀬川(旧天神川、田後、長瀬を経て橋津川に合流した)を挟んで対陣/杉原勢は川を渡り南条勢に猛襲を加えたので、南条勢はこれに抗しきれず、羽衣石城下まで退いた/杉原勢はこれを追撃したが死傷者も多く、民家に放火するなどして引き揚げた/南条軍の敗戦に終わったが、落城には至らなかった
- 1580年9月23日-01:00|ポズナニェ/オーストリア/トルコ| |||<就任>ポズナニェ総督「フェルディナント・パシャ」(~1587年)
- 1580年9月23日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|天正8年8月15日|上総・里見義頼・正木頼忠、大多喜城主・正木

1580迄 (2027件)

憲時の謀反を鎮圧. 正木憲時は大多喜城に逃げ帰った

- 1580年9月24日-09:00|日本|石川県鹿島郡中能登町|天正8年8月16日|佐久間盛政、某へ能登国荒山に籠もる温井備前守・三宅備後守(畠山遺臣)らを攻撃
- 1580年9月25日-09:00|日本| ||天正8年8月17日|織田信長、宿老林秀貞・安藤守就・丹羽氏勝を追放
- 1580年9月25日-09:00|日本|奈良県|天正8年8月17日|筒井順慶が郡山一城を残し大和国の城を全て破却
- 1580年9月25日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|天正8年8月17日|堺政所の松井友閑配下の足軽32人が山内に入り、荒木残党の捜索を行ったところ、高野山側によって全員殺害された(高野山側は、足軽達は捜索ではなく乱暴狼藉を働いたため討った、としている)
- 1580年9月26日 00:00|イギリス| ||フランス=ドレーク、英人初の世界1周を果たしリマに帰港
- 1580年9月26日-09:00|日本|福島県相馬市|天正8年8月18日|黒木中務宗俊(黒木城主)・堀内四郎宗和兄弟がひそかに伊達家に内通陰謀が発覚/義胤は黒木城を陥とす/兄弟は追放
- 1580年9月27日-09:00|日本|神奈川県|天正8年8月19日|<交替>相模国主「北条氏政」隠居⇒嫡子「北条氏直」が継ぐ(~天正18(1590)年降伏滅亡)
- 1580年9月27日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天正8年8月19日|大和国筒井城が破却される
- 1580年10月1日-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<死去>シュレスヴィヒ公・ホルシュタイン公「ハンス老公」
- 1580年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「ジャンバティスト・ベルツィ」「シニバルド・シニバルディ」
- 1580年10月4日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「コルニャ伯ロレンソ・ヌニェス・デ・メンシサ」(~15830629没)
- 1580年10月9日-09:00|日本|山形県上山市|天正8年9月|最上義光、上山城城主「上山満兼」を満兼の家臣里見民部に討たせ上山城を与える
- 1580年10月9日-09:00|日本|石川県|天正8年9月1日|<所領安堵>能登・鹿島半郡「長連龍」織田信長により(⇒天正10(1582)年前田家家臣能登国内3万1000石)
- 1580年10月9日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天正8年9月1日|<拝領>播磨揖東郡1万石(国府山城)「黒田孝高」羽柴秀吉より
- 1580年10月21日-09:00|日本|愛媛県西予市|天正8年9月13日|長宗我部元親、伊予東宇和郡三滝城主北之川親安を攻め滅ぼす
- 1580年10月26日-01:00|スペイン| ||<死去>アナ・デ・オーストリア、スペイン王フェリペ2世の王妃(生年1549年)
- 1580年10月29日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正8年9月21日|山名家臣森下道誉、中村春統が毛利氏に通じ、主君山名豊国を鳥取城から追放/山名豊国は城を落ち延びて羽柴秀吉を頼る
- 1580年10月30日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|天正8年9月22日|吉川元春、因幡国鳥取城を受取る/牛尾春重が城将として入った
- 1580年11月3日-09:00|日本|栃木県小山市|天正8年9月26日|下野国下都賀郡小山城主小山下野判官朝矩は織田信長と通じて佐竹義重や古内兵衛大輔義重らの了解のもとに陸奥国白河郡の白坂に出陣中に、多賀谷修理亮重経、信太小太郎ら其の留守を窺って軍勢を率い下野国の小山城を奇襲し城を焼き打ち
- 1580年11月4日-09:00|日本|栃木県小山市|天正8年9月27日|信太小太郎は時を移さず手兵五百余騎を以て古内の陣屋を攻め、其の爲めに清音寺の伽藍も焼け落ち城主の小山下野判官朝矩も遂に討死し其の首級は家来の手によって持ち去られた
- 1580年11月5日-09:00|日本|静岡県掛川市|天正8年9月28日|穴山信君、遠江高天神城を救うため徳川家康の軍と戦い敗れる
- 1580年11月6日-09:00|日本|富山県富山市|天正8年9月末|常願寺川氾濫し富山城下洪水-佐々堤築堤へ立山連峰から富山湾に注ぐ急流、常願寺川が連日の大雨で大氾らんを起こし富山城下をひとのみにして家屋漂流し人馬溺死数え切れず
- 1580年11月12日-09:00|日本|大分県国東市|天正8年10月6日|大友勢が安岐城を攻略
- 1580年11月14日-09:00|日本|群馬県前橋市|天正8年10月8日|(3日)武田勝頼が下野小山、足利に出陣した佐竹義重らに呼応して上野に侵攻し、膳城を攻略し、金山城の由良成繁、館林城の長尾顕景、小泉城の富岡重朝を攻撃して屈服させる
- 1580年11月15日-09:00|日本|大分県豊後高田市|天正8年10月9日|豊前・大友義統、毛利家に内通した田原親貫を鞍懸城に攻め、自刃させる
- 1580年11月21日-09:00|日本|熊本県宇城市|天正8年10月15日|肥後・島津属将・新納忠元、矢崎城(中村惟冬)を攻略
- 1580年11月22日-09:00|日本|熊本県宇城市|天正8年10月16日|肥後・島津属将・新納忠元、網田城(田平城)を攻略
- 1580年11月26日-01:00|フランス| ||王弟「アンジュ」公フランス、フランス国内の平和を目指し、「新教軍」を率いる「コンテ」公「7ツリ」と「ル・フルクスの和約」を成立させる/「第7次フランス宗教戦争」が終結
- 1580年12月13日-09:00|日本|奈良県|天正8年11月7日|<任命>大和国守護(大和郡山18万石)「筒井順慶」(~天正12年8月11日(15840915)死去)
- 1580年12月16日-09:00|日本|茨城県つくば市|天正8年11月10日|北條氏照が常陸国筑波郡谷田部城主多賀谷淡路守経伯を攻め破って攻略し、経伯は自害
- 1580年12月16日-08:00|中国| ||明・万曆8年11月10日|明の宰相の張居正(55)が、大地主の抵抗を押切って全国の丈量(検地)を強行し完了
- 1580年12月17日-09:00|日本|愛知県豊川市|天正8年11月11日|左近衛門ら、三河国東上村稻荷社の社殿を再興
- 1580年12月23日-09:00|日本|石川県|天正8年11月17日|加賀・柴田勝家、加賀一向一揆を平定/加賀鳥越城主鈴木出羽守親子討死
- 1580年12月23日-09:00|日本|石川県金沢市|天正8年11月17日|<拝領>加賀半国13万石「佐久間盛政」尾山御坊跡

1580迄 (2027件)

に金沢城を築城金沢城主となる

1580年12月23日-09:00 | 日本 | 石川県小松市 | 天正8年11月17日 | <拝領>加賀小松66000石「村上義明(戸田氏繁の子)」(~慶長3(1598)年越後村上へ)